



天然宗_{ヨリ}孤峯不白_江口授 完

ヲ多
658





天然宗九ヨリ孤峰不白江口授

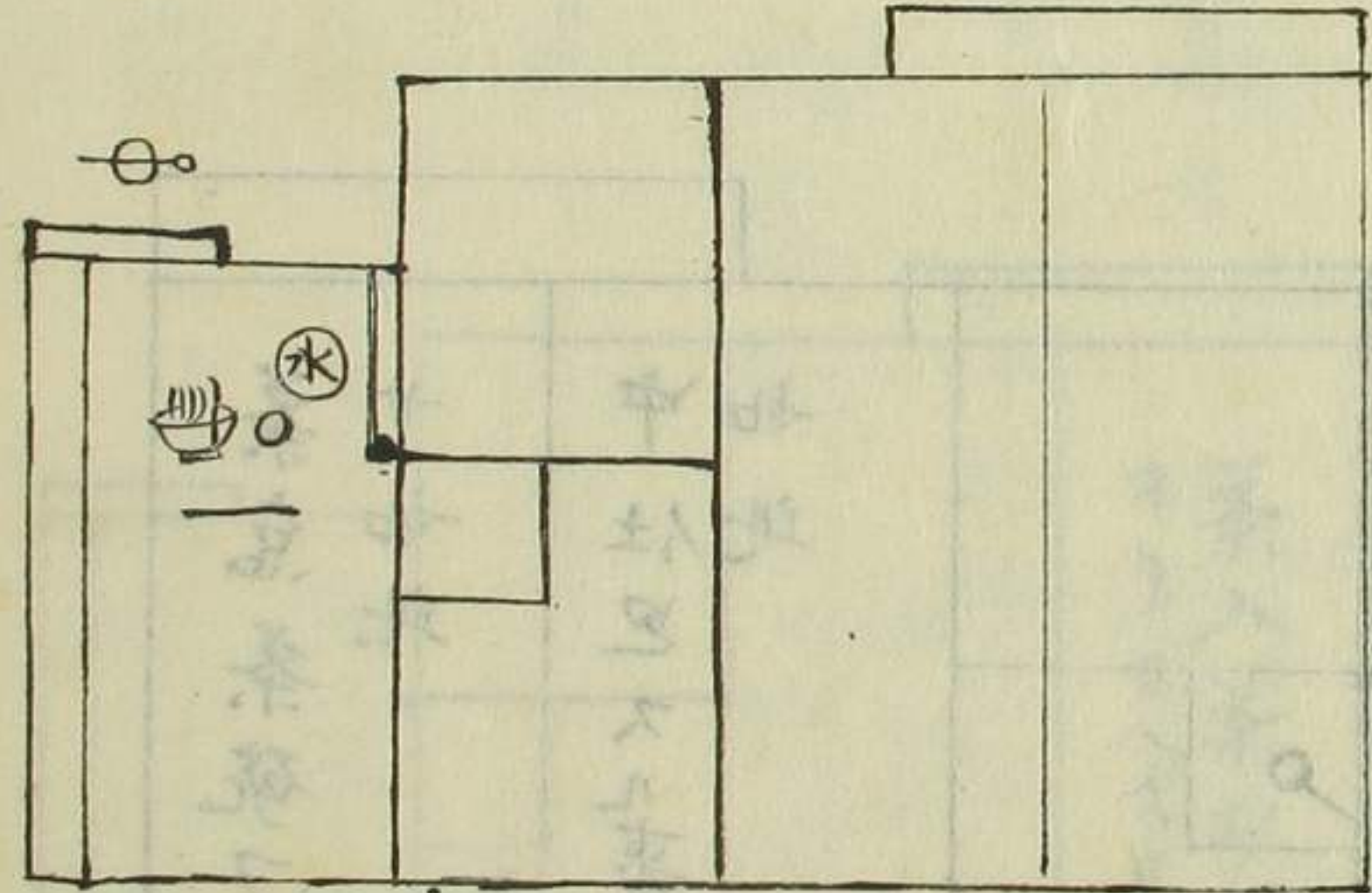
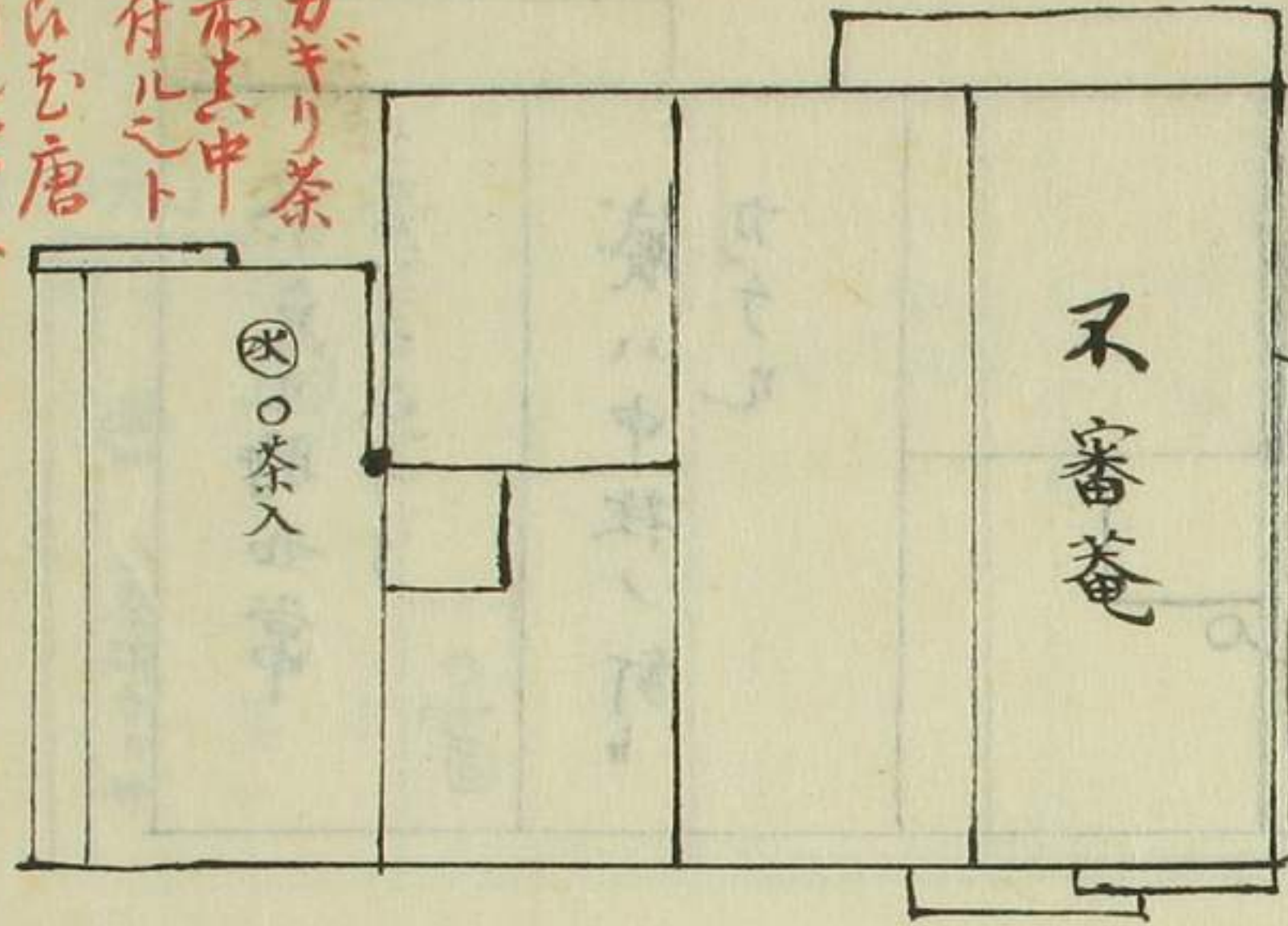
全

中立ノ間如此
此坐鋪ニ限テ
茶入如圖

茶盃持出ルトキ先水ヲホシテ出口ニ垂キ茶碗並合其候
少シ先ヨリ居ナカラ水ヲホシテ取入ヒラキテシメ
水ヲホシテ常ノ下ヲキスル

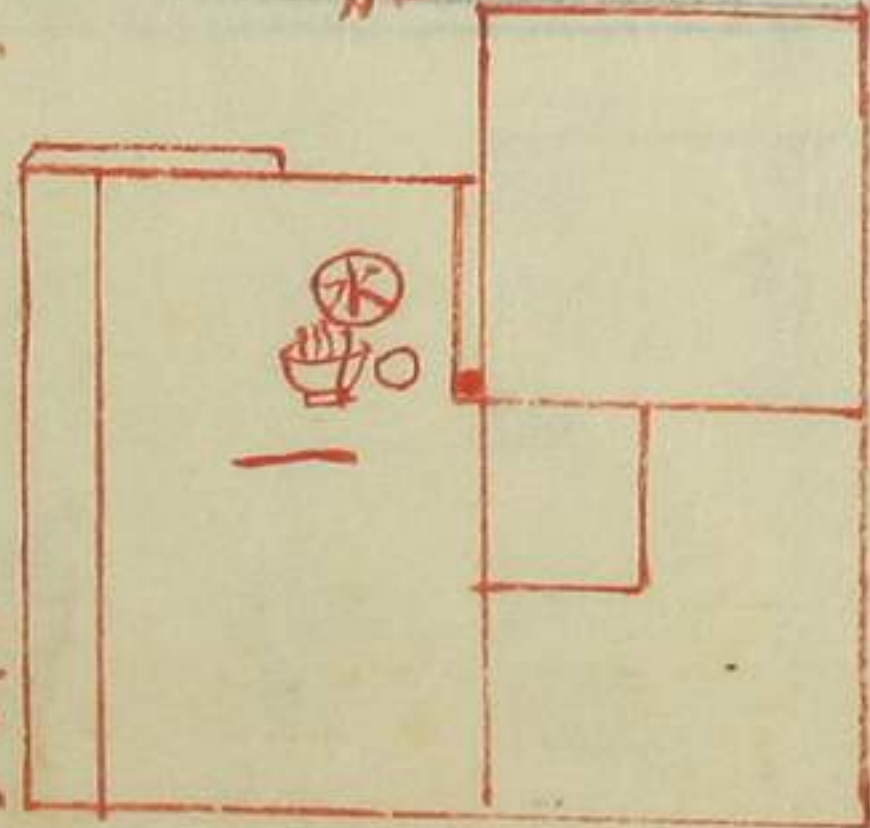
追加

世産友ニカキリ茶
入水指ノ前中
通リへ至付ルニト
師海等ハ在唐
物点トハ別ニ次ニ書アリ



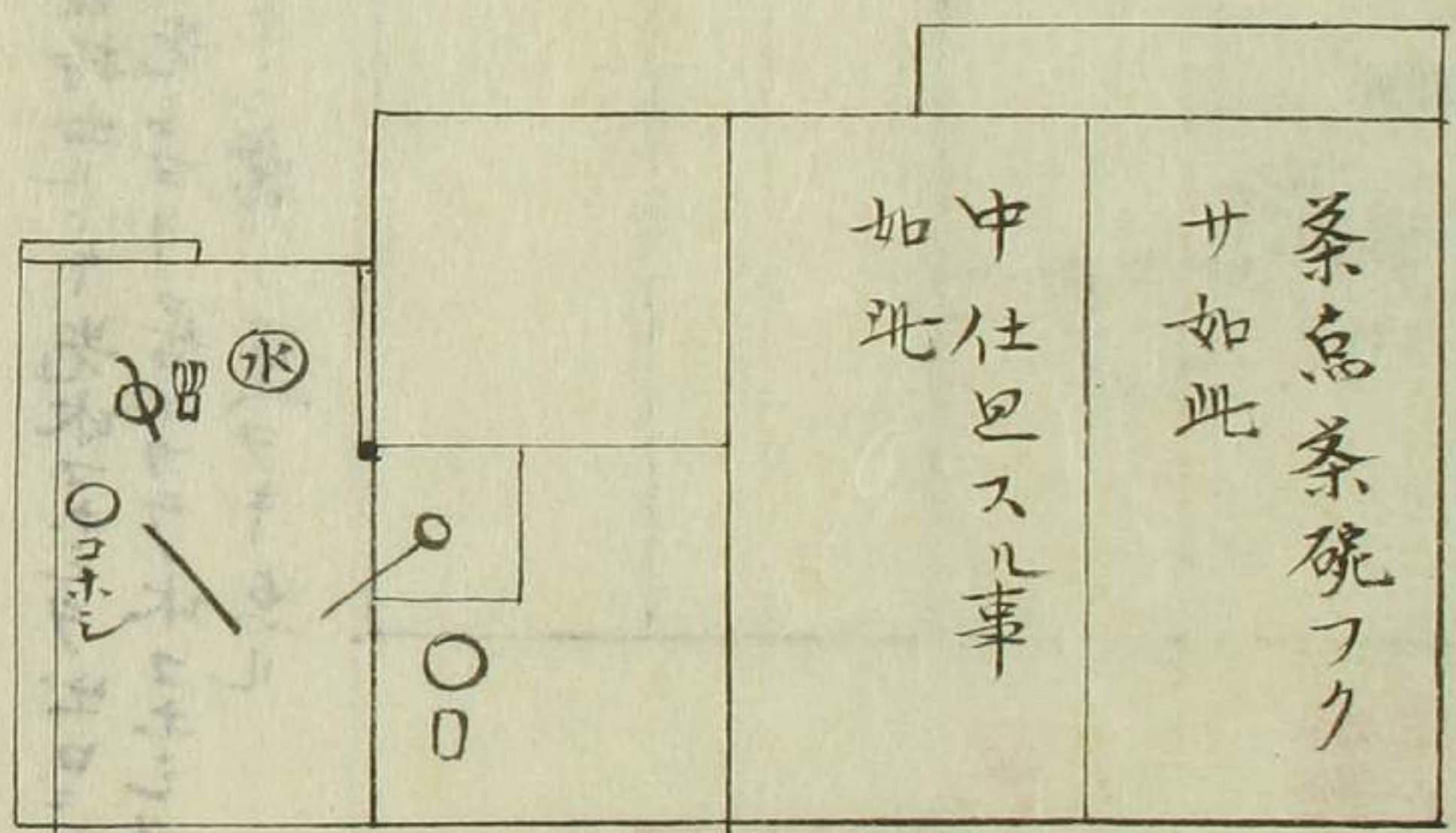
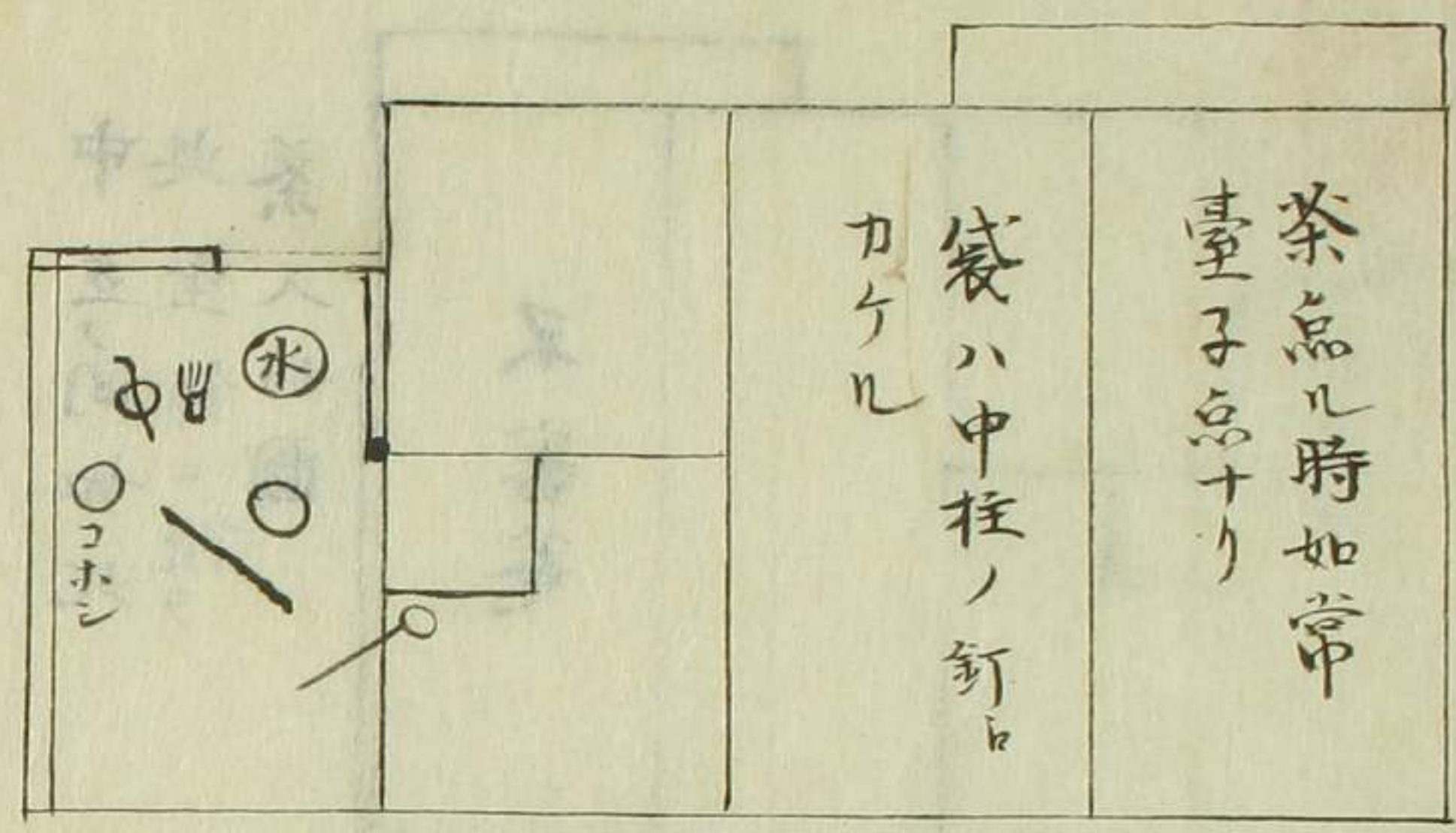
追加

世産友ニ限リ茶入茶碗如常
水指ノ前ニテ割テ並合ニ
其外産目ノ通リニト師親
書アリ

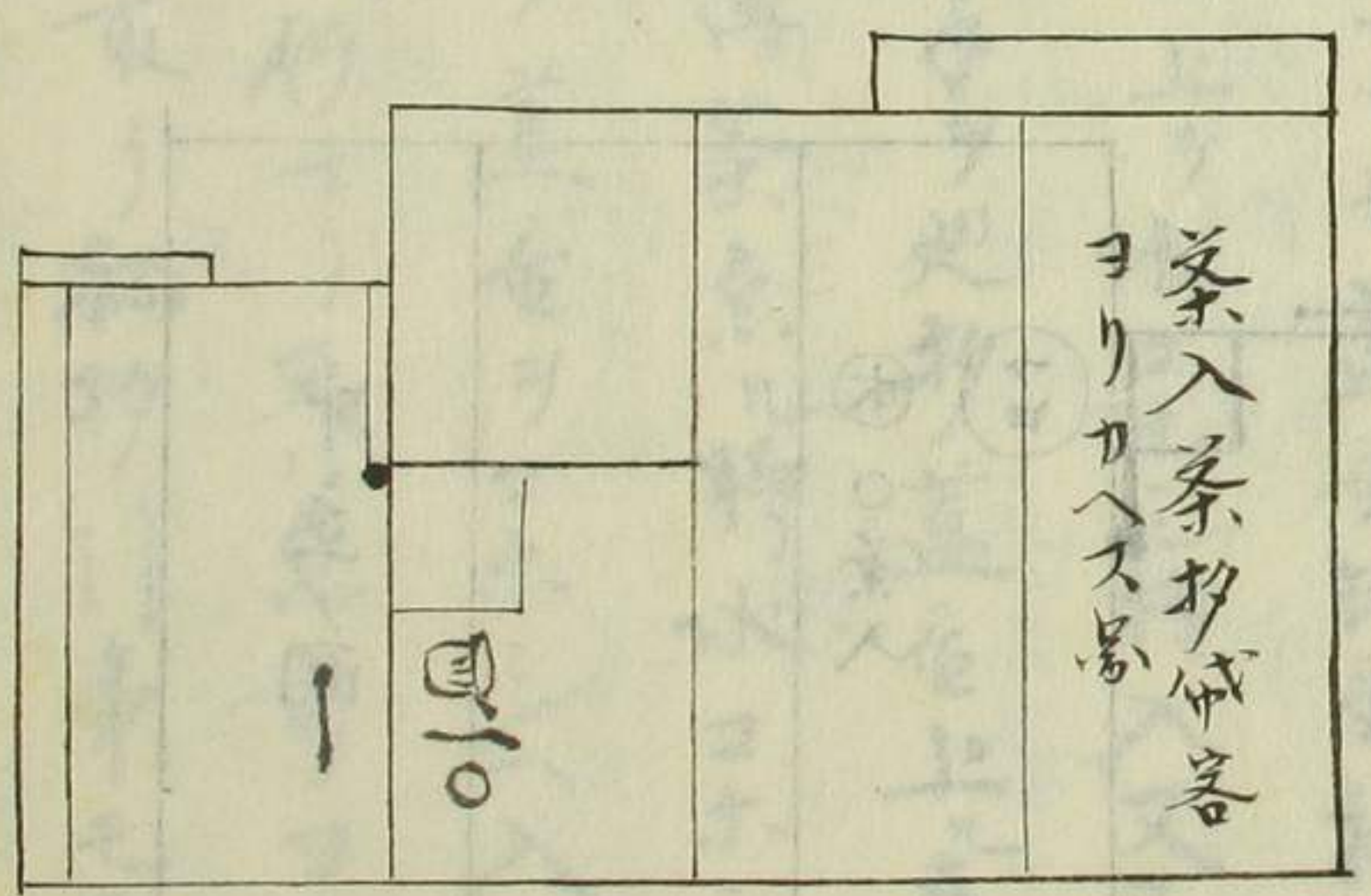
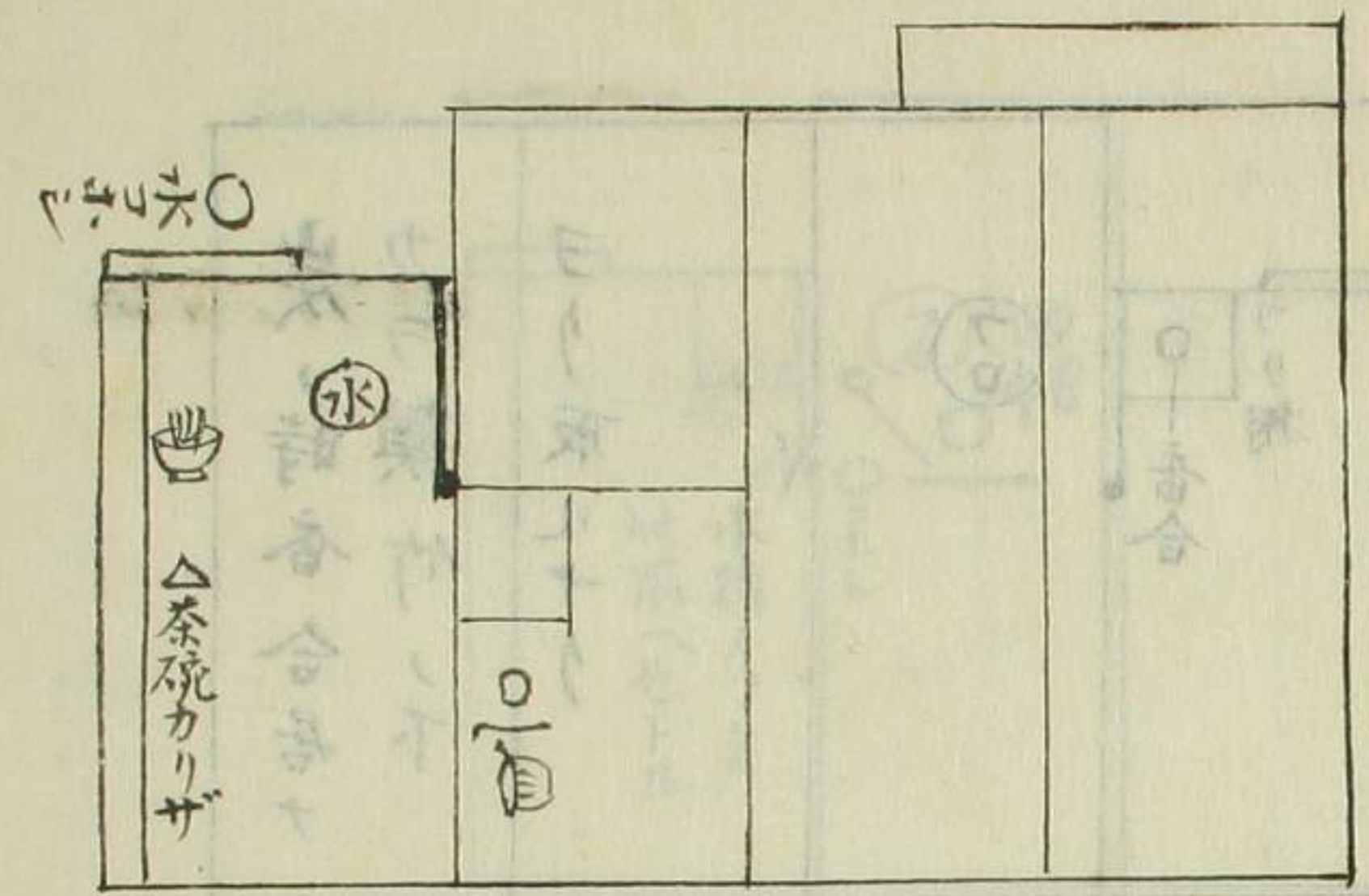


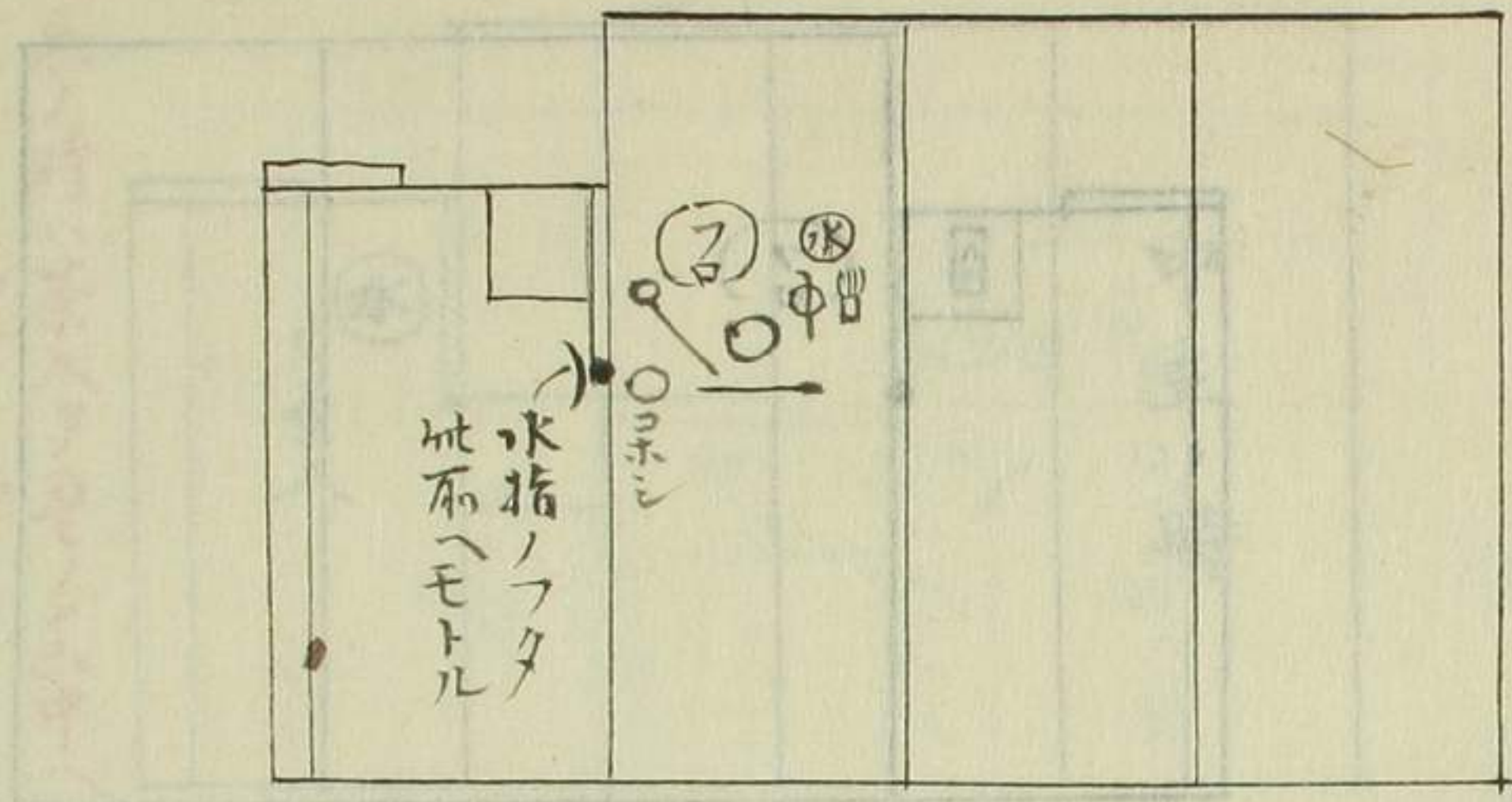


天邊... (vertical text on the right page)

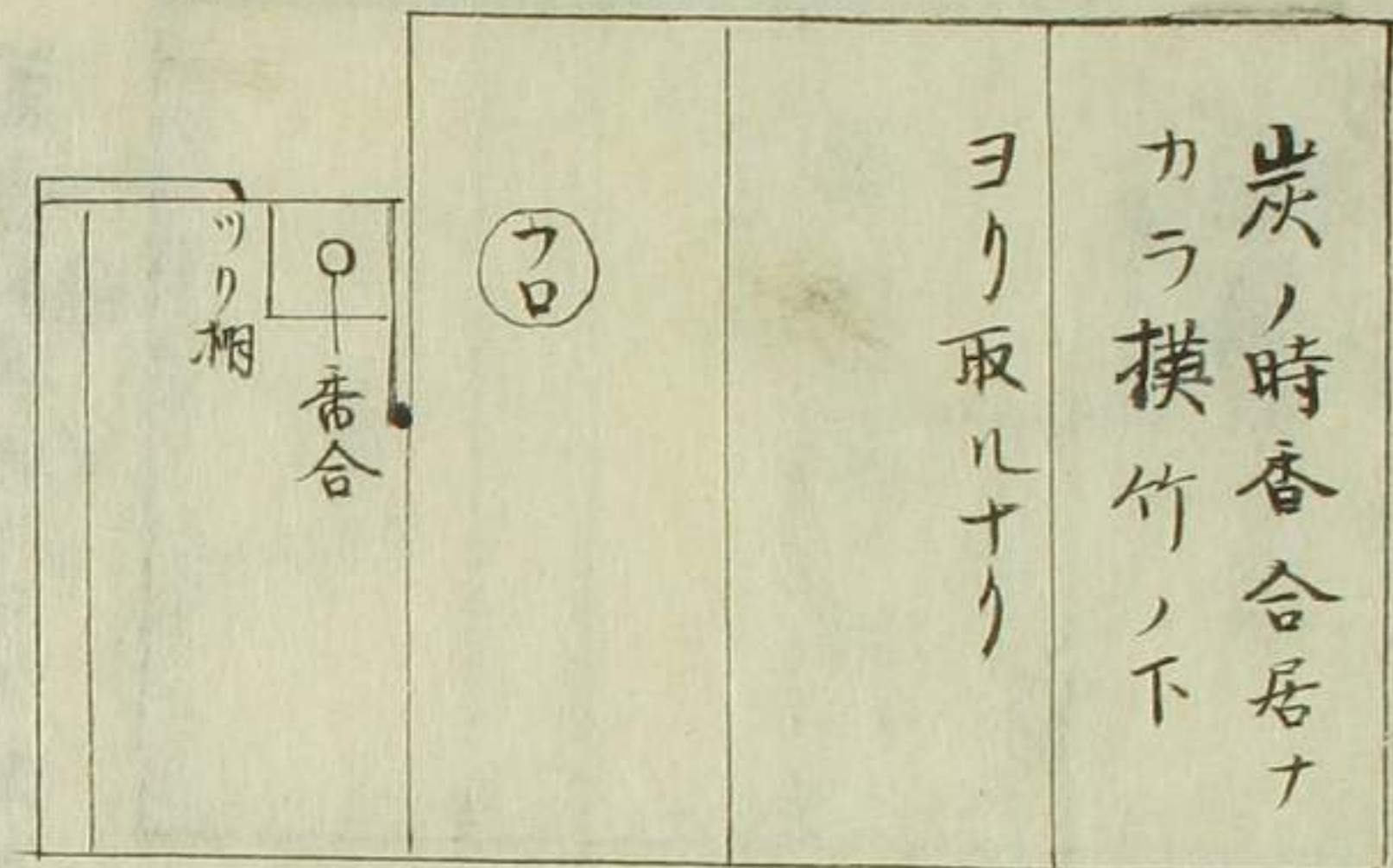


仕廻入トキ茶盃先湯ノ布(ヨセ)重ヒラキ明ケ水コホシヲ出氷指ヲヨケテ
茶碗ヲ入又氷指ヲ入ルナリ
柄杓蓋重ハ柄杓(ノ)コホシナリ又残シ不申ハ水コホシハ柄杓カケナカラシ
蓋重又其次ニヨキ扱茶碗持入ナリ

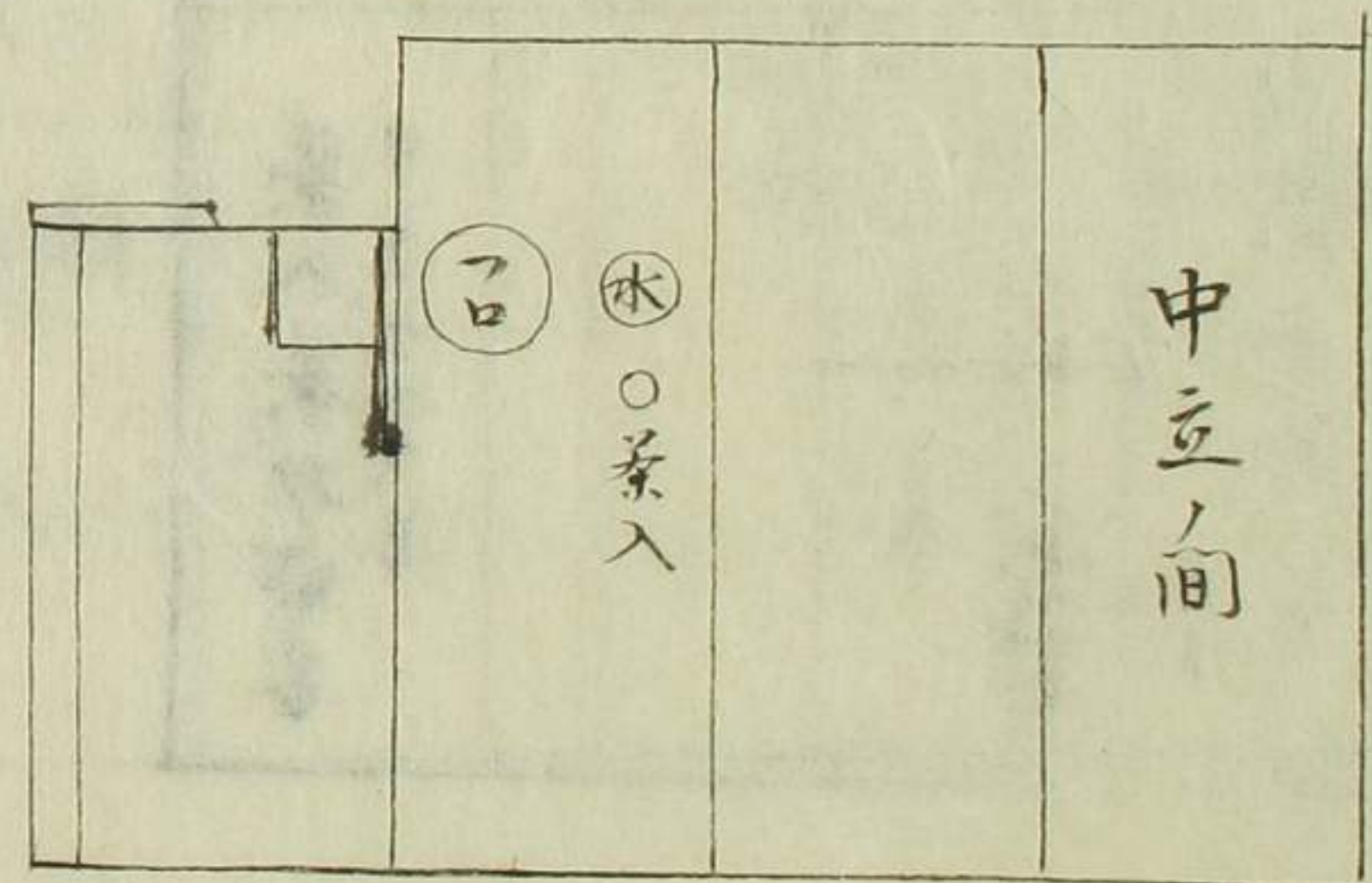




其外茶点事如常釣棚ト柄抄蓋並
 疎スハ常ノ如シ持立テ棚ノ前ハ居テコホ
 シ前ハツキ蓋並同座扱柄抄シ棚ト上テ
 蓋並上テ水コホシ持入又居テカラ点前
 ヲリ手ヲ廻抄蓋並上ル事之有略ナリ
 後薄茶点事時水コホシ持出棚ノ前ハ
 居テ蓋並ヲコホシハ入抄カケテ持点
 前ハ行ナリ又ハ点前ヨリ手ヲ廻シ
 座ニ取リ柄抄シ事之有略ナリ

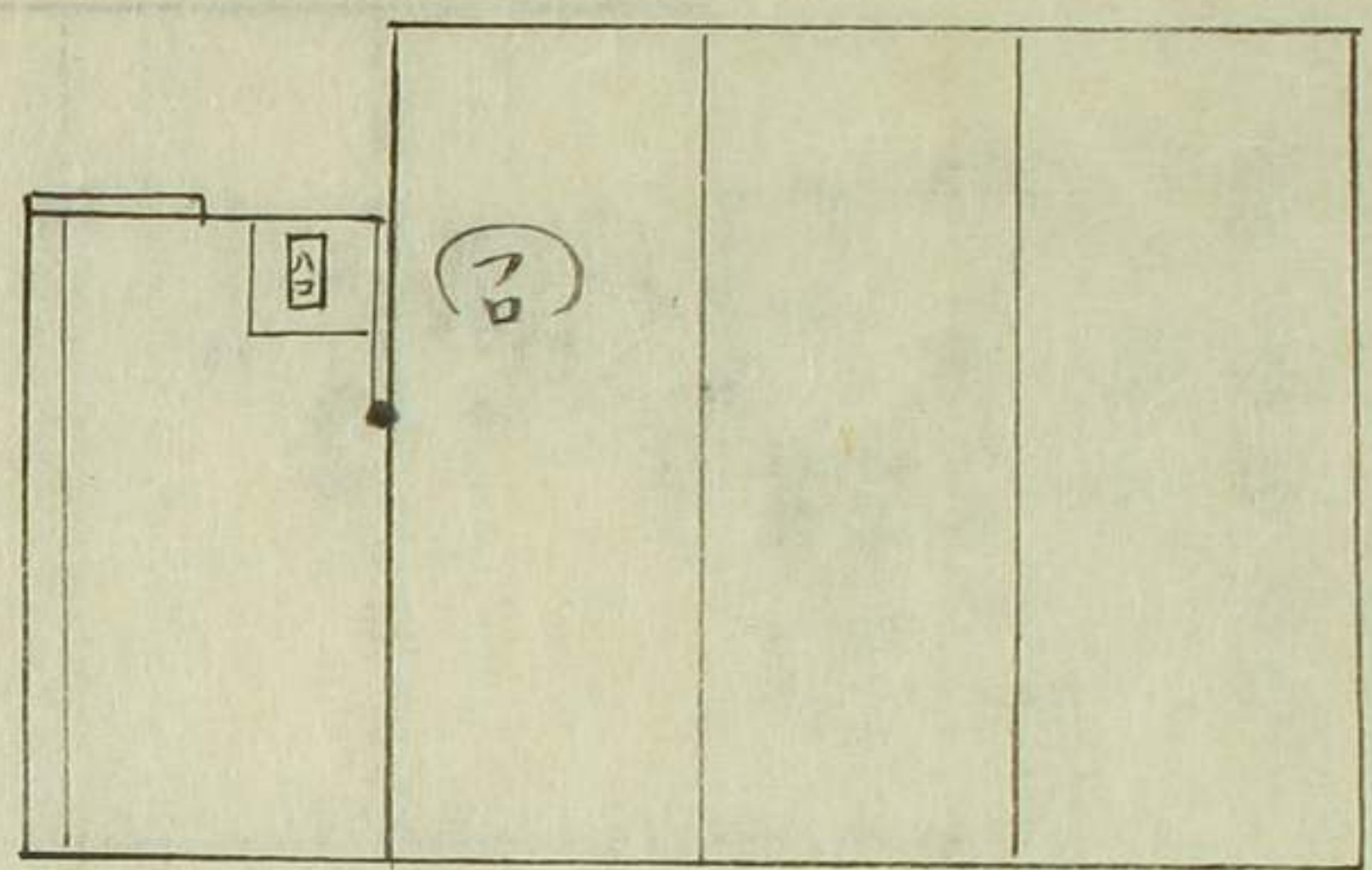


爐ノ時香合釣棚
 柄抄ノ方風燈ハ
 如圖



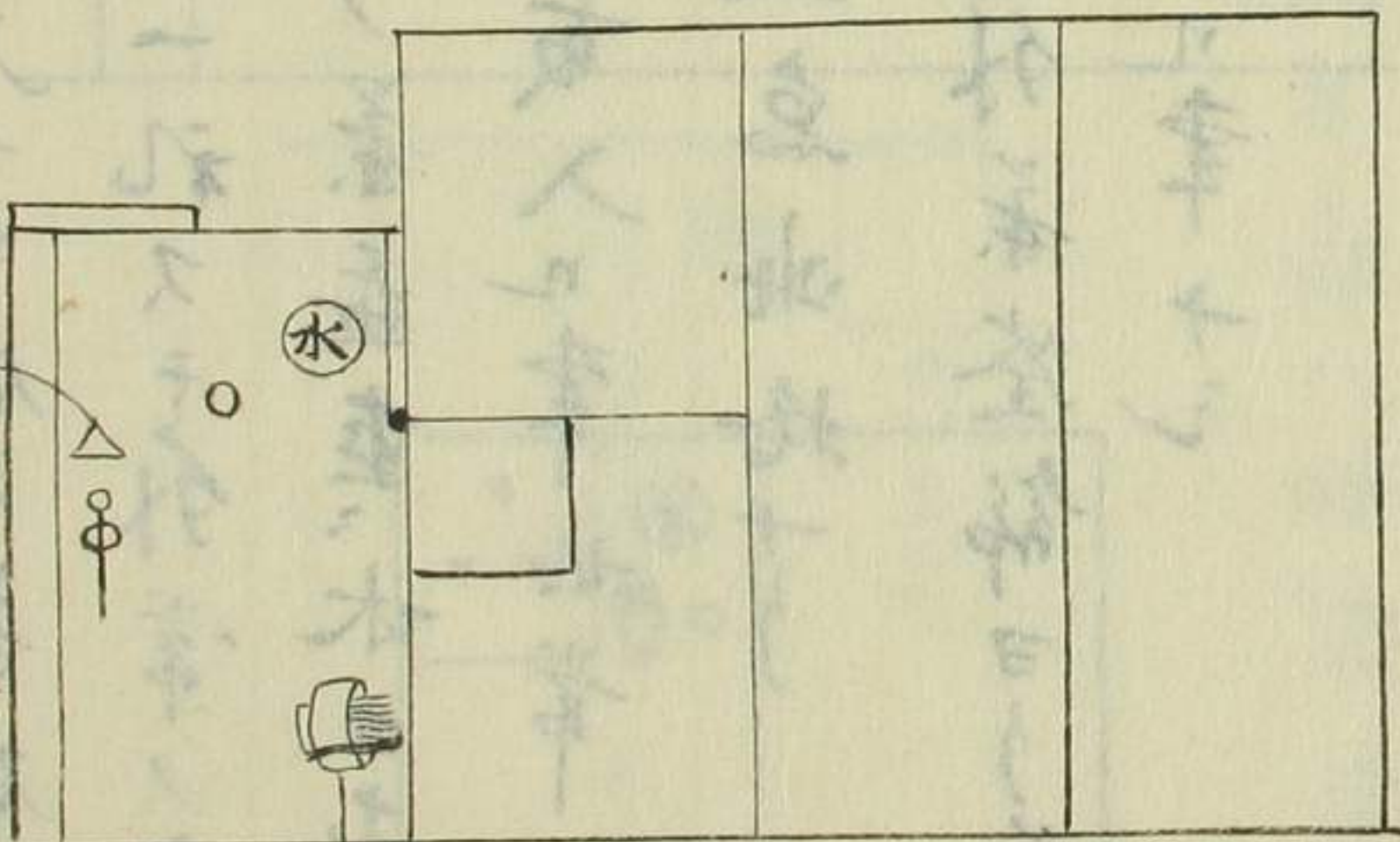
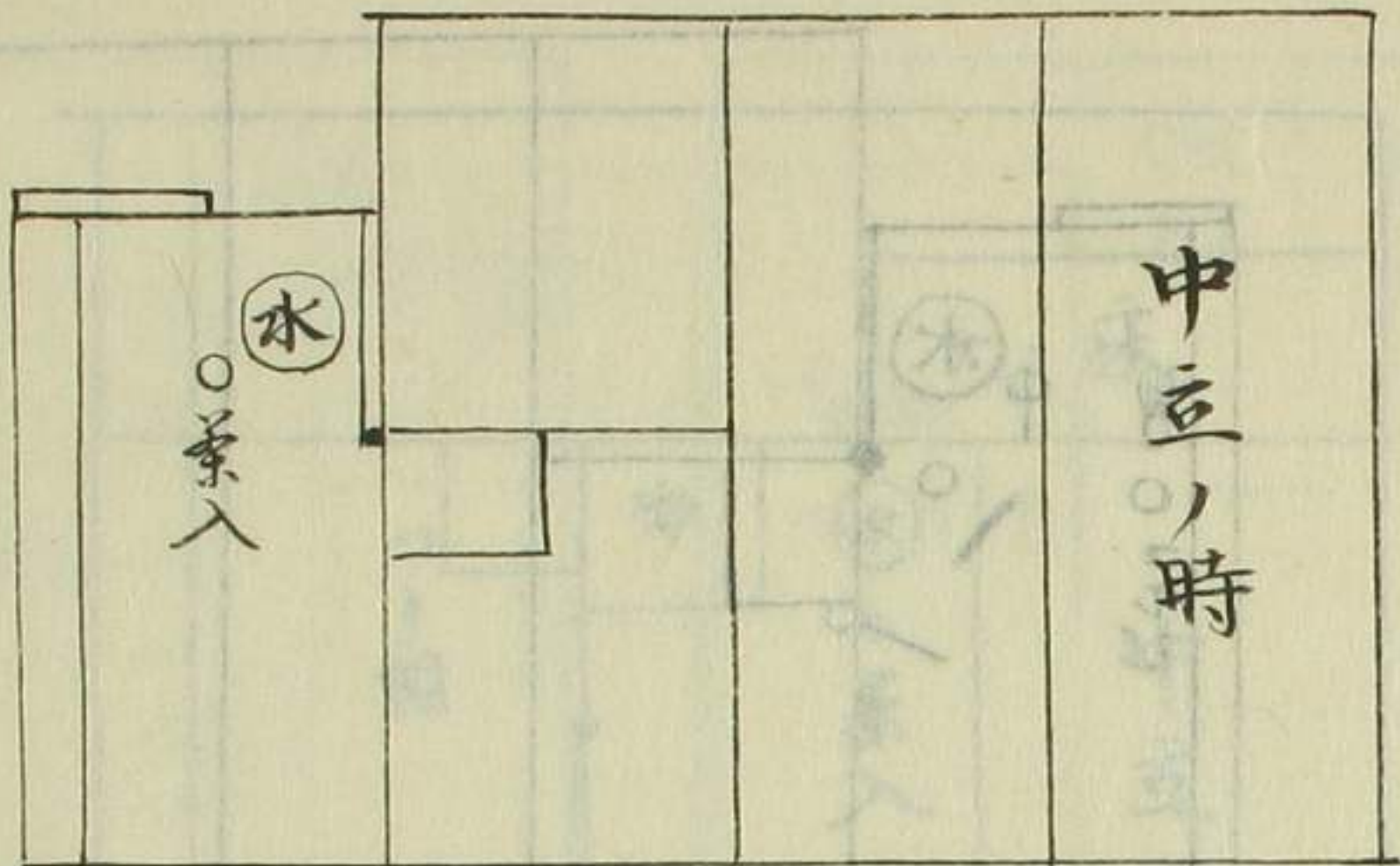
中立ノ間

風炉茶通管



点几事常同之後、茶入出ストキ立テ棚ノ
 前、居テ両手デ管ヲ口シ立テ点几前ノ
 居リ如常、廻シ茶入出シ管ヲ又廻モトシ
 持立テ行キ棚へ上ル又後客へ出ス時モ
 儀マテ出シ立テ棚ノ前、行箱ヲ持点几前
 (来テ如常廻シ出ス亦モ如常此取斗
 替ル外同シ儀ハ釘ハ一ツ又一ツハ常ノ如
 重シ此外茶釜飾ヨリ盆点几テ風呂
 ノ時留ル事ナシ)

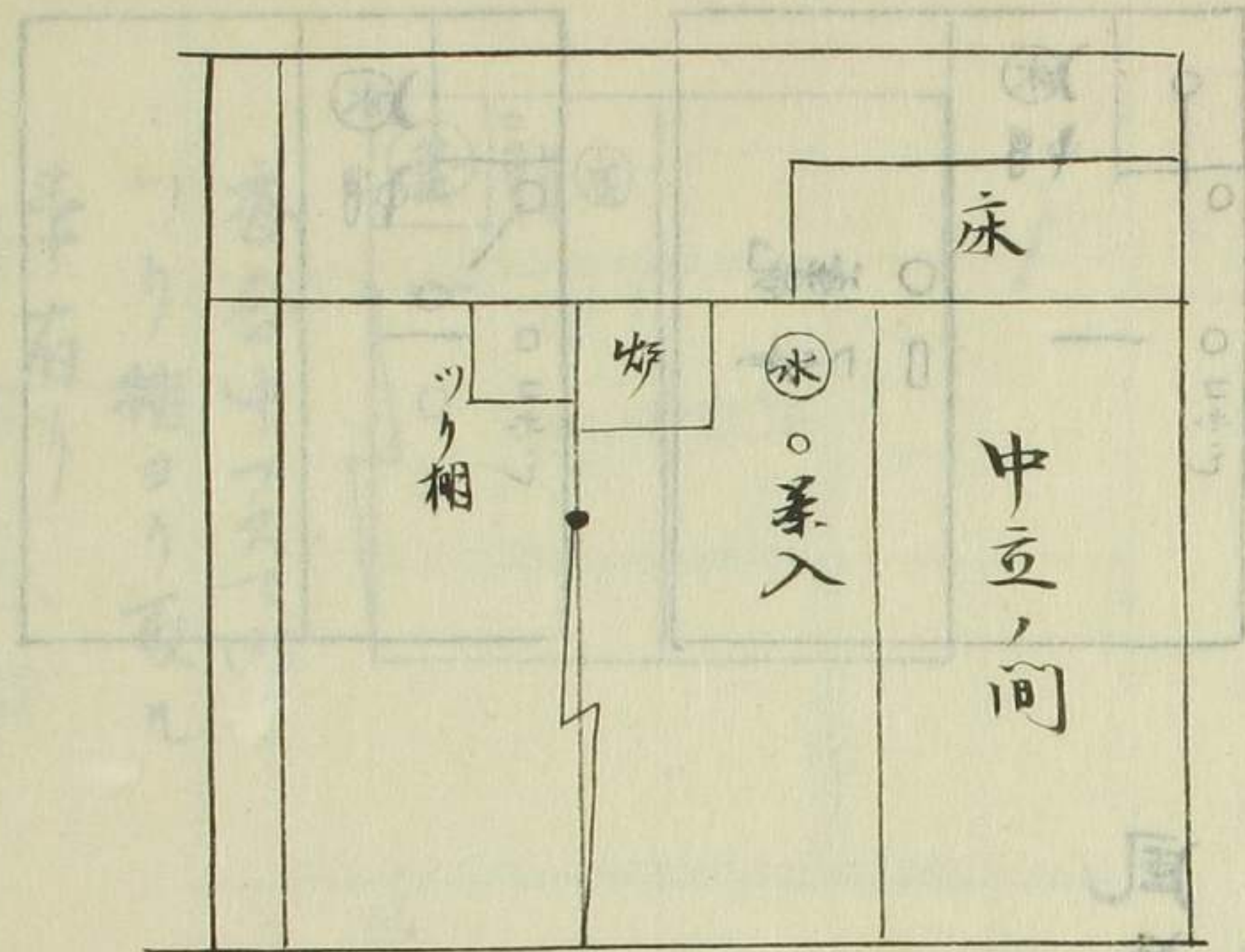
唐物点



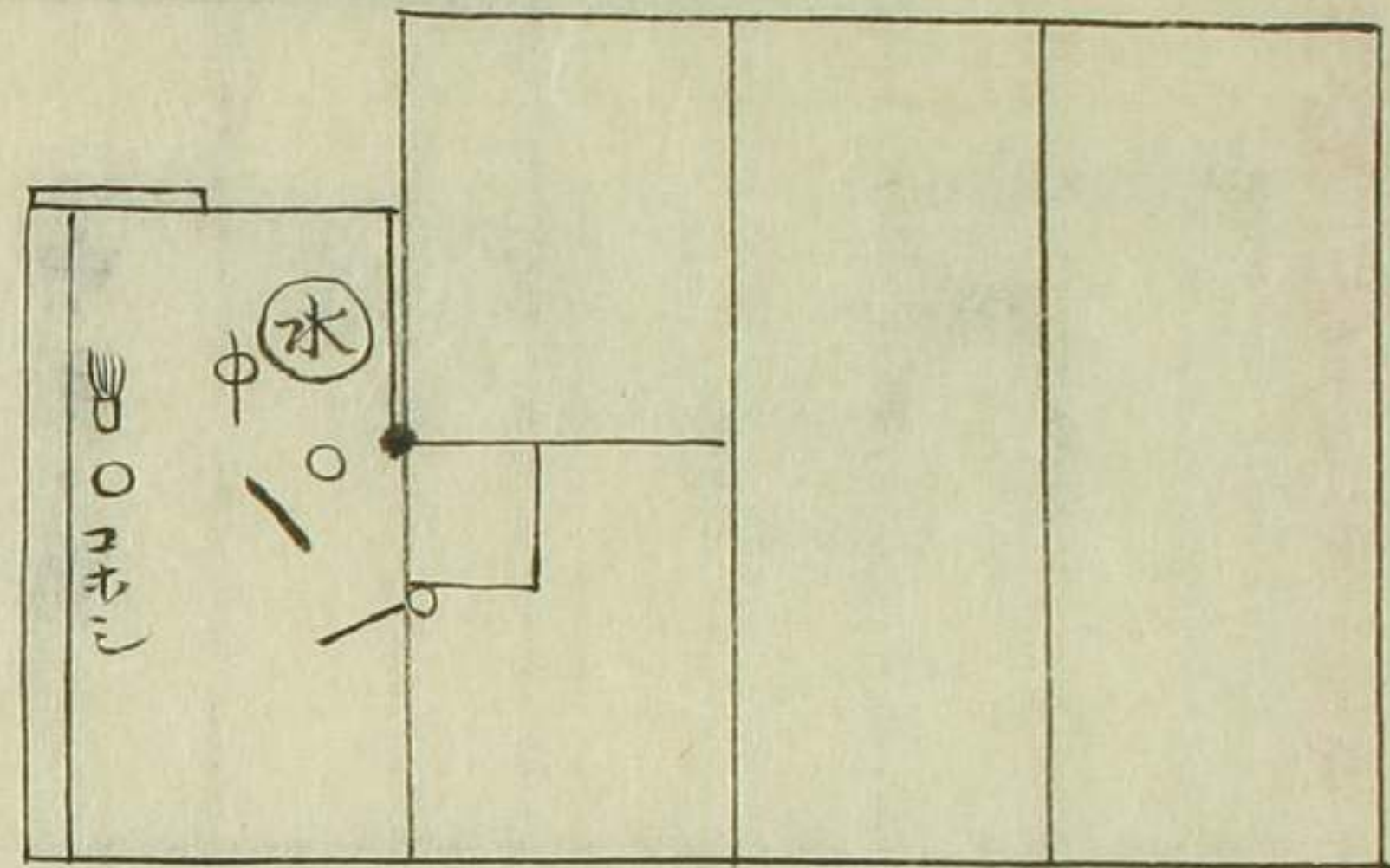
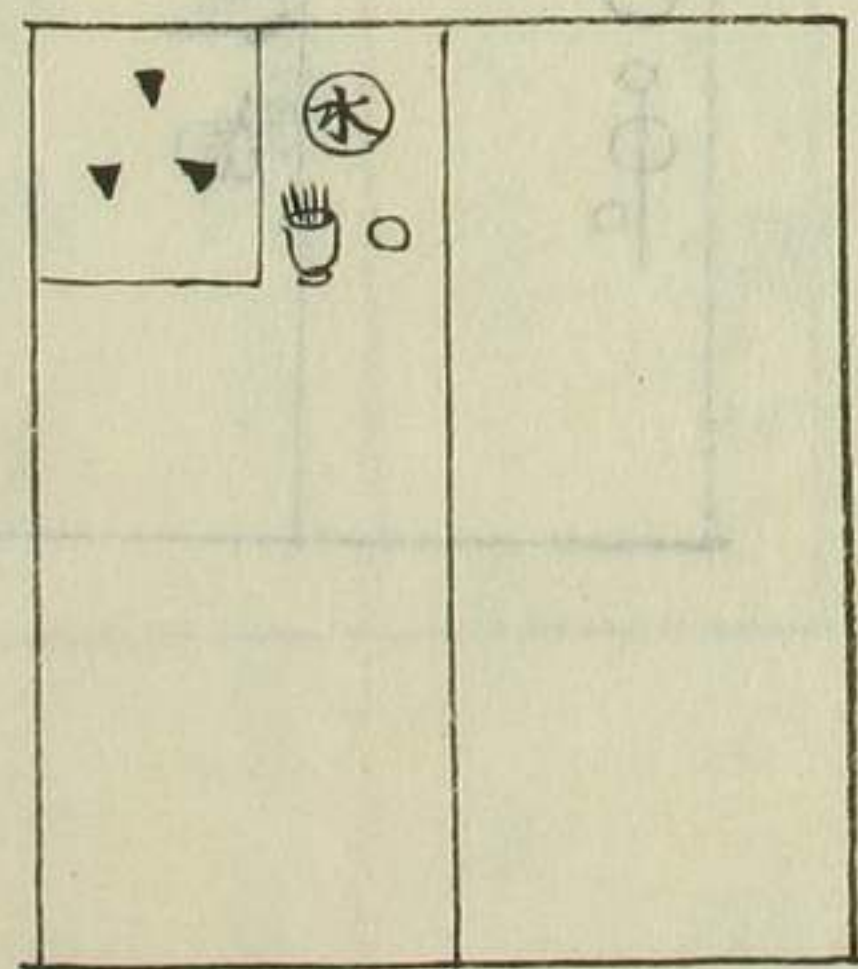
水コホシ入ヒラキシノ後茶碗
 茶新ハ重ナリ

初茶碗持出テ、コホシ取入ルナリ

追加
 唐物点ノ時ハ茶入ヲ登ノ去中(如常)
 至付ル昔ヨリ如ト師存シテ常ノ
 濃茶入ノ時ハ座敷ニカギリ水指ノ茶
 去中通リシ

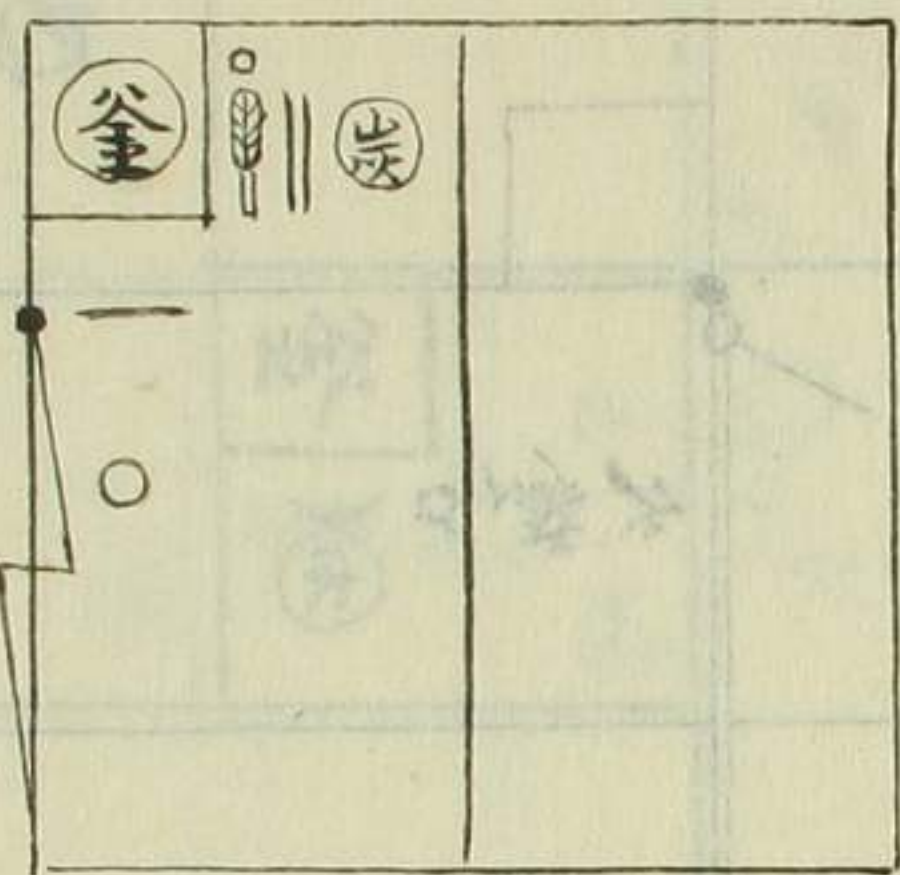


妙喜庵



茶入フキ仕旦茶碗前(ヲキ柄抄ヲ
 引一礼スモ外常ノ唐物点ノ如ク仕
 廻ノ茶盃並ニ水コホシノ先(カリニ座
 板取入ル律如常
 盆点此格ナリ
 其外茶筌飾ヨリ茶通管其至天目
 替ル律ナリ

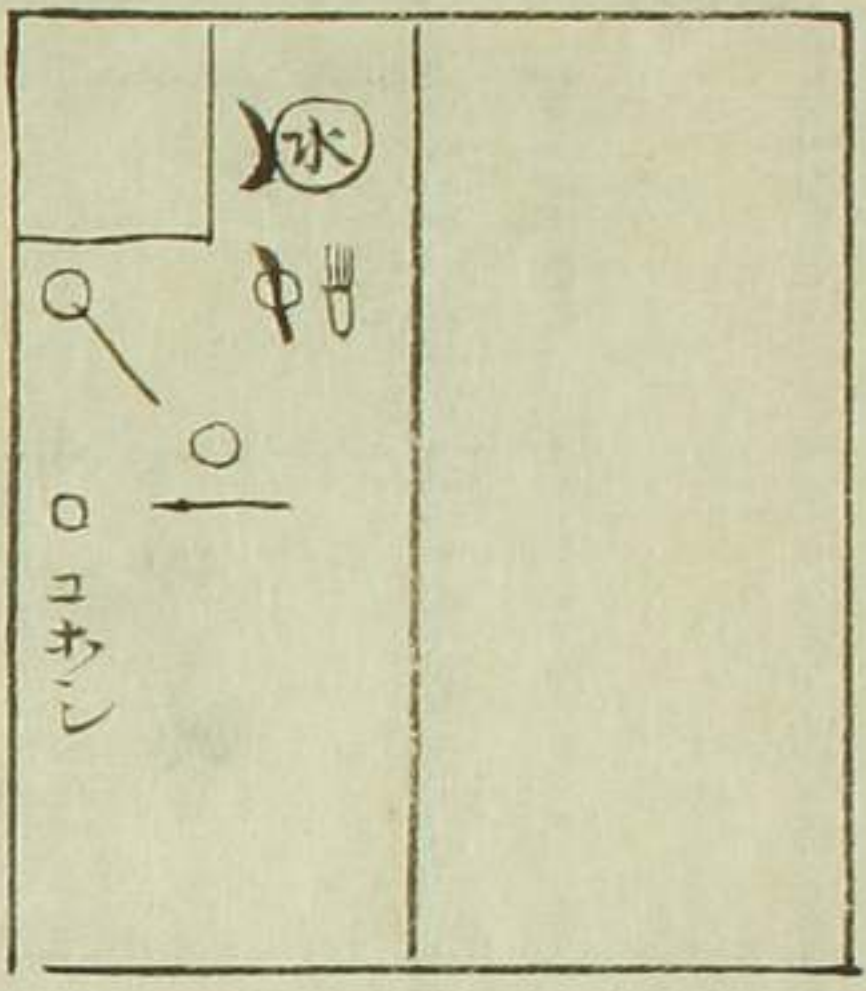
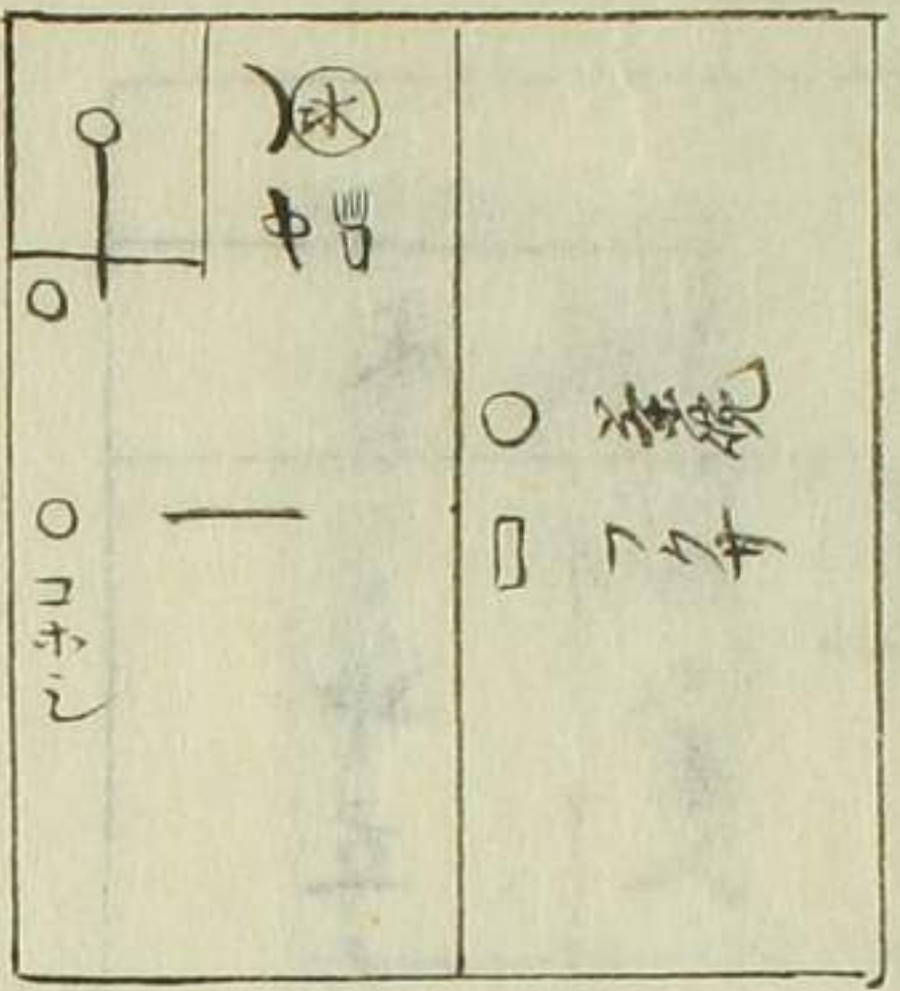
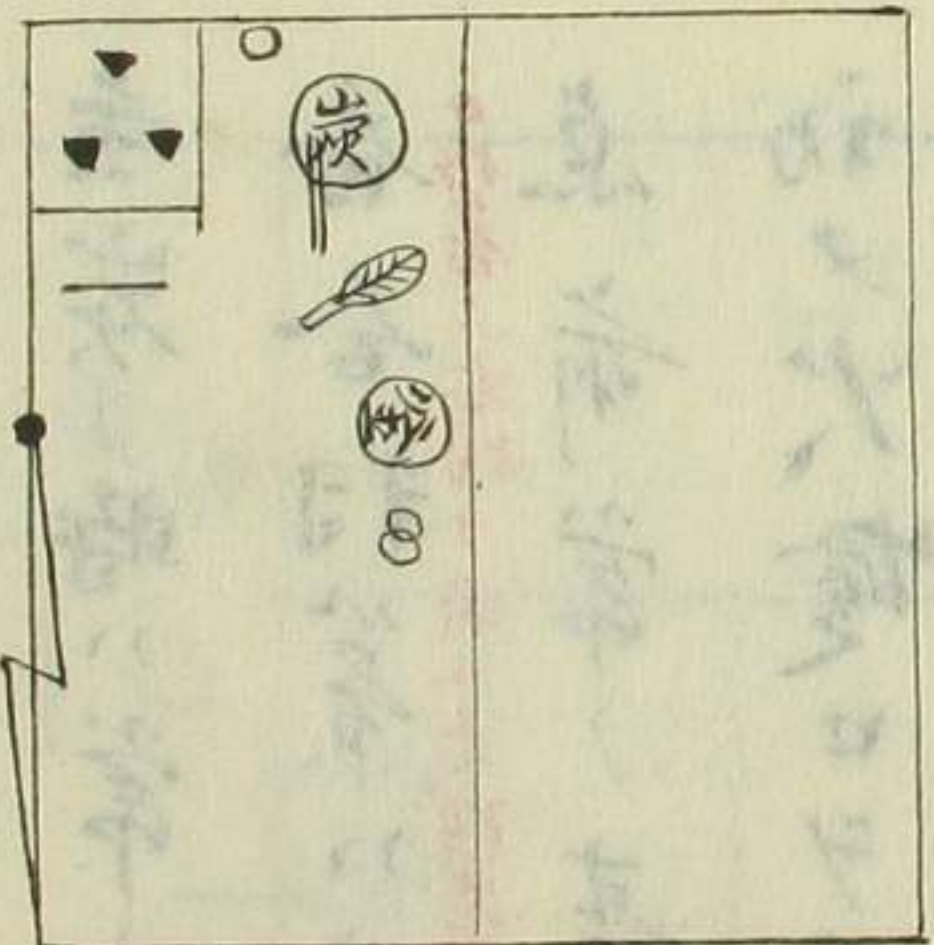
香合中フスで水ヲ
ツリ棚ヨリ取ル
事有り



壹車

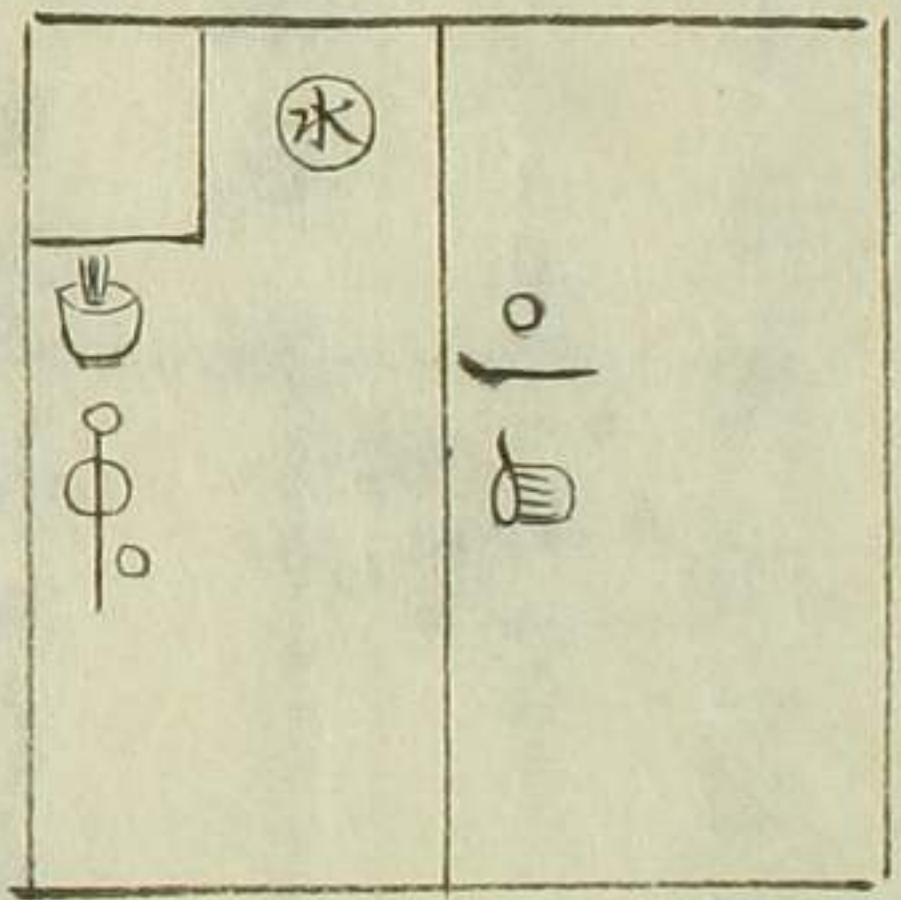
風炉ノ時如常

又中フスで水ヲ
勝手(上)ヨリ取
者

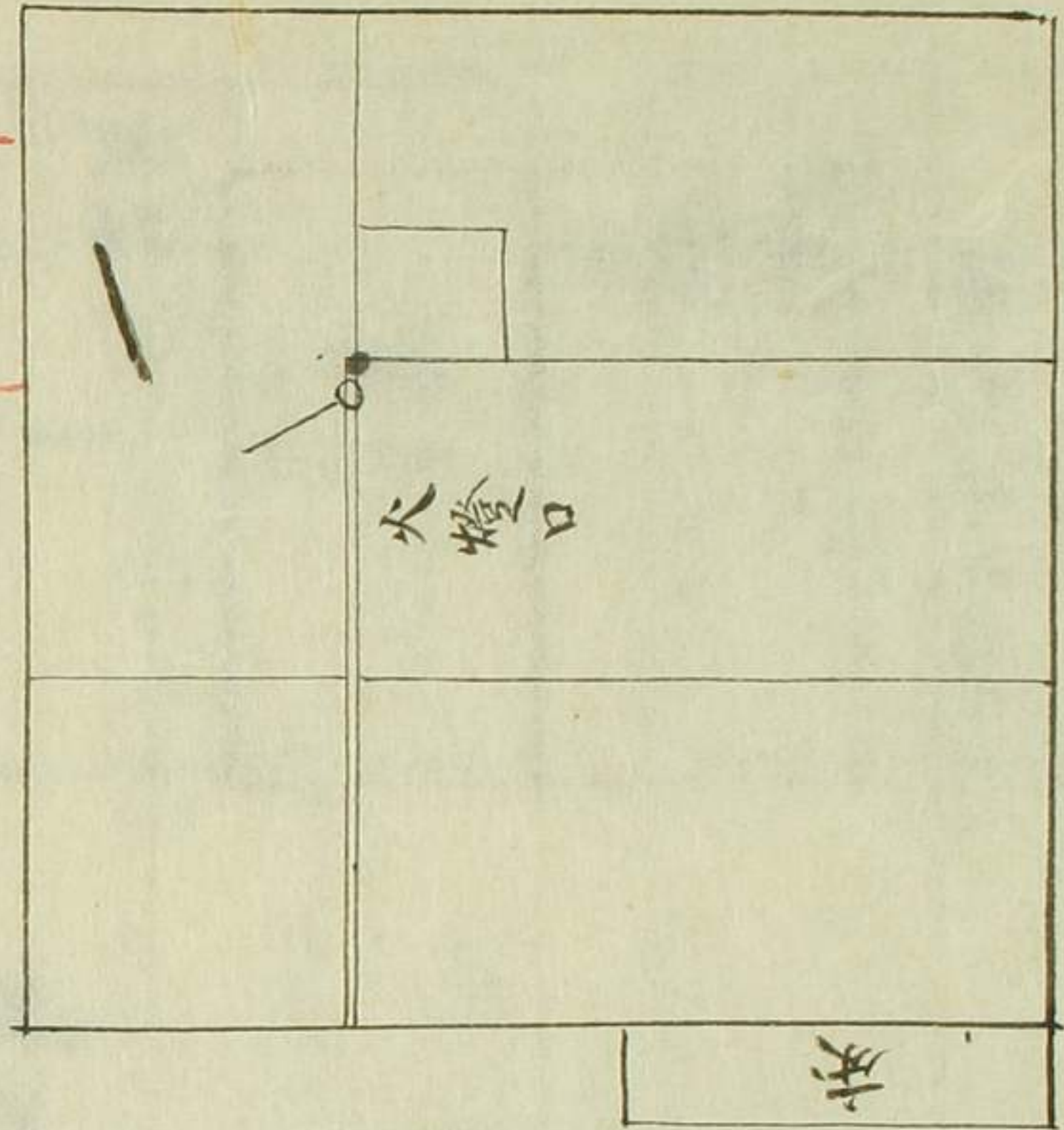


御喜遊

風呂時ハ如常替ル事ナシ



道安座鋪



堂庫

火燈口

床

客入テ道安座鋪見ルハ火燈口

ヲ以テ見テ又ニメヲク

主炭ノ時ハ常ノ向切ノ如ク

香合羽笥ハ臺目ノ通り

○羽笥ハ右羽ヲ用ルニハ羽笥香合ヲ格ル

点前常ノ臺目同新

○如此

初メ火燈口ヲ以テ柄杓ヲ夕

ヲキ引之外替事ナシ

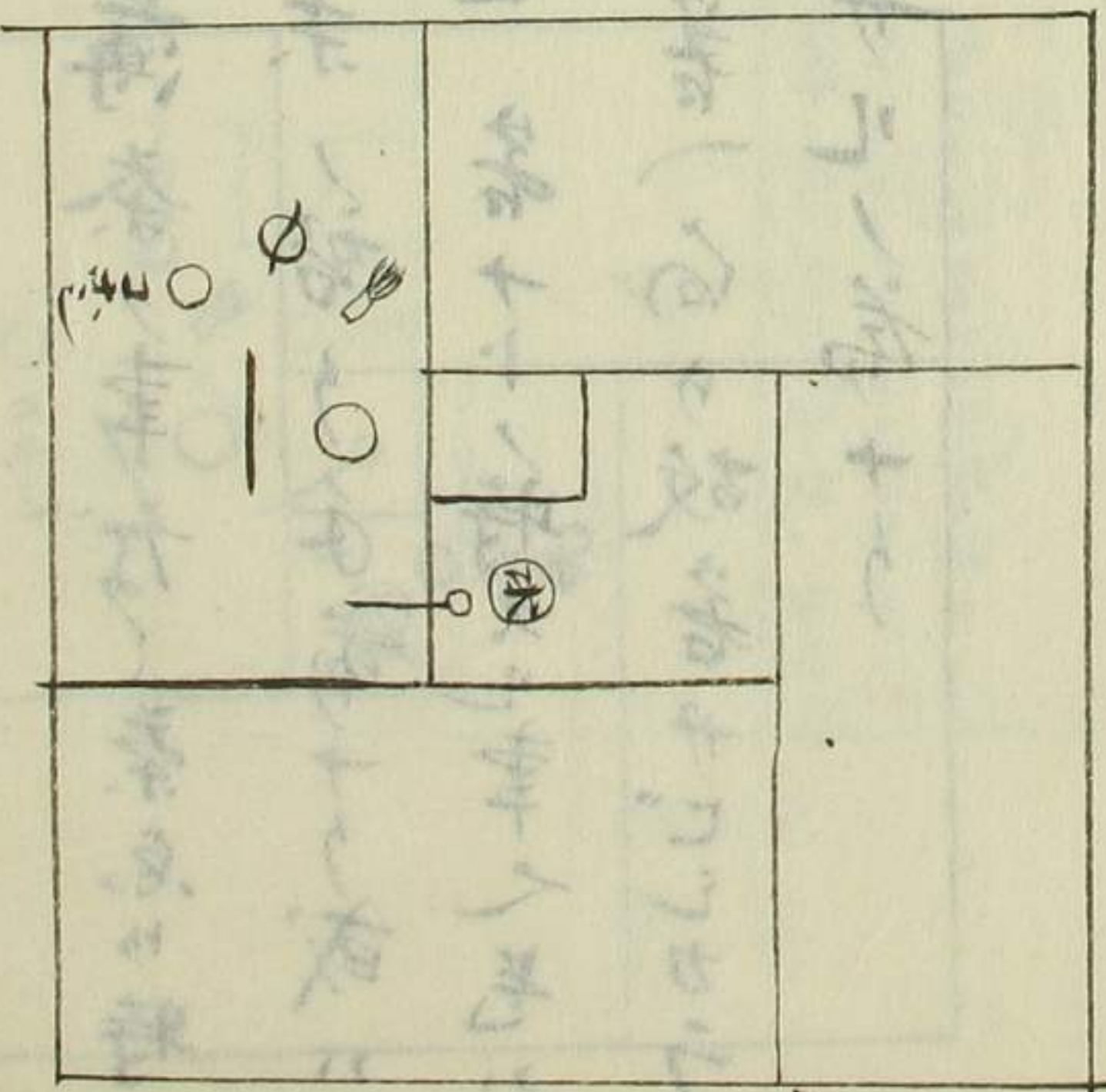
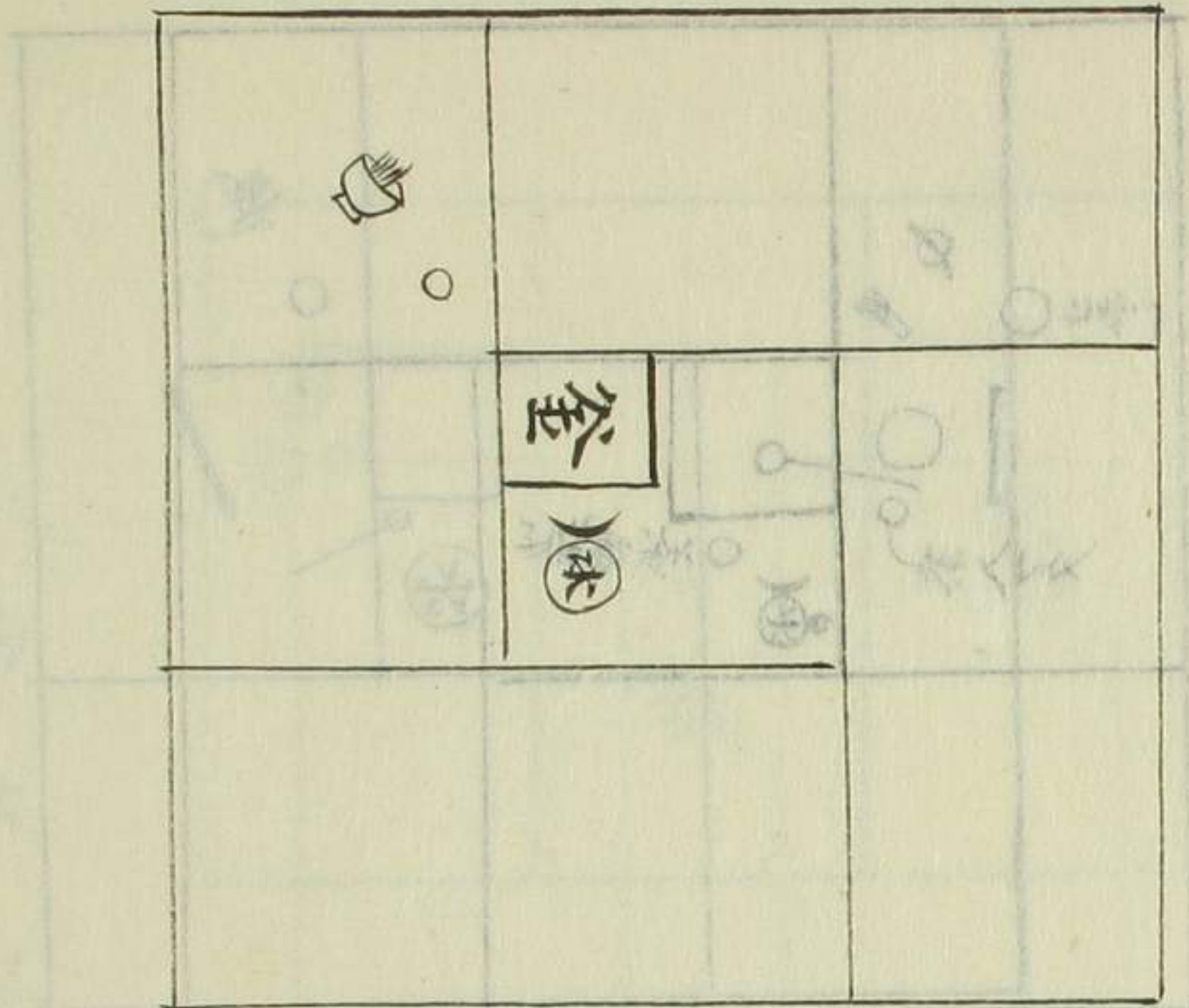
堂庫アラバ明ケテ見ル之障子ノ引手

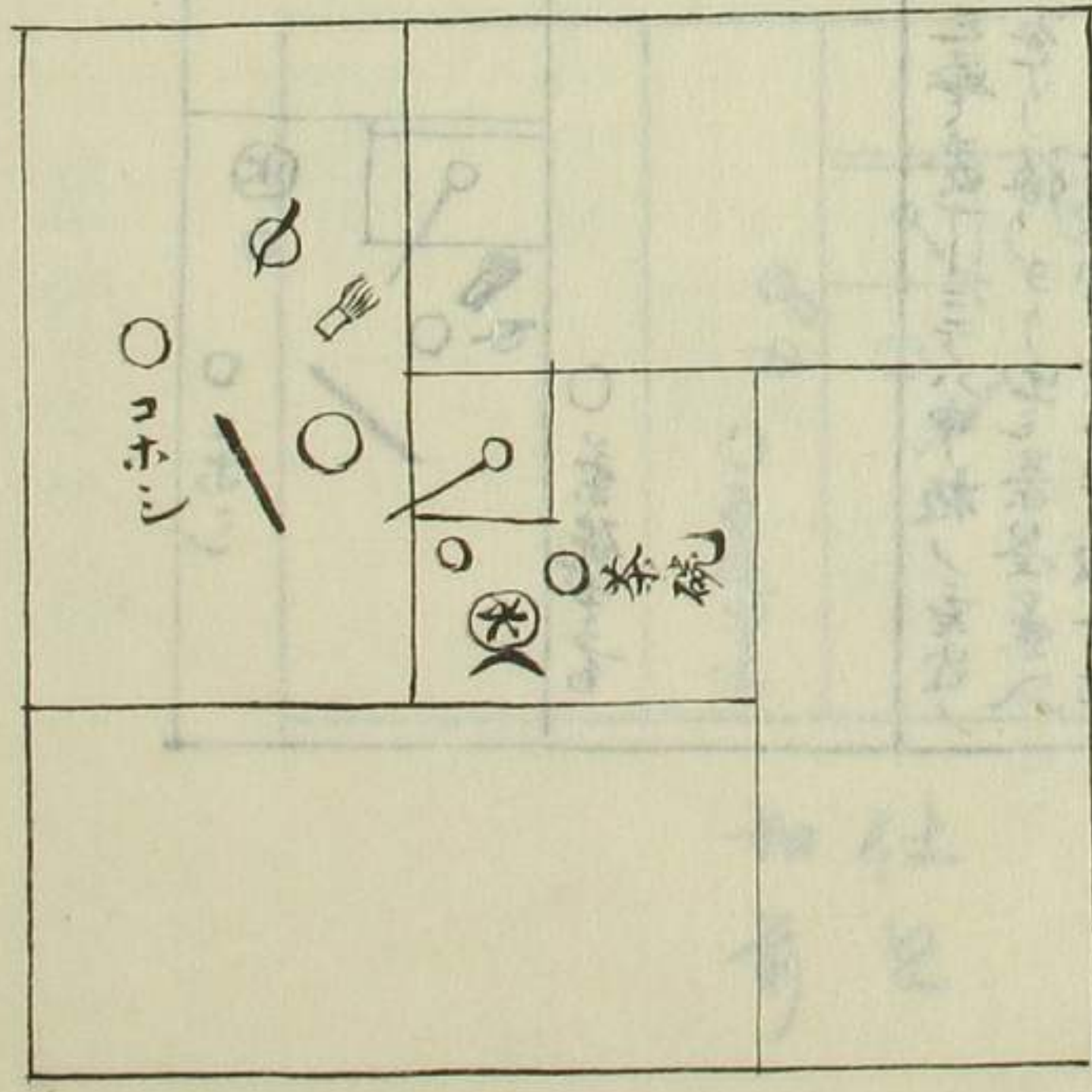
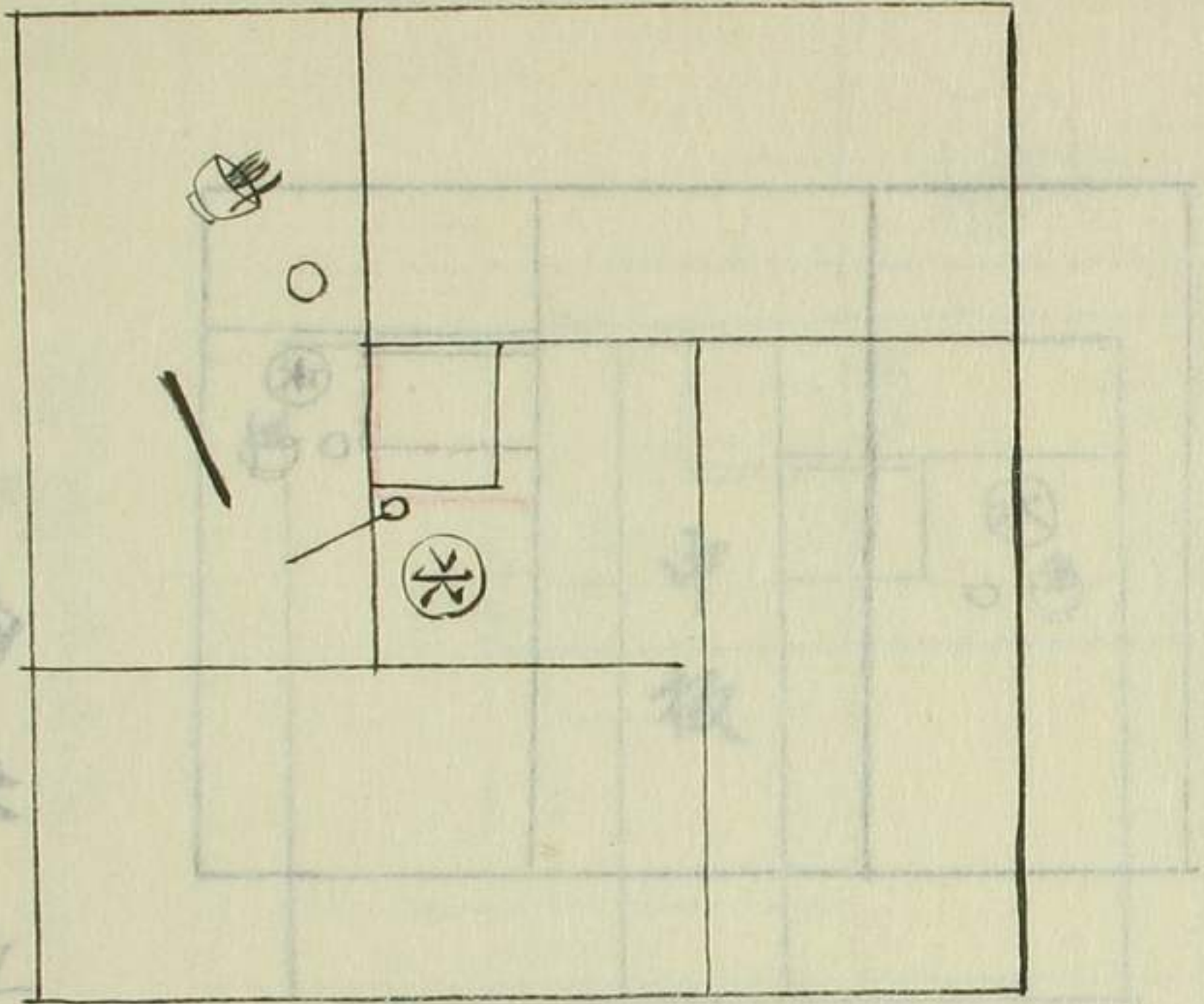
裏返シテアラハ不見ト師翁註シ

蓋座ニ後居ノ上ニ座シ

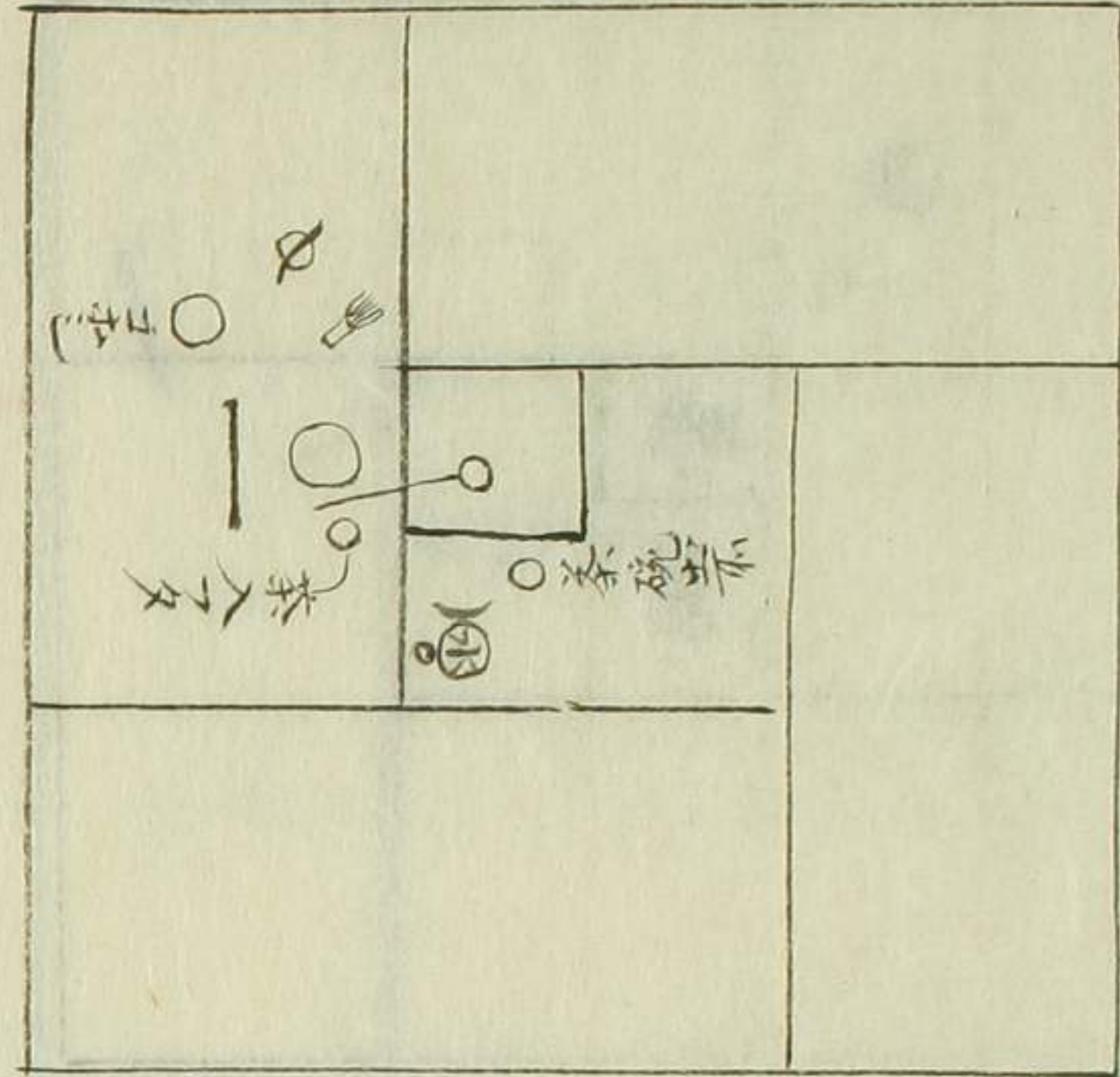
○他流ハ堂庫戸明ケカケテ有ル見ル明カケテ
云キ時ハ不見ト云ヘリ引手ノ理ニ不計

四疊半流之節



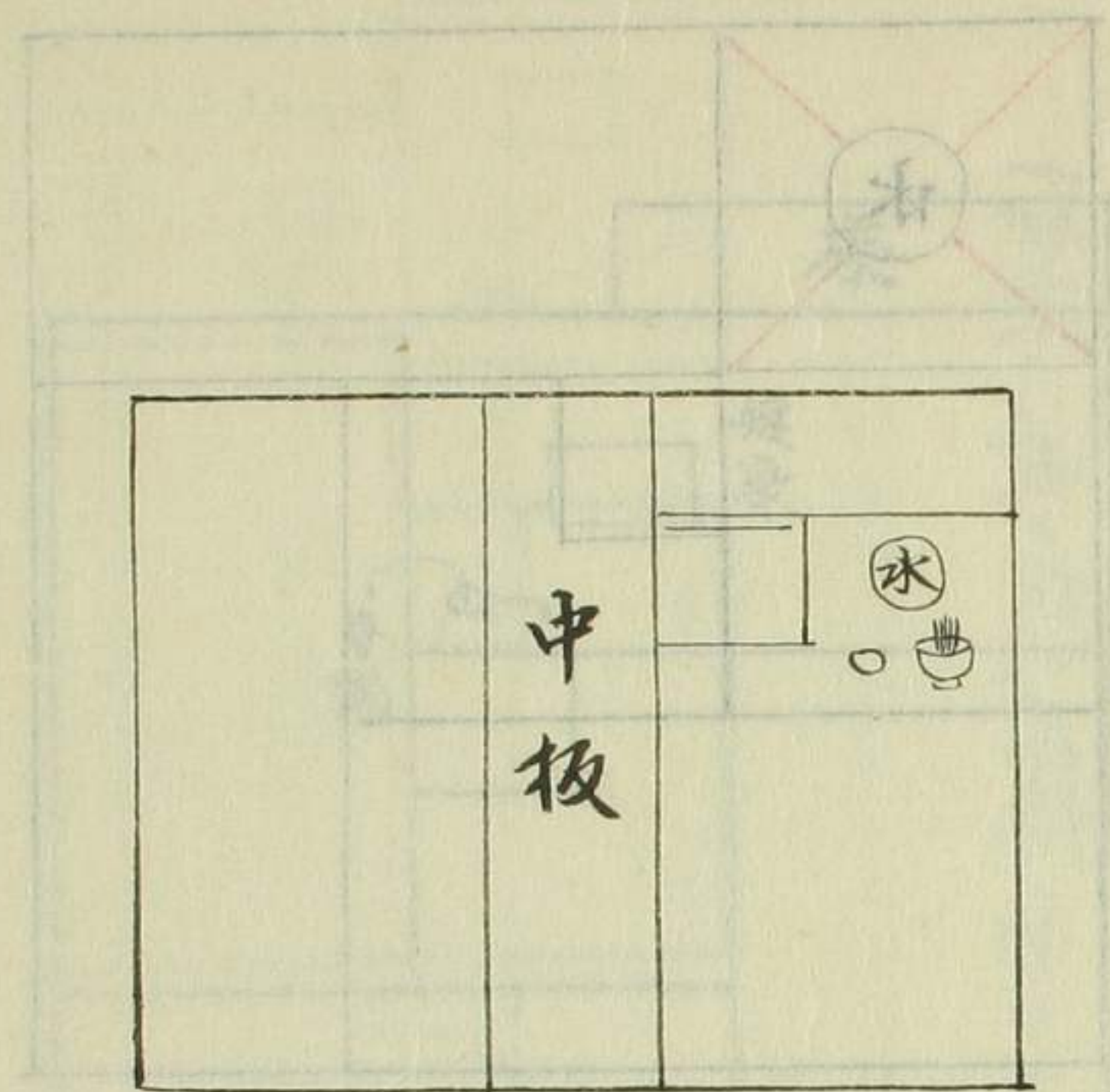


是ハ茶碗、流之節ト古風ノ手前ト
 組合せたり手前ナリ
 是ハ天然ノ致シ流節也

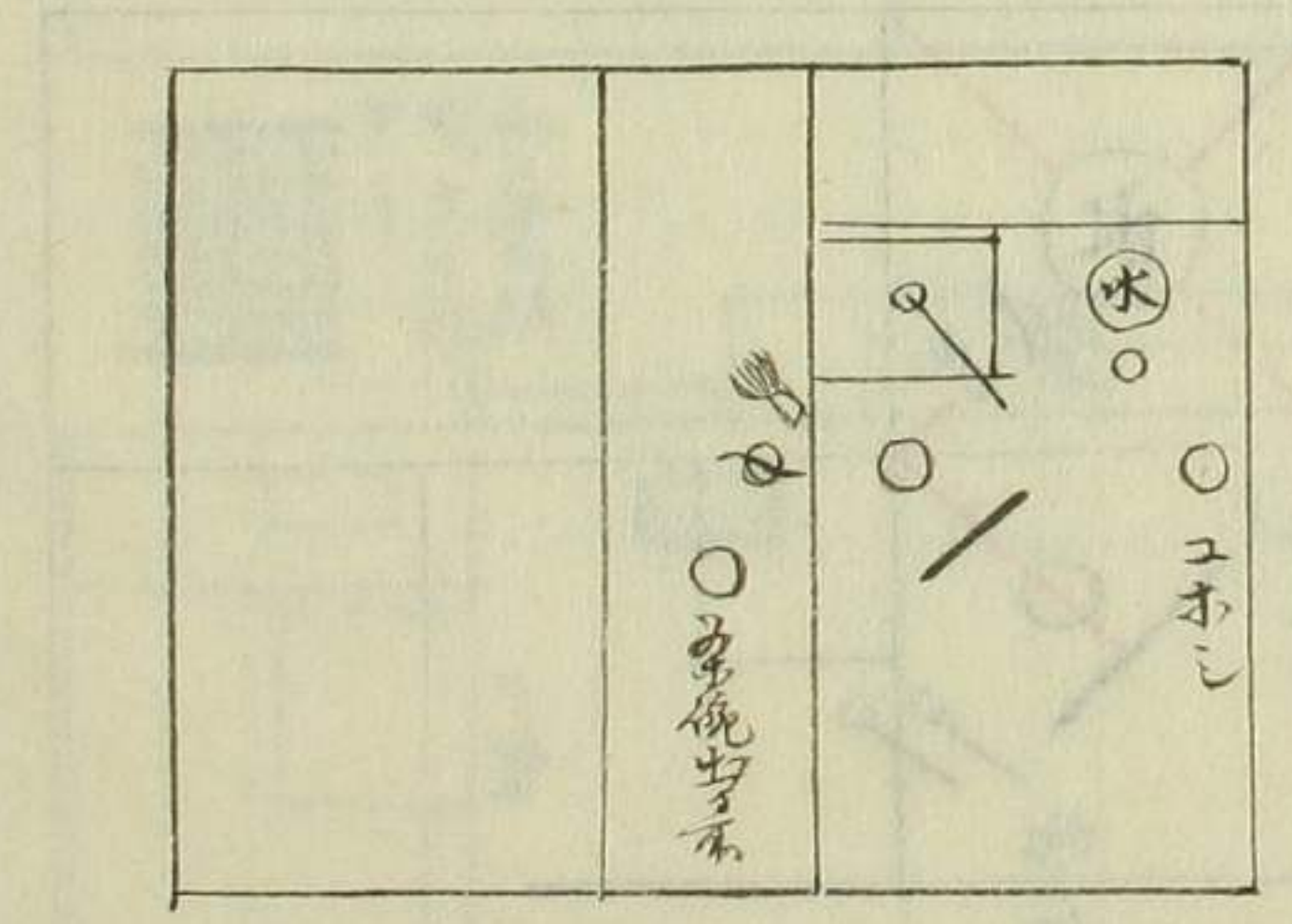


薄茶ノ事ナク茶息リ時
 末ノ替リ手前ナリ或ハ
 一客ナト時スレ事ノ是ハ
 客一ノ向ラ故若サビシカラ
 ガルノ為ナリ

四角半古月之輪

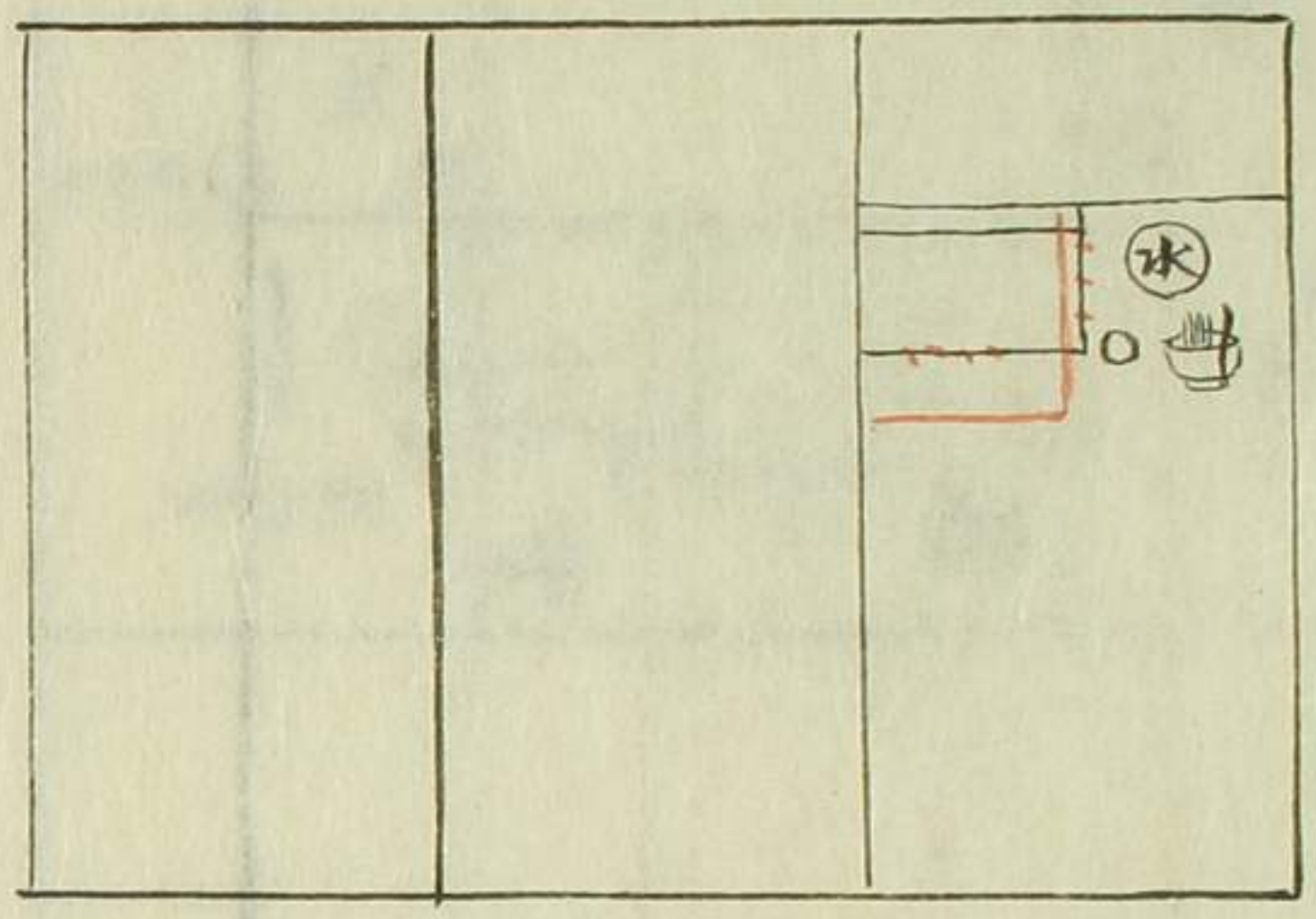


同中板入

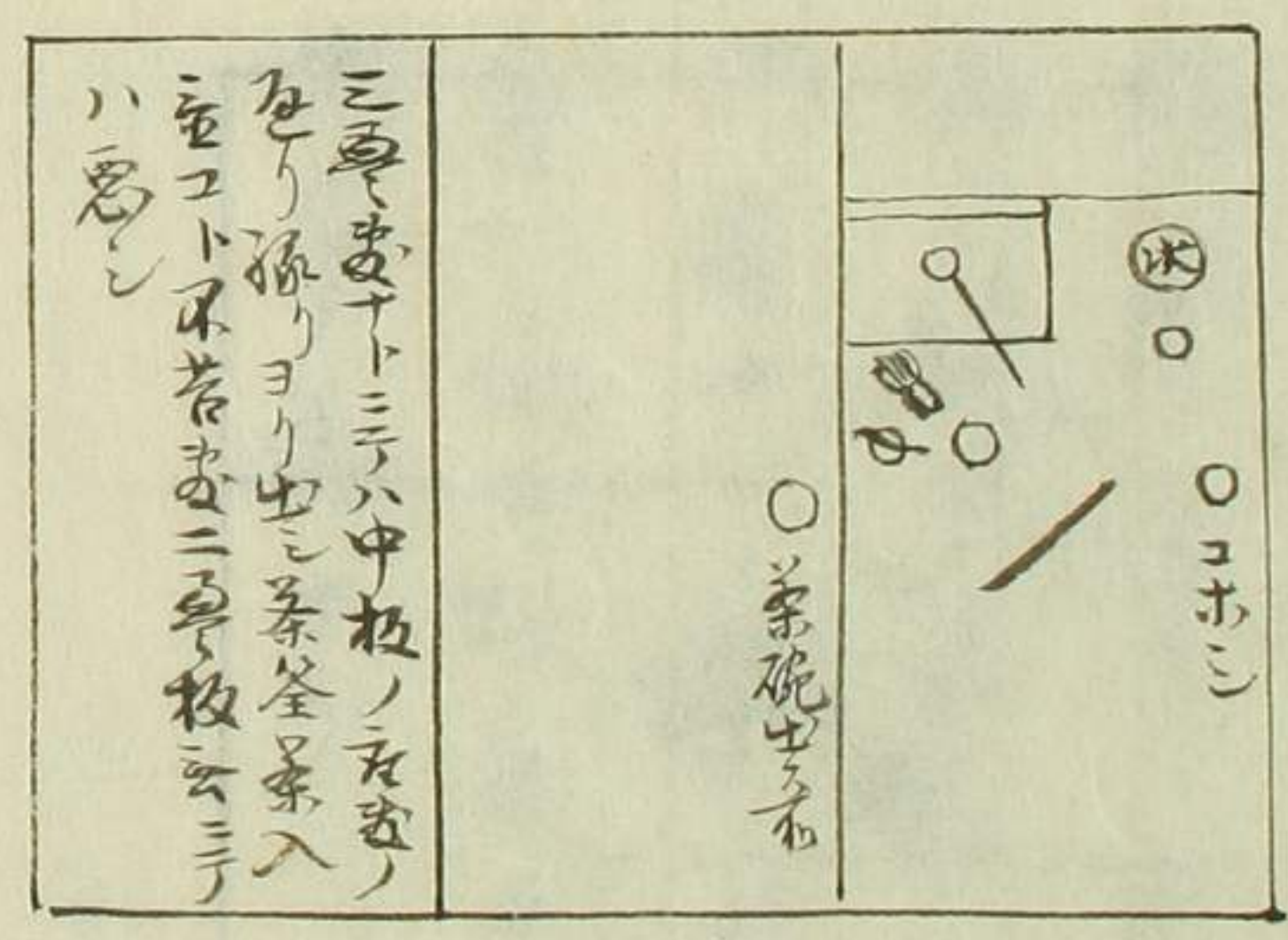


仕
如
前

是
合
之
以
下
之
形
也
其
中
之
水
器
也
其
中
之
茶
碗
也
其
中
之
茶
匙
也
其
中
之
茶
筴
也
其
中
之
茶
入
也
其
中
之
茶
出
也
其
中
之
茶
入
也
其
中
之
茶
出
也

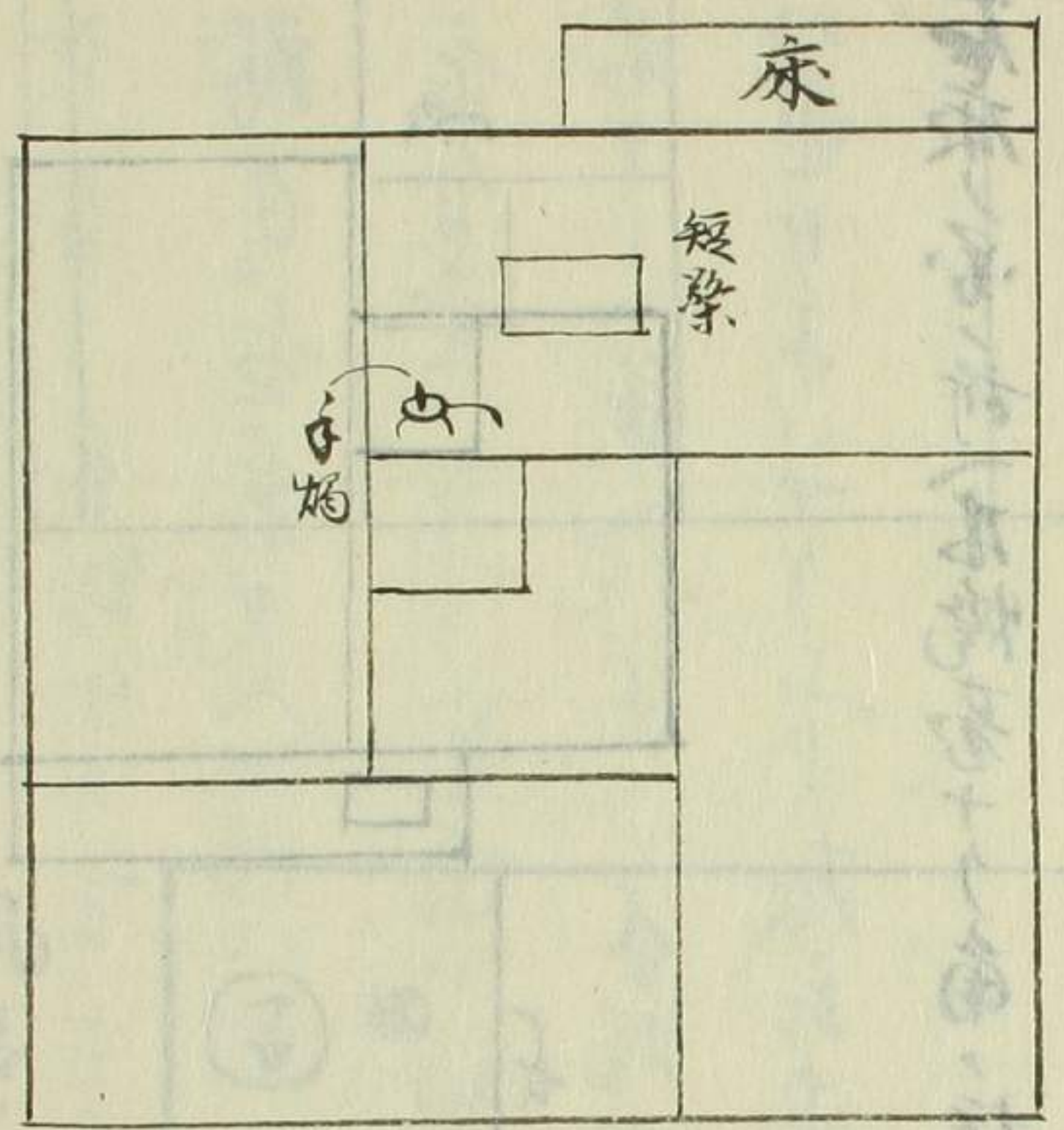


向切送ノ流飾



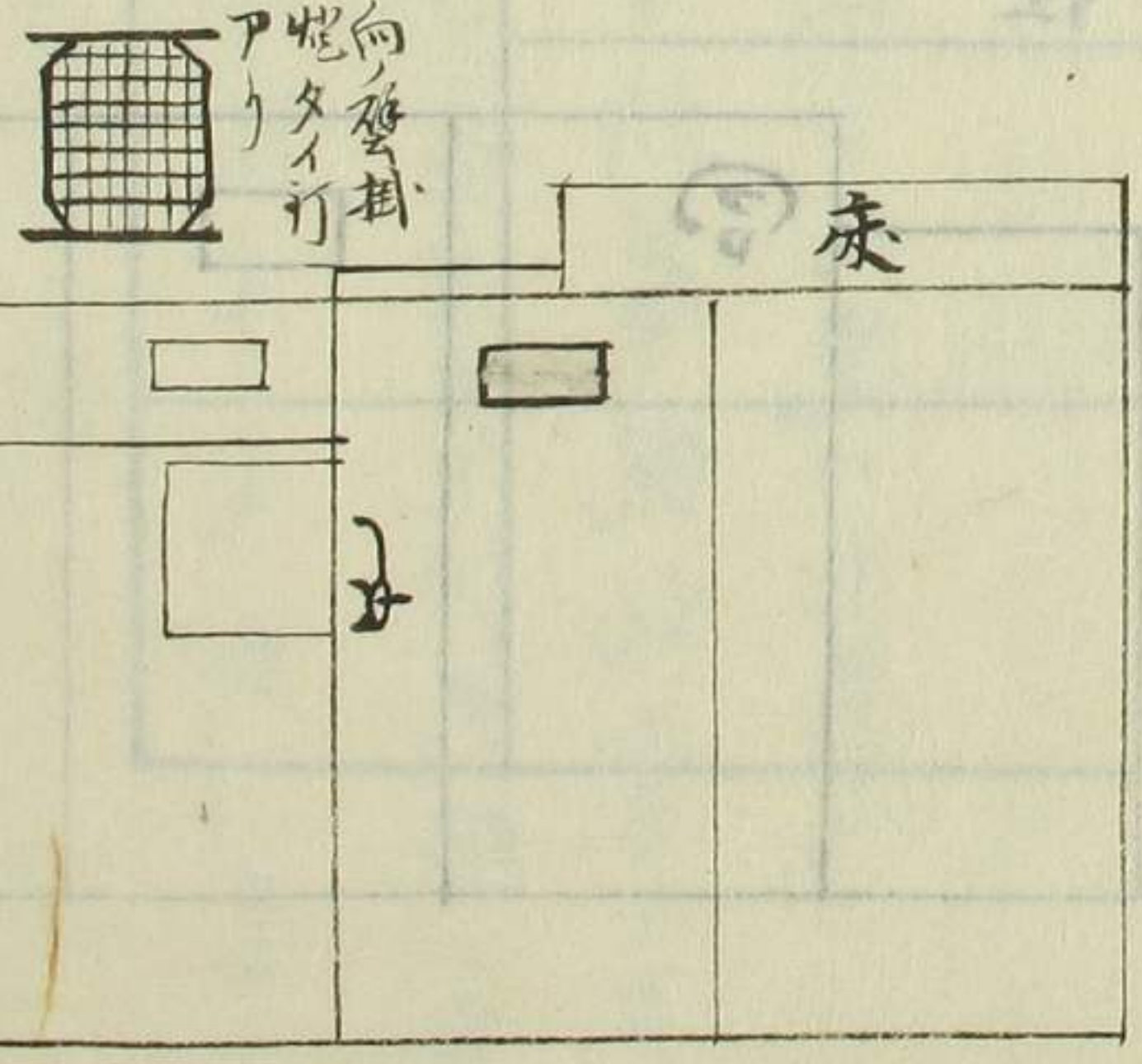
三
角
半
古
月
之
輪
中
板
ノ
形
也
其
中
之
水
器
也
其
中
之
茶
碗
也
其
中
之
茶
匙
也
其
中
之
茶
筴
也
其
中
之
茶
入
也
其
中
之
茶
出
也
其
中
之
茶
入
也
其
中
之
茶
出
也

鏡臺并行燈臺ノ下ニ重ナリ

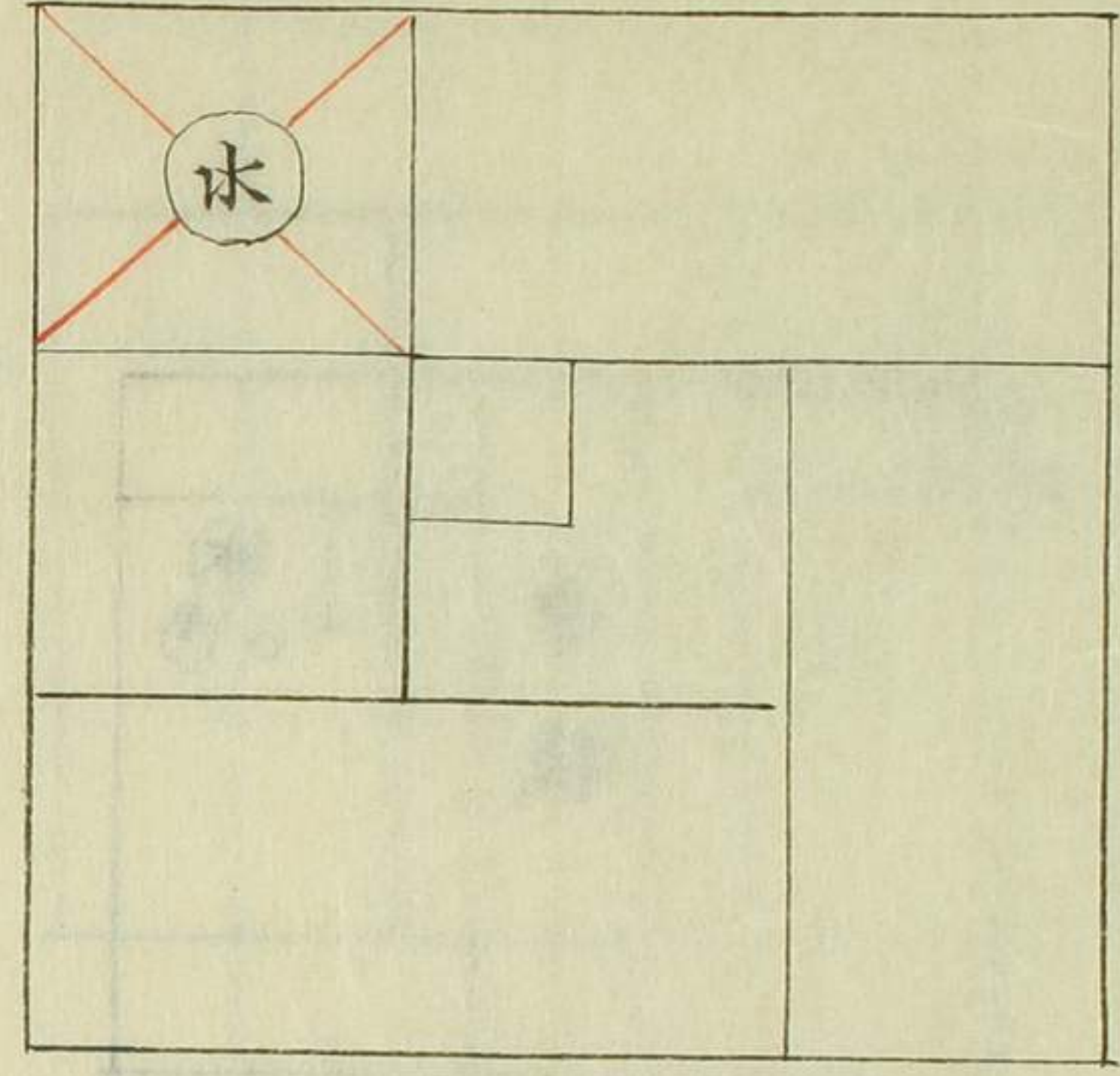


四疊半

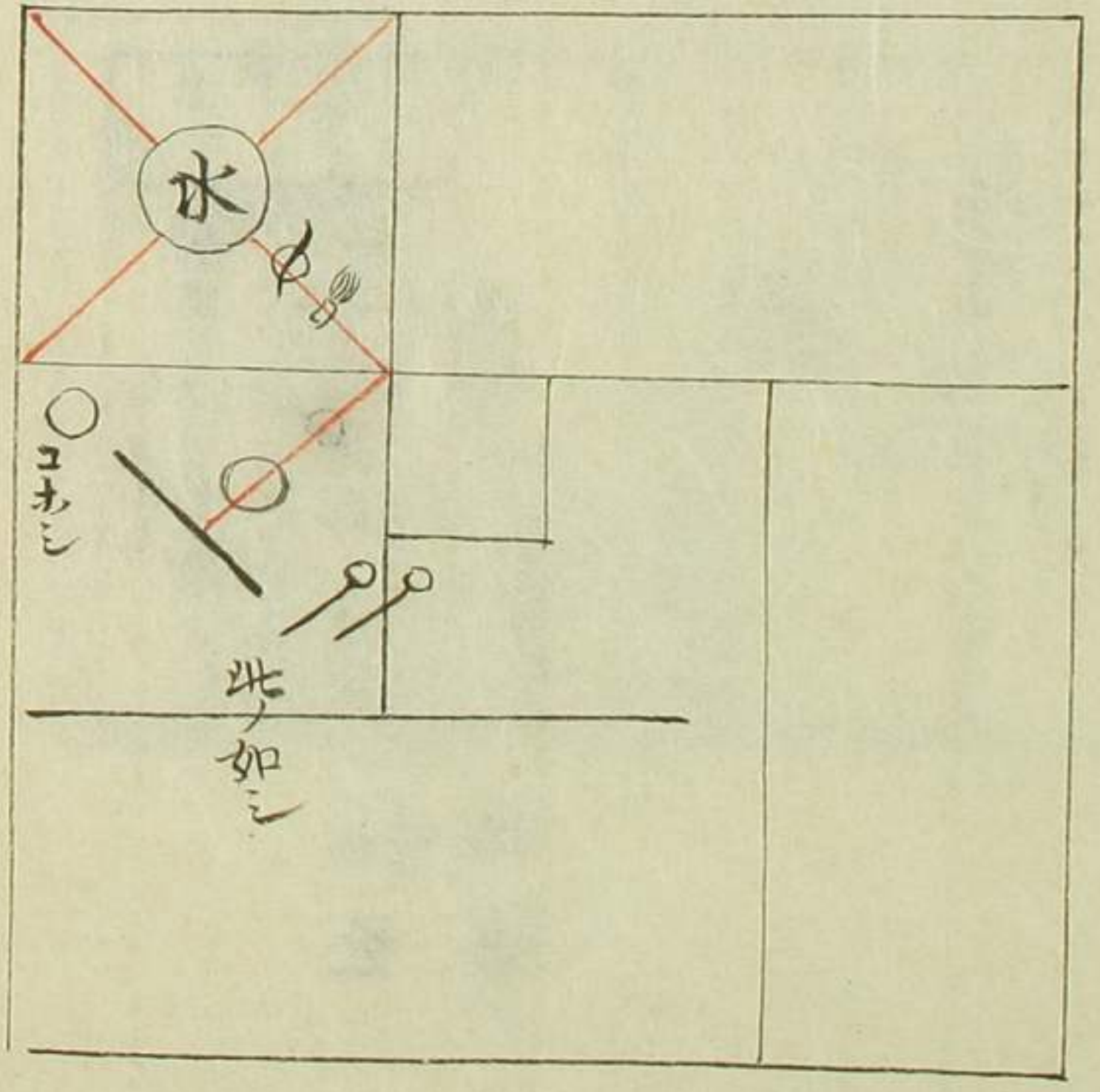
本燈臺并檠臺ノ結燈臺
右邊ノ下又ハ向板ノ下ニ重ナリ



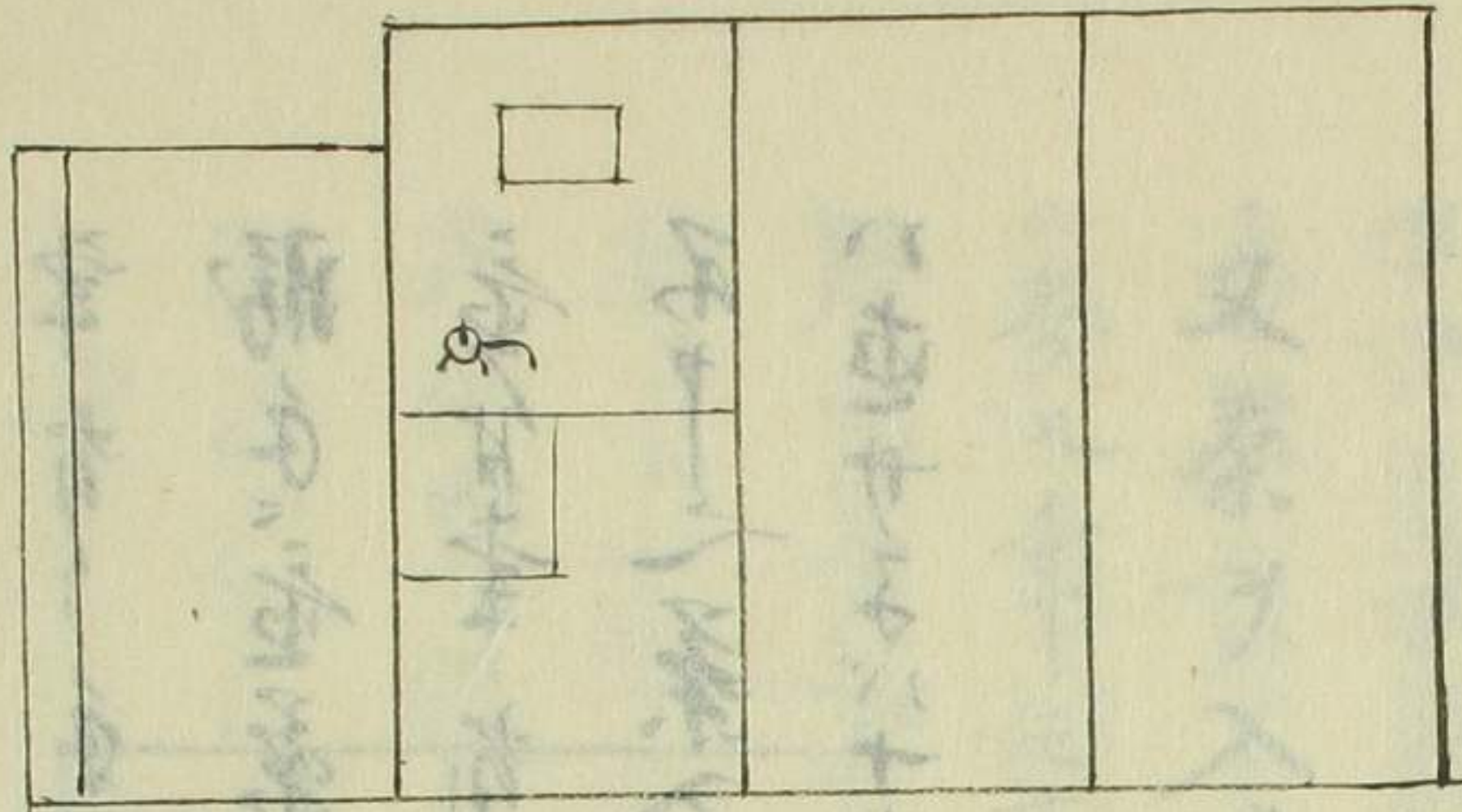
不審菴邊込



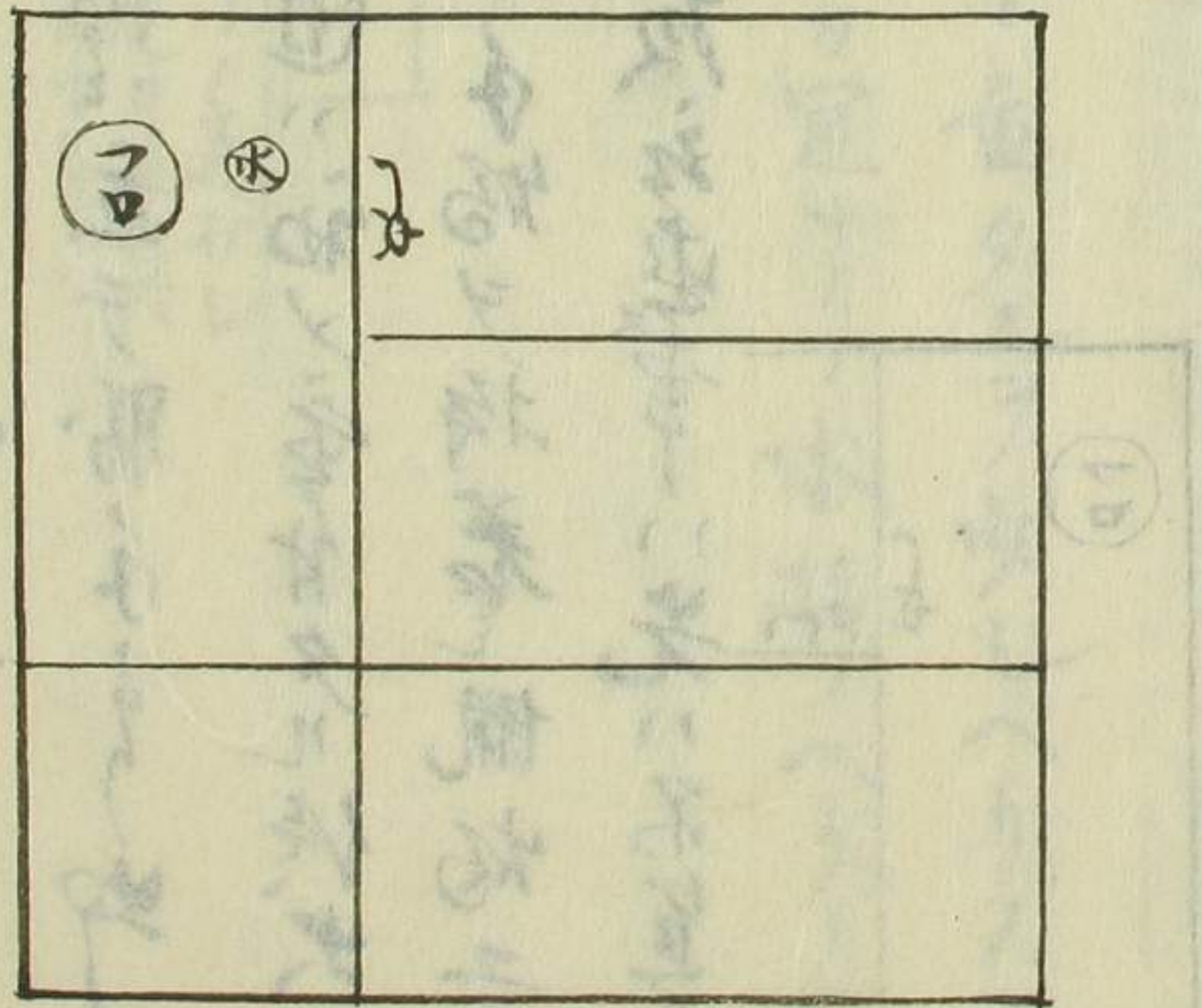
四疊半古風之飾



寝繋ヲ用如図並
手燭元等ノ所

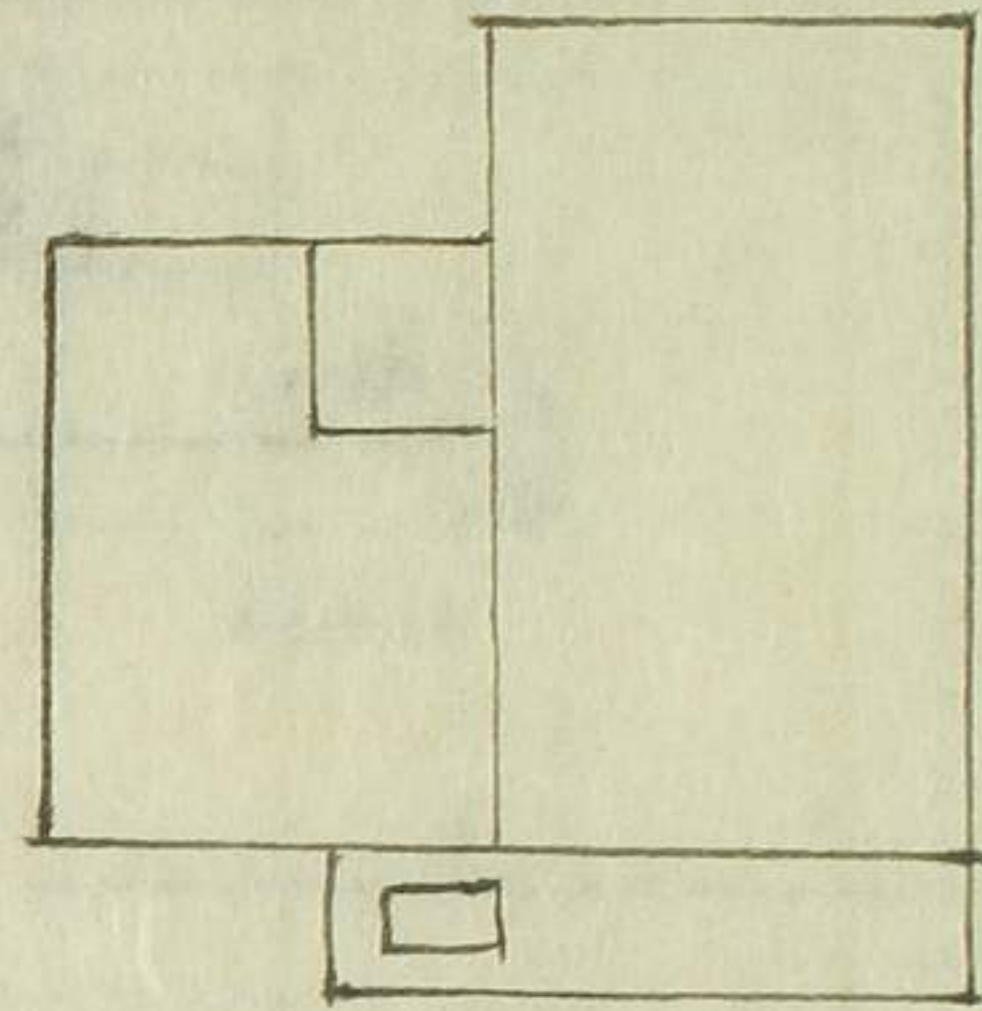


風呂ノ手燭元ノ所
風呂ノ間ノ重ハ不宣

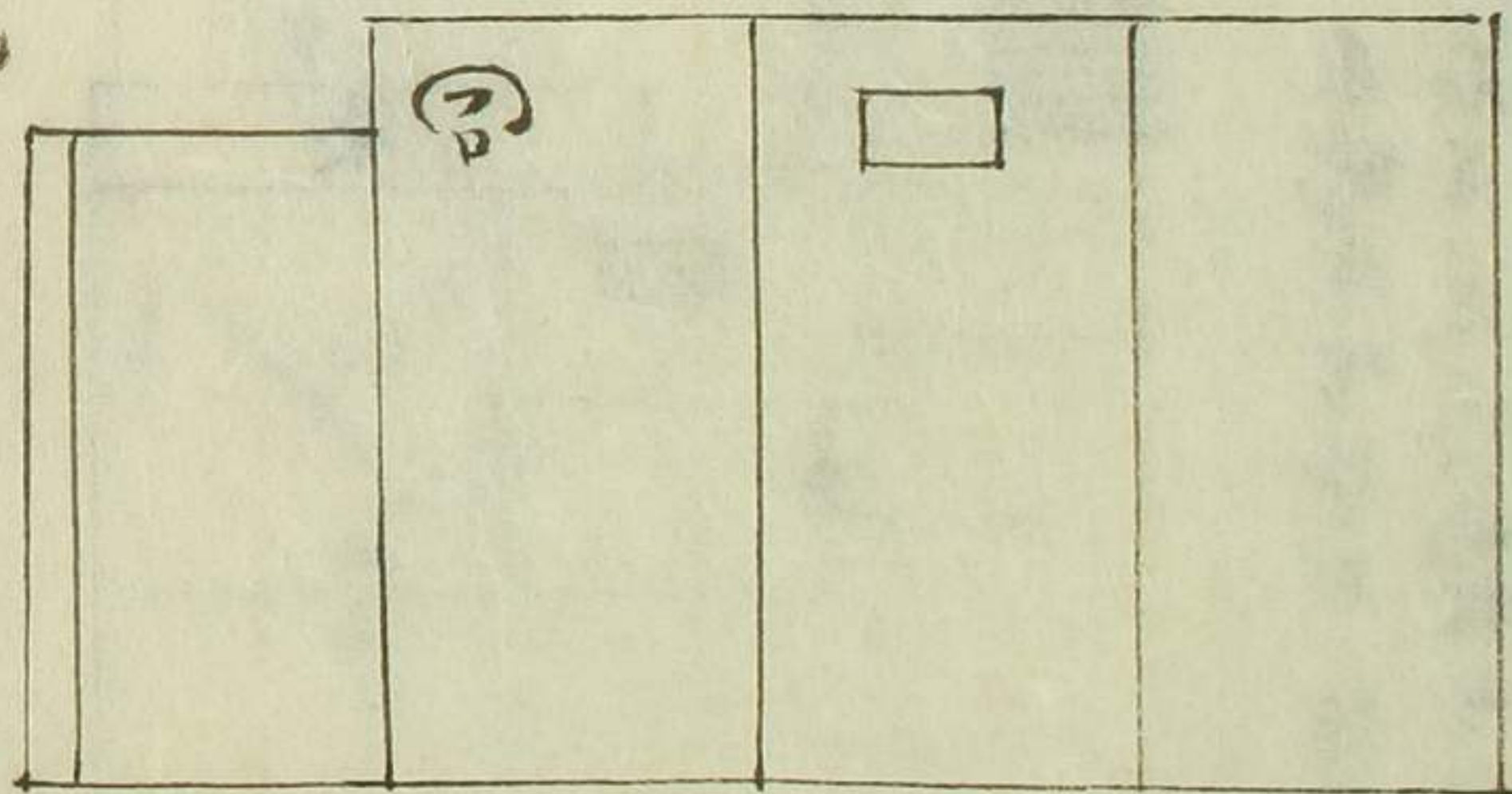


右燭ノ所ノ所(本燭元ナリ)角ノ柱
掛燭臺ノ打有リ是ヲトボス時ハ
本燭元ハイラズ

風呂ノ所ノ右燭元ノ所ニ重ハ
通口不モ又ハ底ニ毛上リナリ



一重ノ本

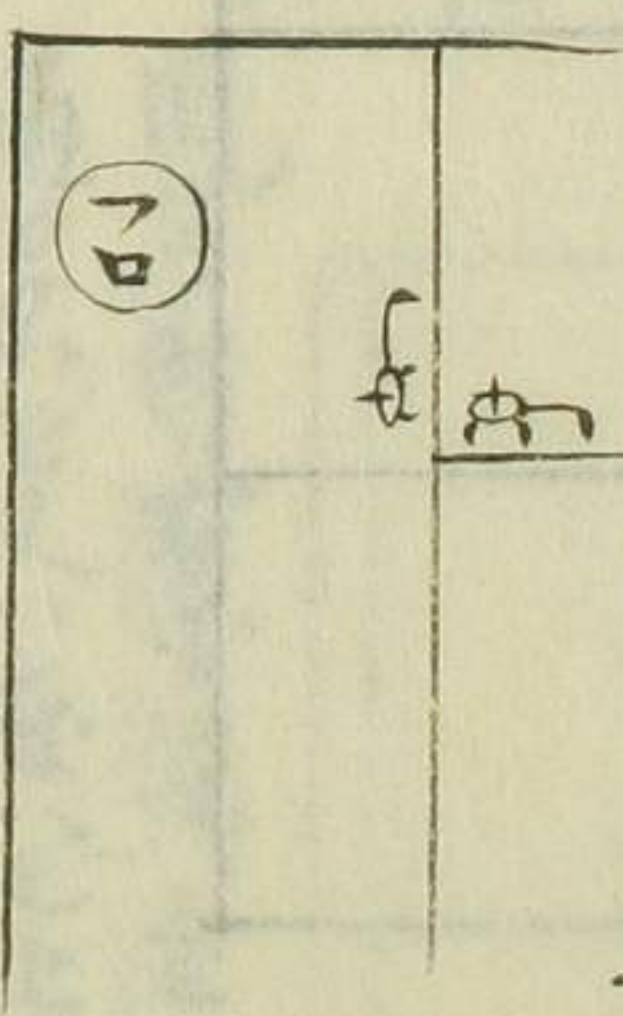


又審菴

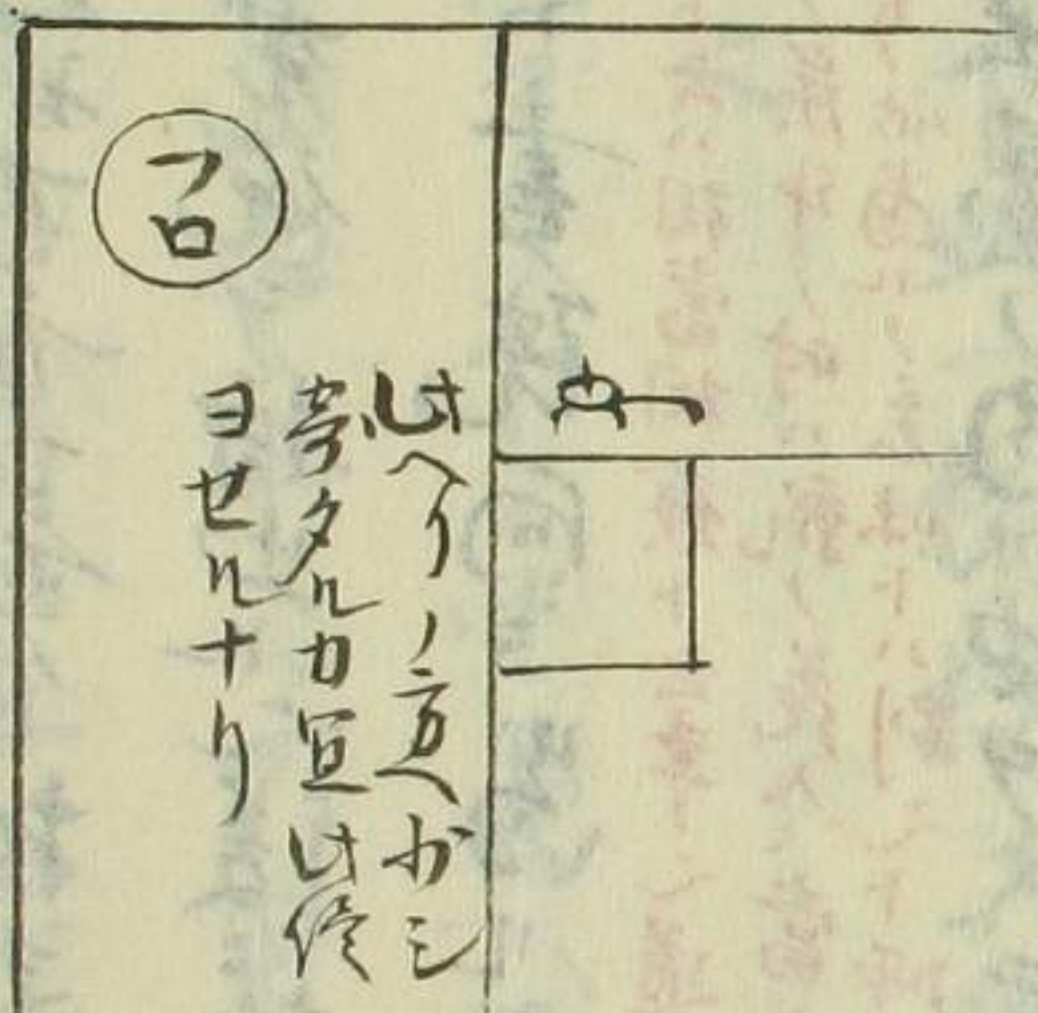
手燭之筆

常テイノ画(画)筆ヲ景碗(ハク)時水拵ノ方(画)筆
筆有リ手燭出ス筆有リ等(新)

勝手(画)筆ヲ入ル時(立)テ勝手(画)筆
畫付筆有リ宗通ハ初メ畫付タレ終大概(画)筆
不中(画)筆入ル前小(画)筆ヲ持着(画)筆
ハ速サ子(画)筆有リ等(画)筆ハ先ハ不(画)筆



又(画)筆ヲ入ル時常(画)筆タレヲ少シヘリノ方(画)筆
等(画)筆有リ是(画)筆ナリ水拵ノヘリノ方



Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '又(画)筆' and '水拵'.

炭の時のイツしモ灰保祿ヲ持出ル時一交小抄出ル之
茶ヲ長ク付ハ水コホト一兩小抄出ル之又ハ先一盞ニ
手燭中ノ抄其音重有抄支より密中抄出ル茶ノ付ハ
濃茶ナレバ茶碗ヲ持出ル之後持出ル抄多量ト留ルト依
又始持出ル書院向ニ留ルト依ハ何レトモ
此當ルト云ハ相當相續ト云事ニ道具取合ノ書ハ鈔花入ナラバ茶録當ル
用中ハフクノ炭中ノ時ハ瓢ノ花入ニ當ル委細ニ紙ハハ如城ニ大方ハ城當リニ不接
ハトアリ此當ルノ意味トハ別ト師存也
履染茶塗墨ノ内(油ヲ入テ留之墨ノ上ハ奉書ヲ四ツ
ニ折テ交テ紙大キクハ端ヲ折込之其上ニ下四ツ
重揚抄ヲ付ル上ハ下云等ヲニキ油ツキヲノセ
几ナリ此履染ハサヒタレ在事ハ不用保也カレ

下(ハ用不若ハ不審蓋ニ等半(ハ短ケイニ一盞
半(ハ重事モ有ルナリ) 一盞半ニテハ床(上ケルニ)
本焼臺利体好之他物ナリ若ノ油ツキ之墨下云
墨ヲ好之下四(揚抄ヲ付前ニ重之墨ノクリ込ハ
押イシ重之
ニ等半位ヨリ下ノ在事(用ニ活撮ナレ在事ハ
在事合カ四等半ニ不用
菊燒臺在事(用ニ色何リ金バク入タレハ在事ノ
物ニ金バク不入ハ宗全ノ好之是初ナリ小在事
或ハ書院ナレ(用油ツキ履染ノ通りニ茶燒臺

大ハ金入之書院斗リニ用燗燭之竹葉小片交
或ハ書院ニ用是モ古キ形ナリ葉ノ湯ニ用ハ仙叟
ヨリ用之除リ結搦ナレホハ移リ不申ナリ

結燗臺小片交(用焚香檠ニ用ルヨシ葉ノ湯ニ
天然ヨリ用油ツキ後葉ノ通リ一本ノ方向ニ下皿油
ツキノ下通り等ノ上ニ奉書ヲ四ツ折交其上(下皿
ヲ直湯枝付ルニ

竹掛燗臺利休好之サビ名片交ニ用油ツキ後葉ノ
有り之尤下皿等或ハ板ニテモ奉書四ツ折ニテ交
其上ニ下皿直湯枝ヲ付ル之是ヲ一五半(用之此燗ハ

廣ノ字イカハ
庄爰行燗カ

下ニ下皿直湯枝ハ油ツキノ縁ノ方ハセル之ニ是モ交
込ニ打有リ二五半(用之

本燗臺脂手物之沐セニ用利休好

廣ノ葉交竹燗杖亦地之利休好燗ノ葉ノ湯ノ外
不用臺ハ奉書四ツ折ニテ交其上ニ下皿ヲ直其
上ニ竹ノ端ヲ交板油ツキ之尤後葉ノ通湯枝ハ下
皿ノ上ニ付ルナリ

諸次竹燗懸掛(用春臺之臺(奉書四ツ折ニテ
交上樂燗ノ下皿ヲ交此皿ハ常ノ下皿ニ云葉ノ燗モ
燗付ル之如素臺其上(油ツキ初之也油ツキハ常ノ

燈臺ノ油ツキヲ二重口ニ燒タレ物之如下等ニ揚枝ハ
 下ノ口ニ風復思望風吹付ハ用ク風吹付ハ
 竹燒ノ紙壁ニ立カケ置ナリ

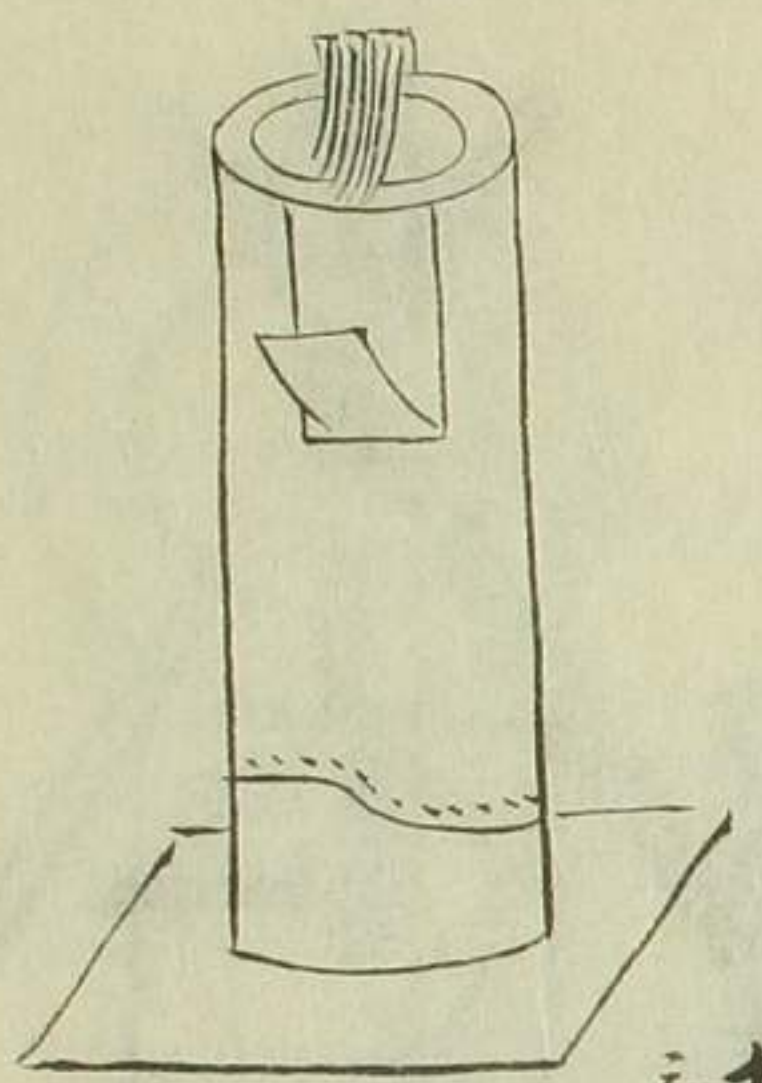
石燒臺内洛次ニ首火トモス時ハ竹ノ輪ヲ臺ノ
 上ニ投キテ用ク竹輪凡八分種之又竹法ニ
 用ル事ニ有リ先常種ニ投キ置テ用ル之

本燈臺外洛次用紙ハ符合ノ手紙種ノ紙之口ノ方
 カヤ門ノ方ニ向テ半月ヲ符合ヨリ見ルヤウニ置テ
 竹輪ヲ臺ニ投キ置テ用ク此時此本燈臺
 竹輪出ル事ニ有リ令燒臺符合ノ用テ紙種ニ投キ

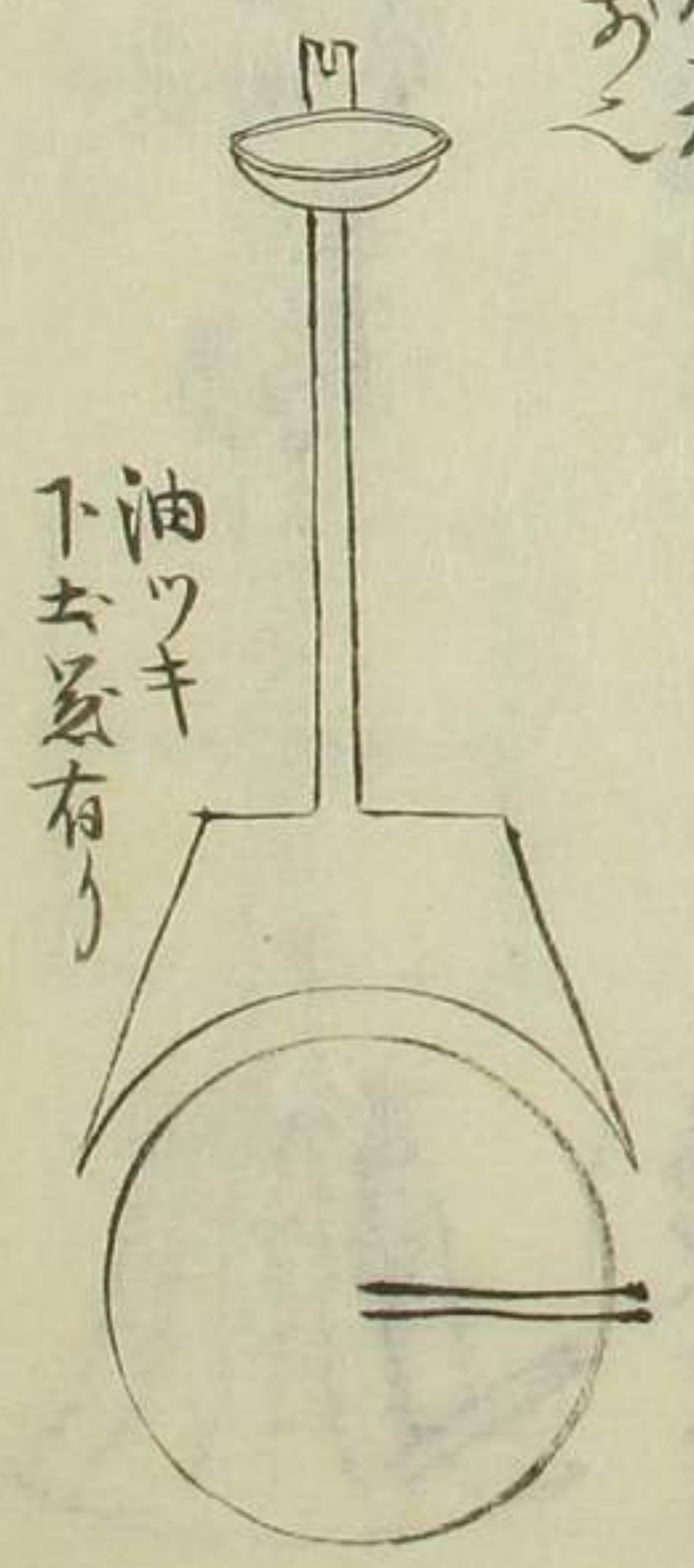
又樂燒ヲモ用キ竹輪ヲ臺ニ投キ置テ用ル之

燒心ノ紙ハ別書ニ有リ月夜ハ多く入内紙ハ少ク入
 可有見合也

燈物揚枝ハ夜更思モシテ用外洛次ハ秋揚枝
 ヲ用又ハ更モシ交テ用又ハ更モシテ用ル之

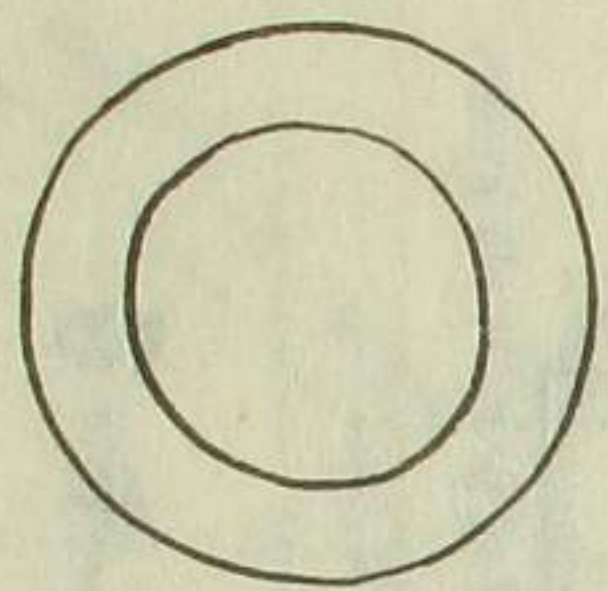


揚枝ハ紙板(燈)
 紙ナリ有テ

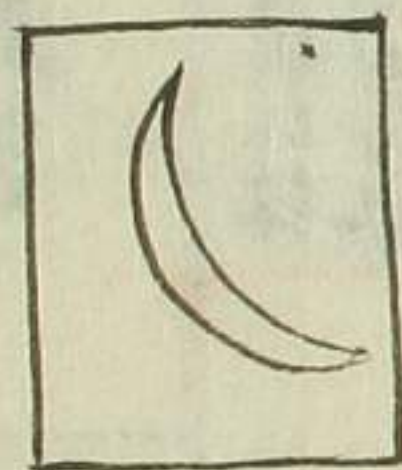


油ツキ
 下ニ置有リ

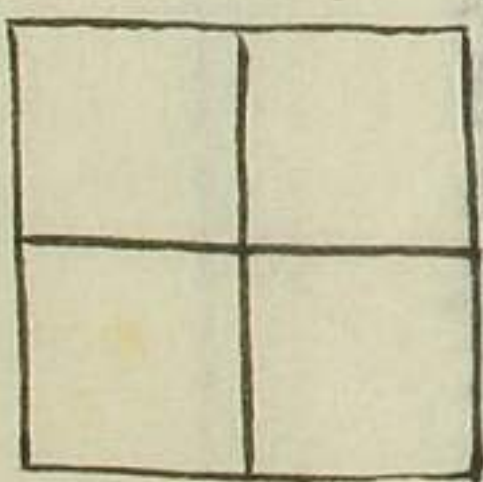
右ハ不審菴三馬ノテイ如也



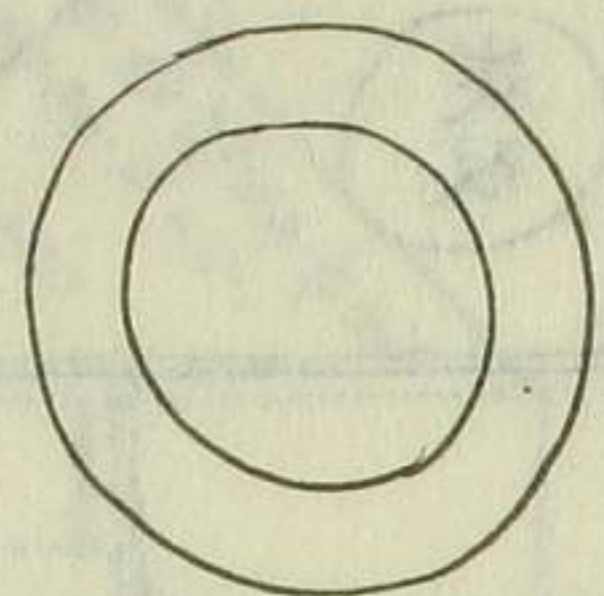
書院ヨリ
見ル



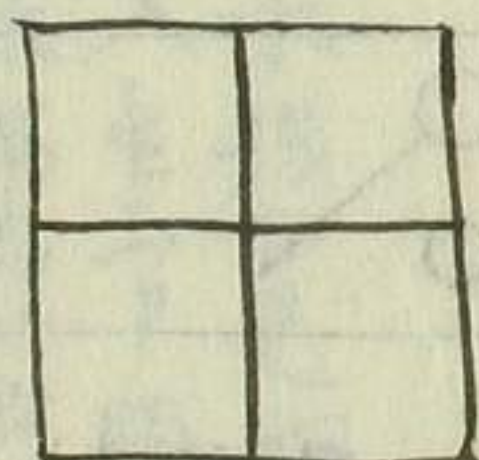
書院ヨリ
見ル



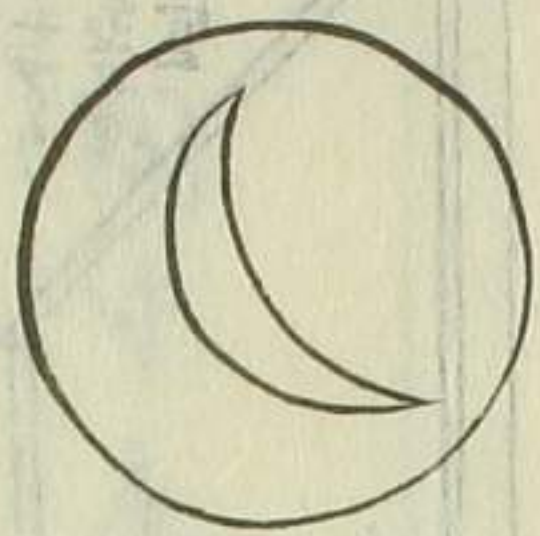
書院ヨリ
右ハ見
ル口



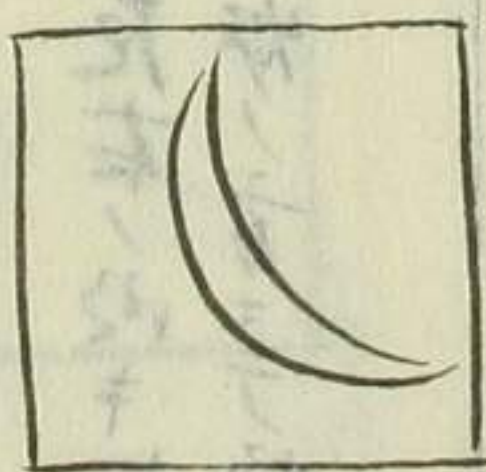
後口
書院ノ方見



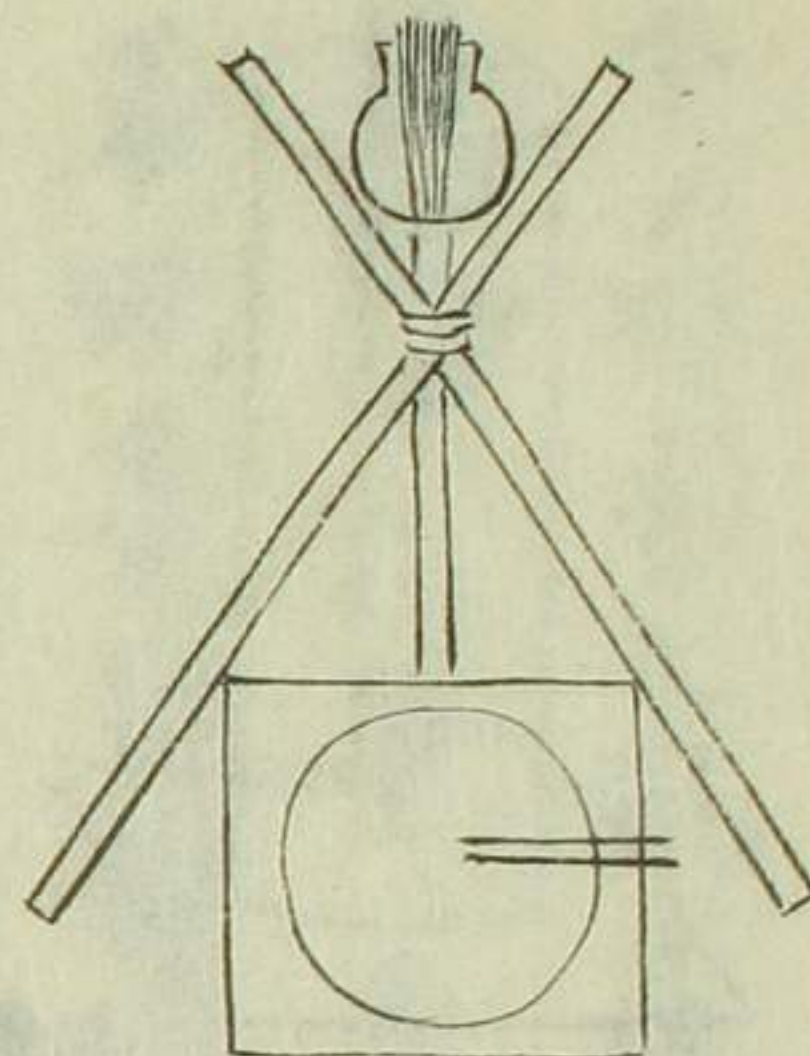
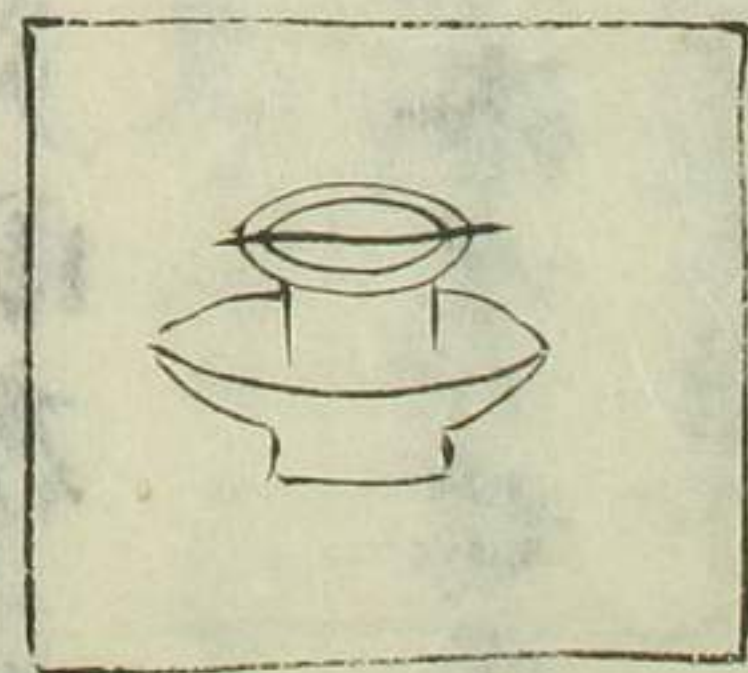
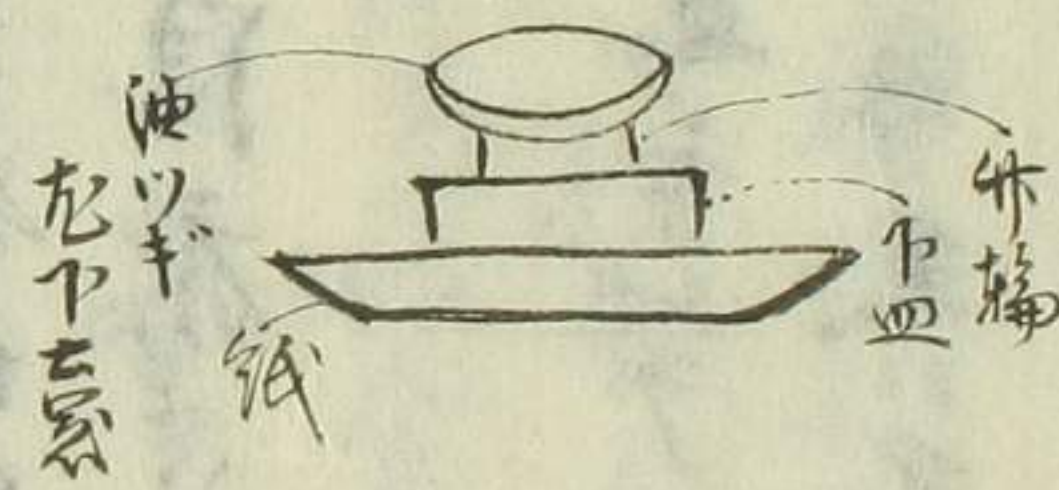
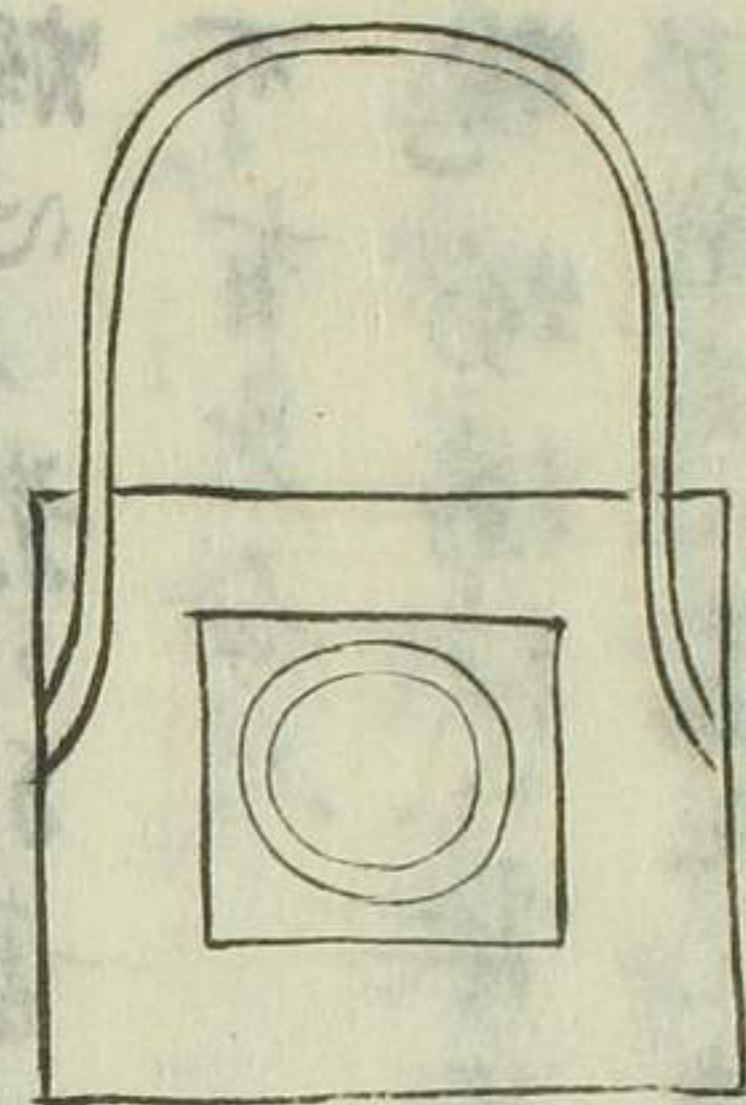
スキヤヨリ丸
見ル



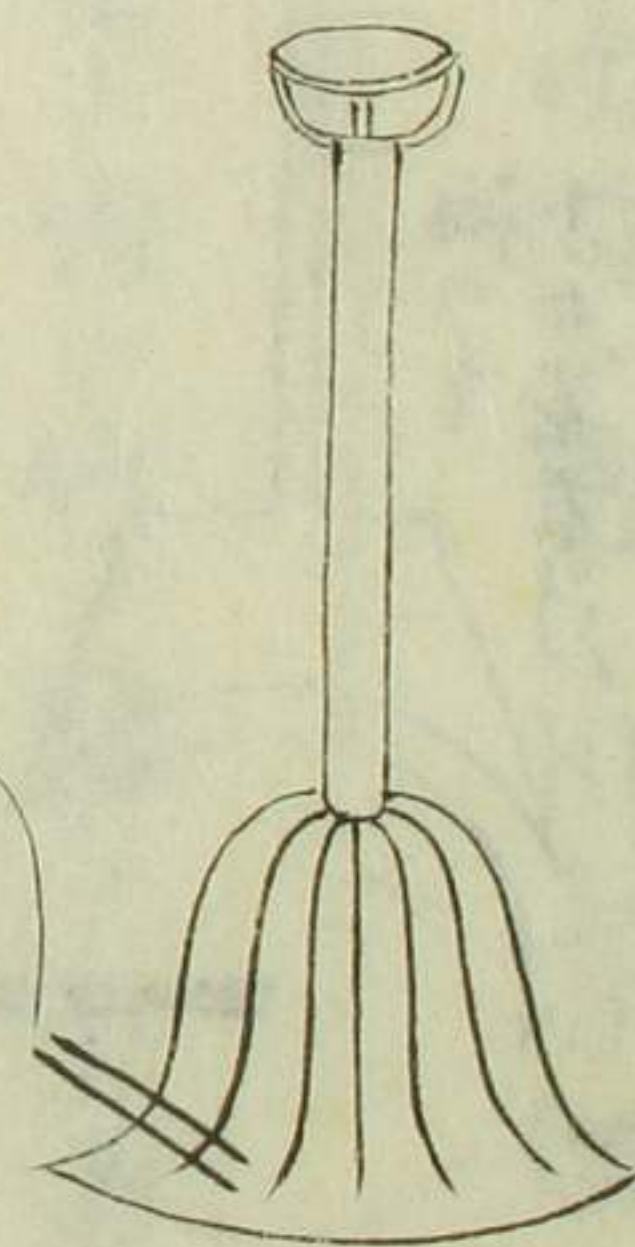
スキヤヨリ
右ハ向



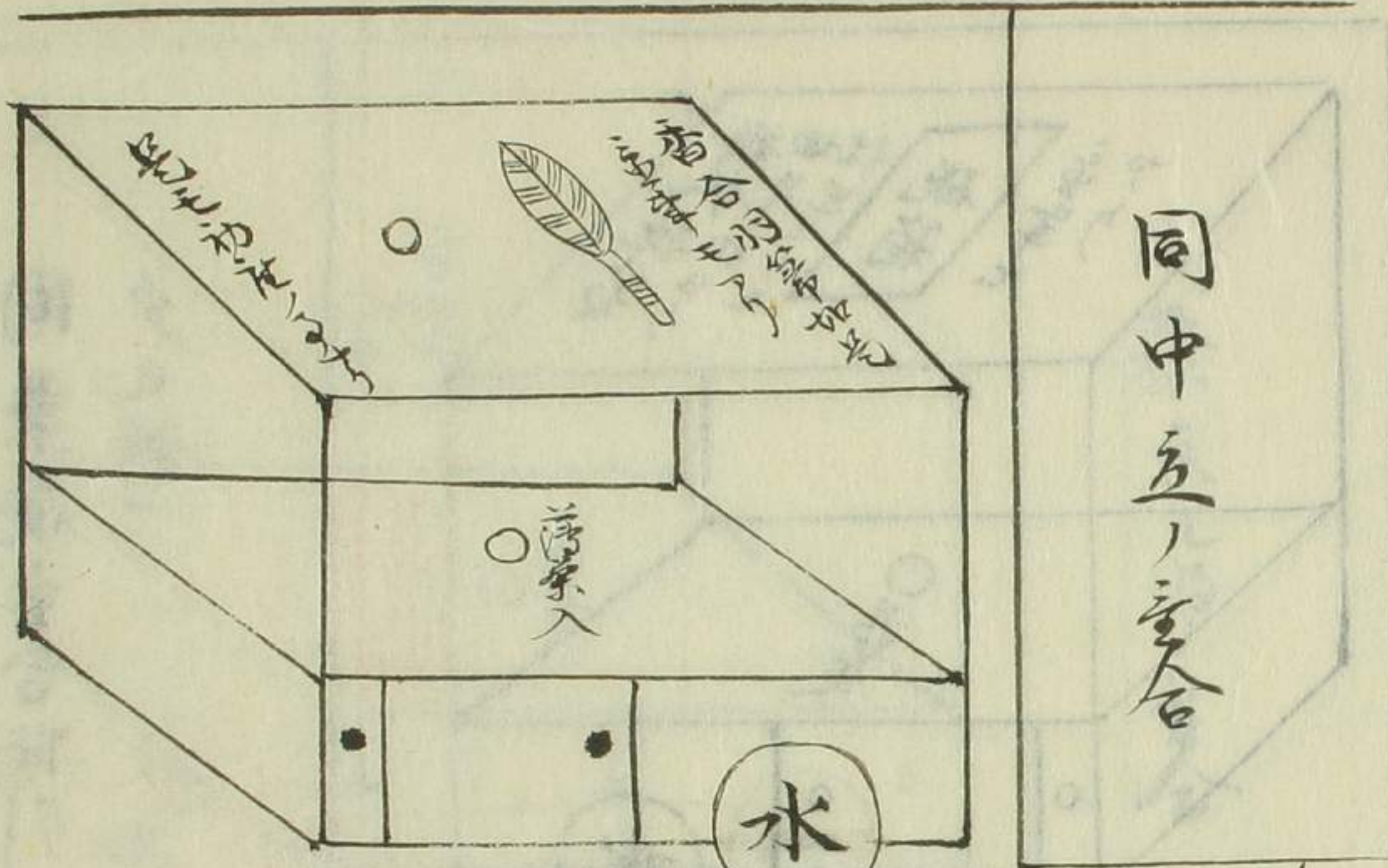
板ノ腰カケノ
方ハ見ル



前ヨリ見ル
如家ノ四紙
等ノ重ナリ

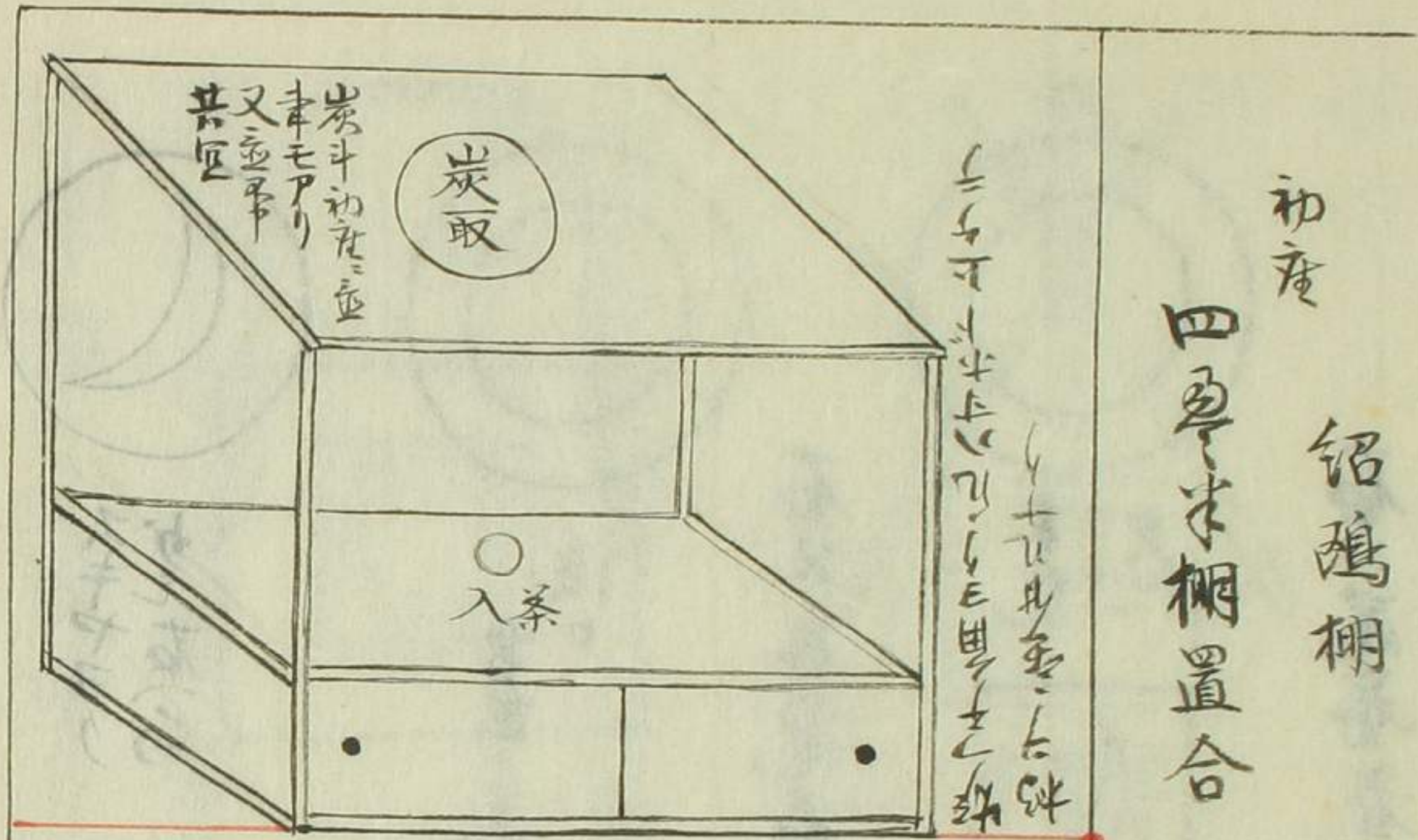


楊枝此所



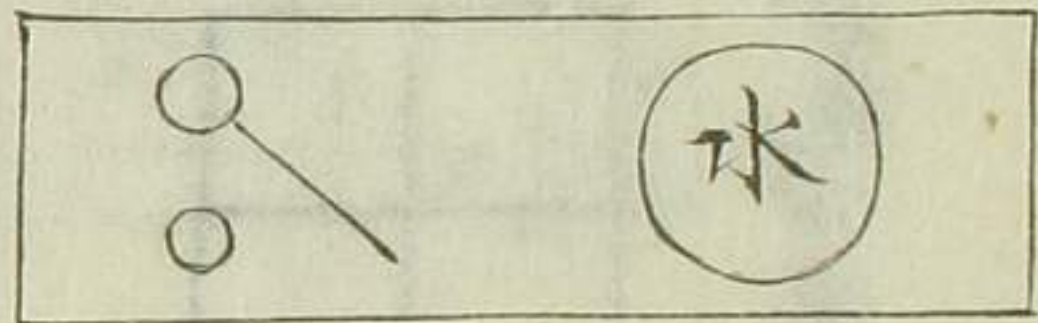
同中五ノ置合

水指如是也ニカケ飾之九世時ハ柄抄ハ
 入至アリ勝手ノ持出ナリ抄入至付ハ
 水指柄ノ出ニ至ナリ其付ハ戸ノ至ナリ
 茶入中五ヨリ如是茶入ヲヲ口ニテ
 端一箇茶入ヲ至ナリ



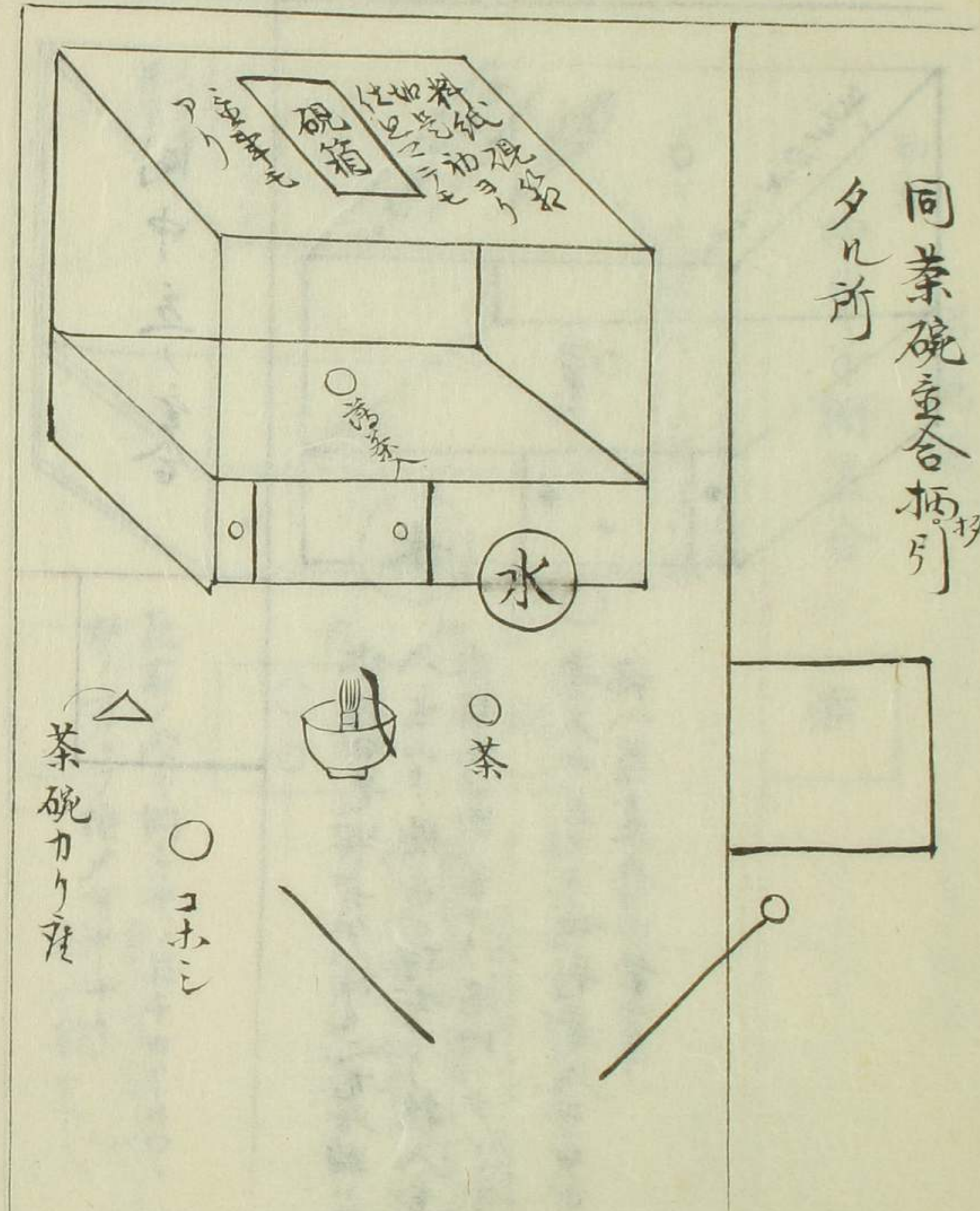
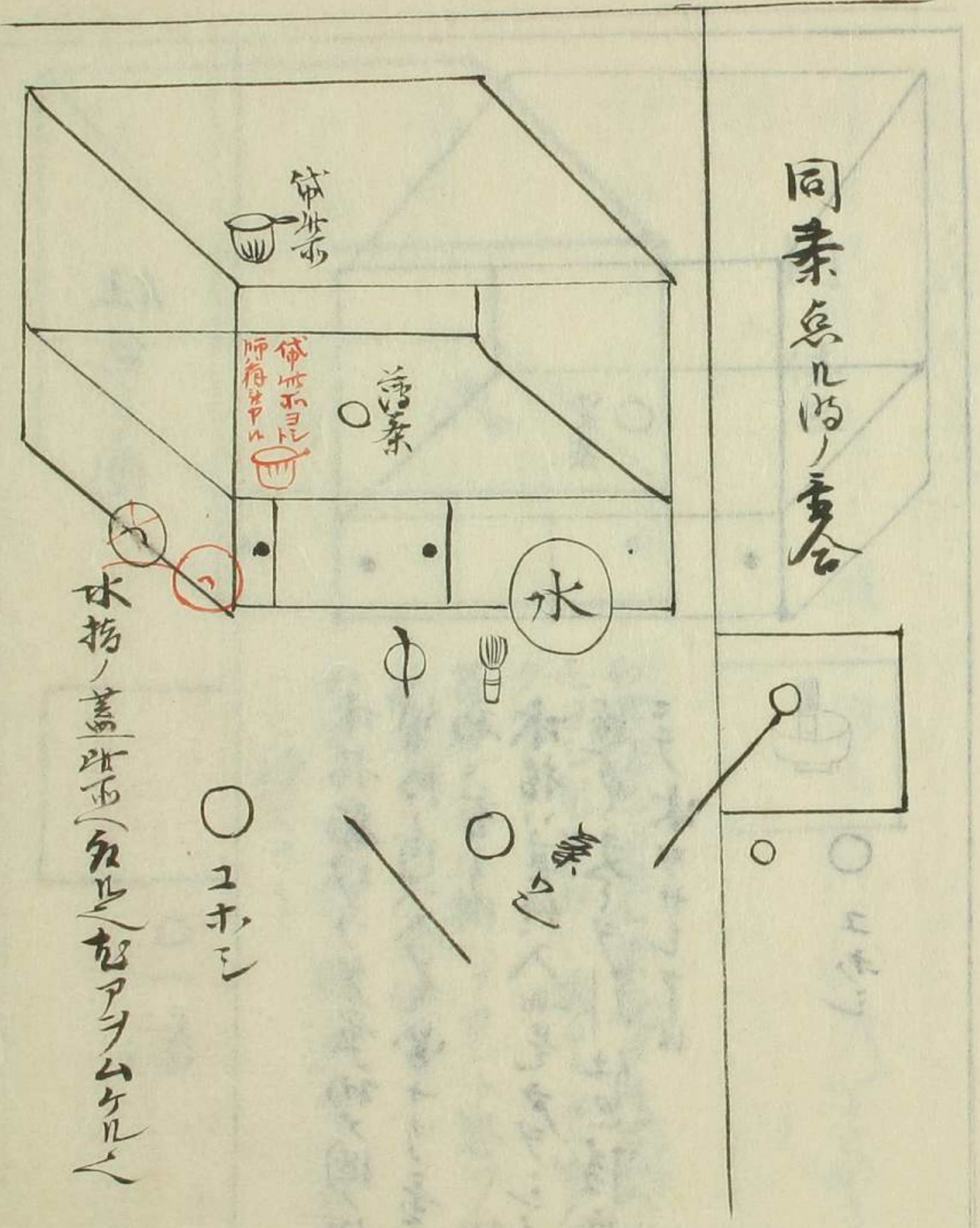
初産 紹鷗棚
 四角ノ茶棚置合

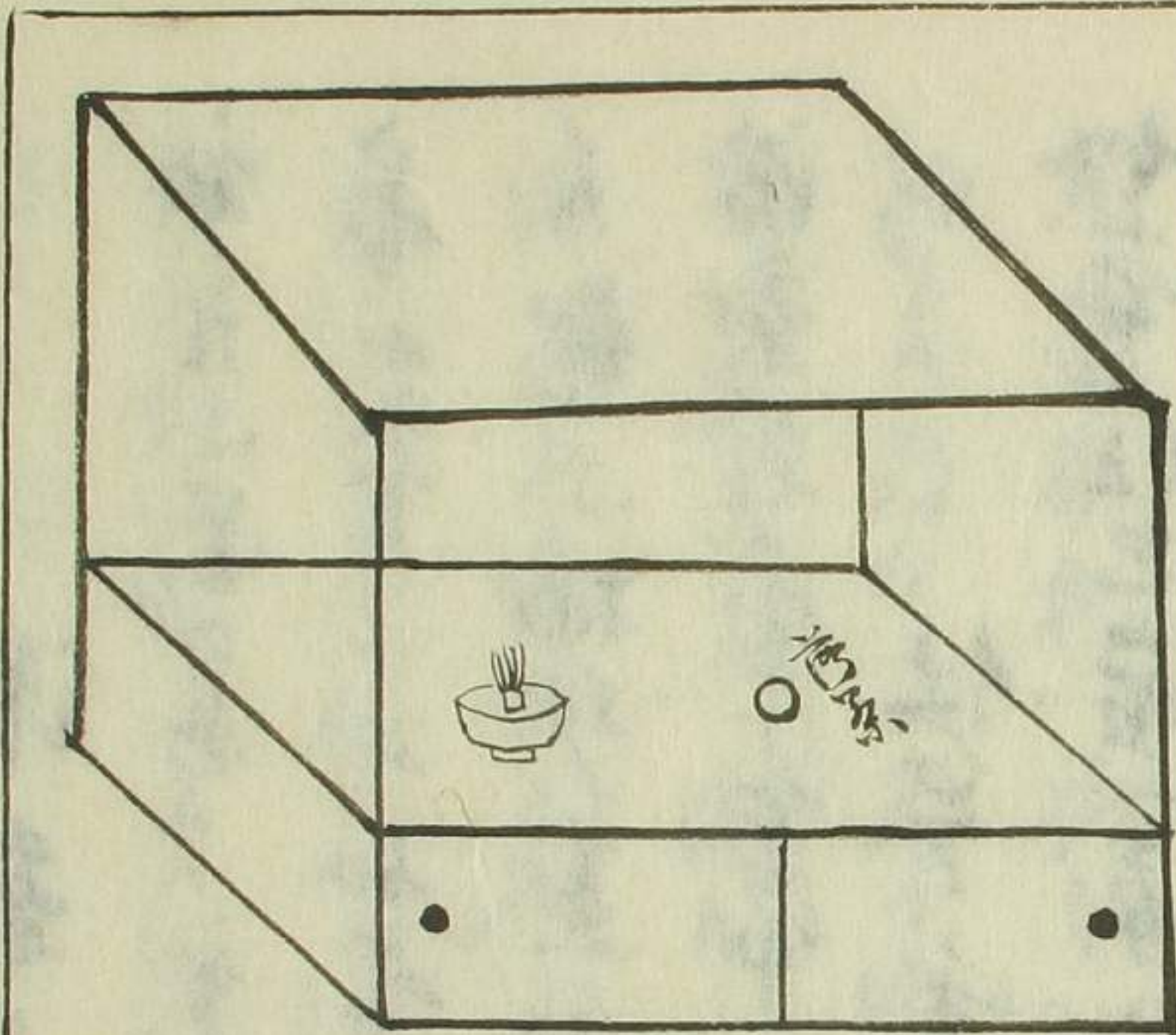
内之棚袋



左右ノ柄キ同ニ至ノ目ナカイハワ
 柄ノ方ニテ極ノ可中ナリ

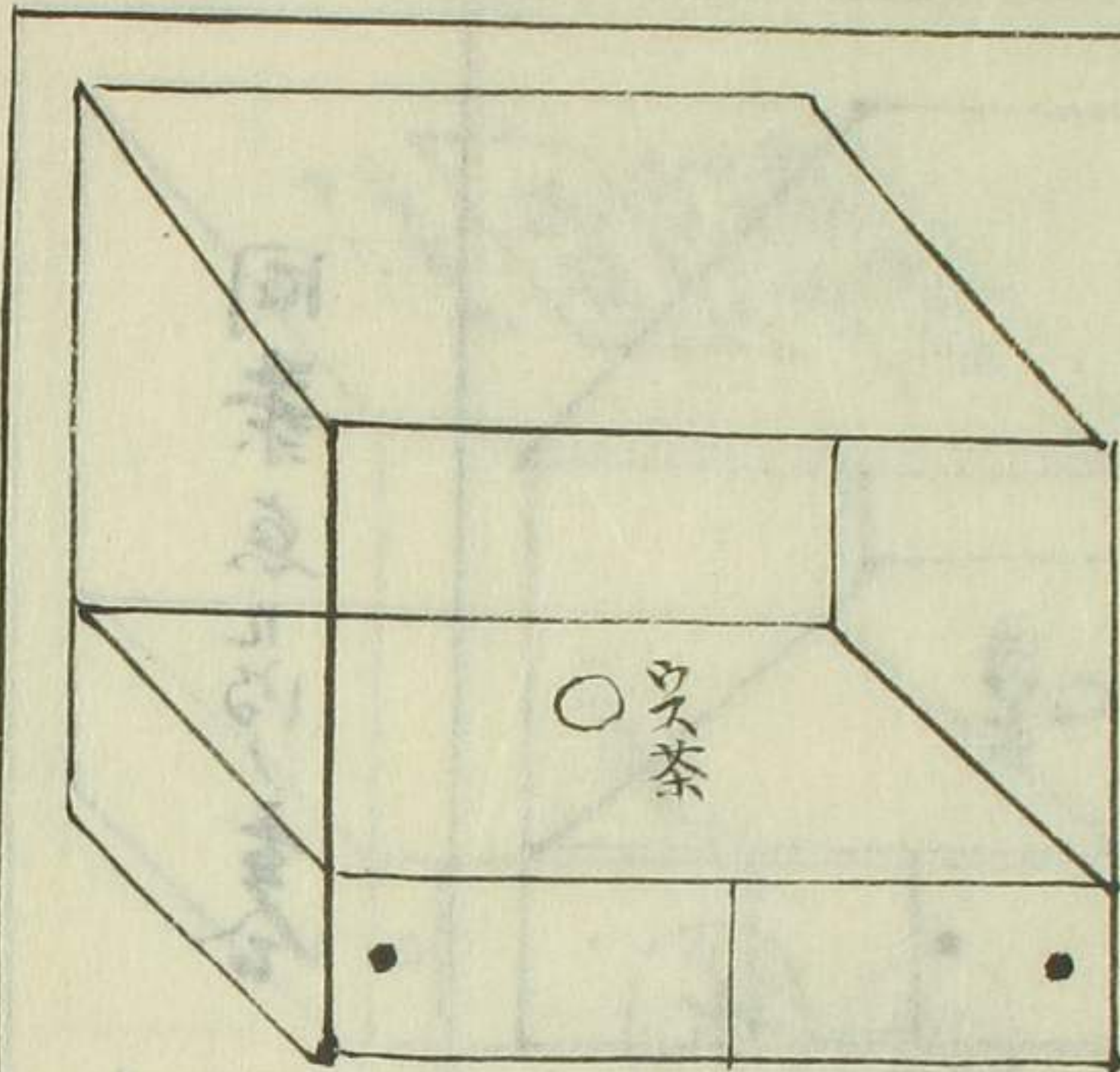
水指初産如是
 柄抄蓋至初産ハ如是至中モ
 アリ又水指中ニテ至濃茶点
 付如是抄ス事モ有リ大カタ
 抄ストイハハ如是ナリ九柄抄
 アラムケルナリ



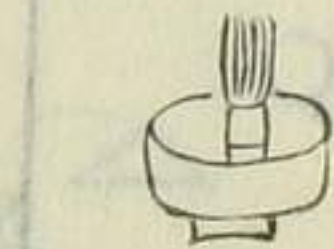


同仕置

如仕置ニテスルニ茶碗ヲ落茶入ト重合テ
 モヨシト茶抄ハ道々出タレ付テ
 クナリ
 茶碗ハ如仕置ノカト思フ付ハ仕置ニ
 茶碗ヲフキテ仕置ナリ
 扱モ方ノ如ク棚(入)ノ氏名若何
 ニモ被スナリ
 江岑棚ニテモ仕置ニ茶碗残シ飾リ道具取ニ出
 タル時茶抄ヲ茶碗ノ上ニ重合スル丁モアリ
 不白存地為ニアリ何ゾノ時ノ事ニ



仕置之圖



○ユホシ

水指柄抄フタ重初之圖ノ如ク
 袋柄白(入)タレ出ナリ重合ハ
 初ニ有リ
 水指ハ其終入如是方ヲシテ重
 道々出タレ付テ仕置後片口
 ニテ水ヲサシテ以

○一白

下ロシ茶碗ヲ金合ニマヨリ
水コボシ枳出枳抄ヲ左ノ
指ノ右ニラタテ枳ヲ持テ
廻ヌカヨシト作海草ノ
茶碗枳金合ヲマテテ
理ニ叶ヒ不ヤトテハ
左ノ如シ
○枳テは廻シ茶碗ヲ
コボシノ向フニ返シテ
コボシ枳引ク時ノ理ト遠ク
ナ
○金合
○茶ワカリ座
枳抄カリ座

又茶入茶碗飾リ有ル時ハ水コボシ
枳出枳ヲタテラカシコボシノ枳ニ金合
枳抄ヲカシコボシ上ニカケテ枳水枳抄
出シカケテ枳抄下ロシ蓋金合ヲ枳
飾ラ廻リ枳抄ヲフタ金合ニ引茶合
ガヨシト師海草中ハ
不白ノ門人波部午山云達
人モ書換ナキコト能ハズ故ニ
活眼ヲ以テ活書ヲ見ルト
偽書ヲ視分ルモ活眼以テ
スベシト宜ヘナリ

蓋を建水の銀へ置き枳戸をとりて又右の方と
の指をわきまけり又指をとりして茶碗
をわきまけり茶碗を金合枳抄蓋金と
て金合より茶碗を車にあらせり

但枳抄蓋金枳抄をわきまけり時並に蓋金と
蓋金の左へ金合枳抄を置き其左へ引
又より指より枳茶入茶碗を金合より
かり是の初めのよりが略なり
世略ハ余リ好ニ
カラズト師海草
枳抄茶合は時金へ水とて陽也とて
枳抄茶合は時金へ水とて陽也とて
枳抄茶合は時金へ水とて陽也とて
枳抄茶合は時金へ水とて陽也とて

枳抄枳抄の初めは時金へ枳抄をわきまけり
蓋金をわきまけり銀の初めは時金へ枳抄を
又略の初めは時金へ枳抄をわきまけり
引金合より茶入茶碗を枳抄上より枳と金合
をわきまけり枳抄をわきまけり
枳抄枳抄の初めは時金へ枳抄をわきまけり
枳抄枳抄の初めは時金へ枳抄をわきまけり
枳抄枳抄の初めは時金へ枳抄をわきまけり
枳抄枳抄の初めは時金へ枳抄をわきまけり

但茶碗枳抄の初めに枳抄をわきまけり
引てきりし時ハ枳抄茶碗をわきまけり

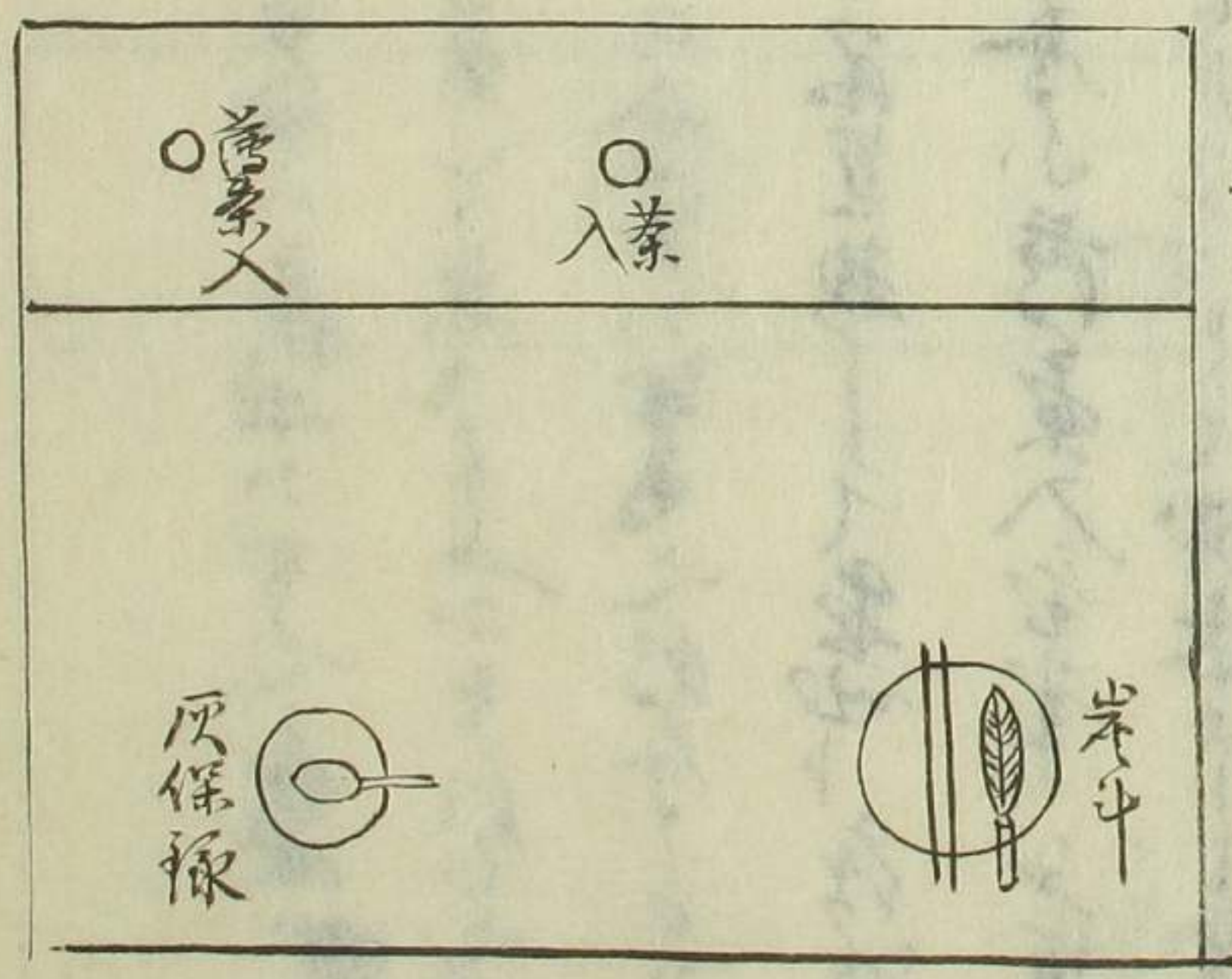
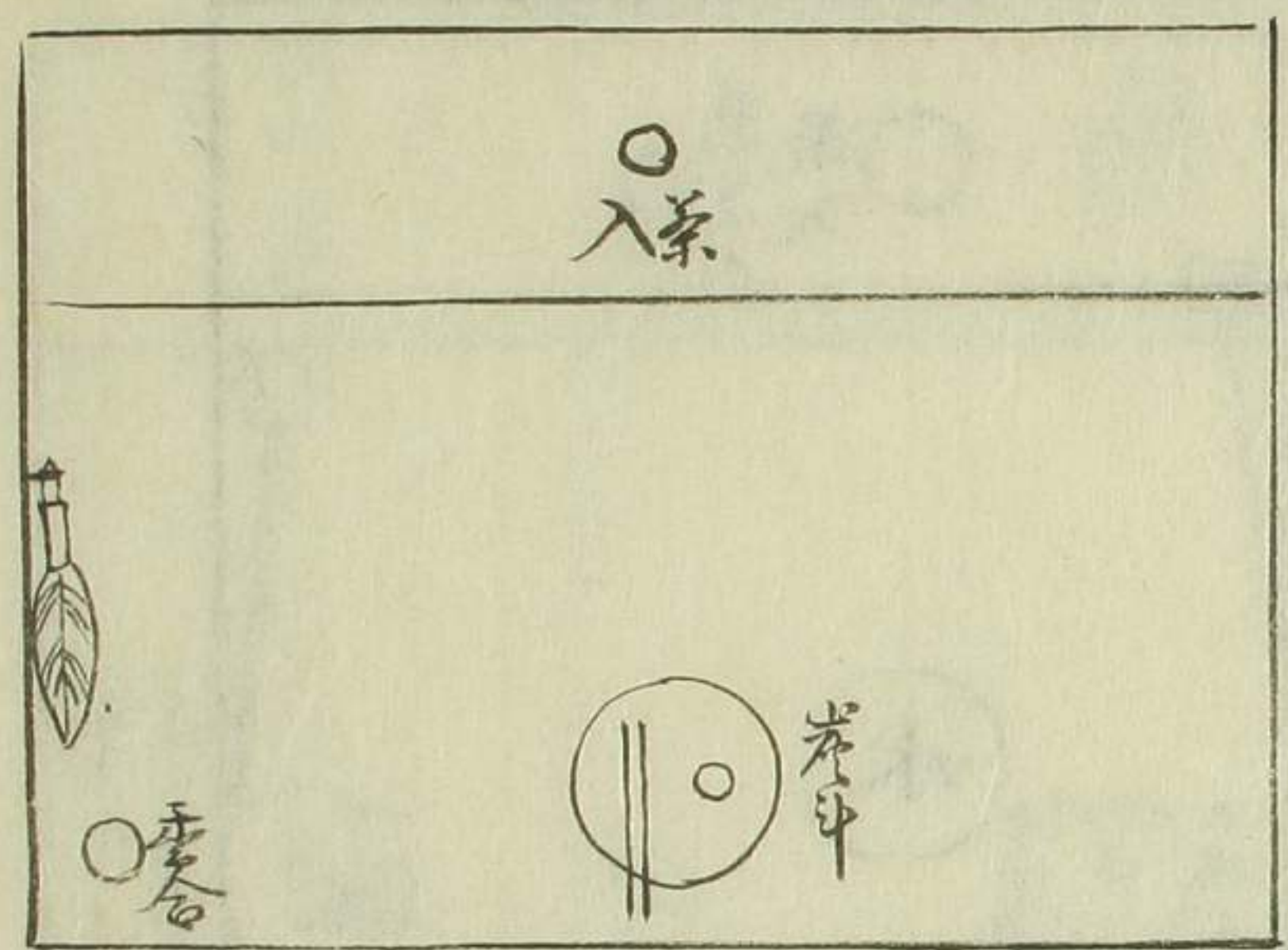
柳の如きは柳の葉小極り中極り入たる
 入るにそめり湯也一せは

柳の竹初に去記をりて

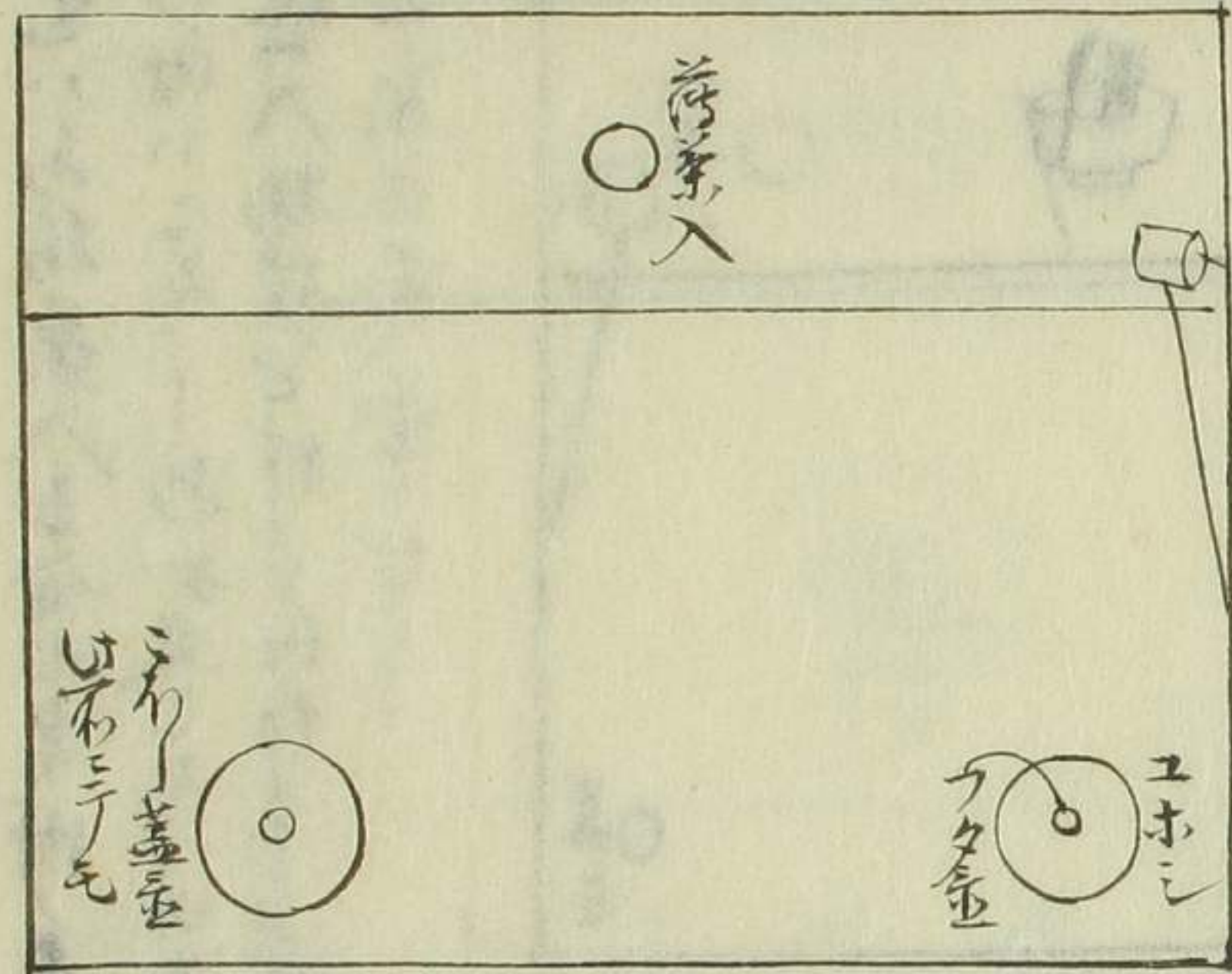
岩中より初に事之を天井飾之天井
 料紙現る事初に之又小さる唐金杯静なり花
 入ふ道を入天井一初に事之方より初に
 鳥小極りる事之のこ
 を何事と事より心之の世をい申
 天井ハ初終何と事初に事之方より初に
 水指ハ銀鴨梅小竹より初に事之方より初に
 平水指の比の

能きと初合用と一宗道方小初合ありて
 儀方の平の初なり

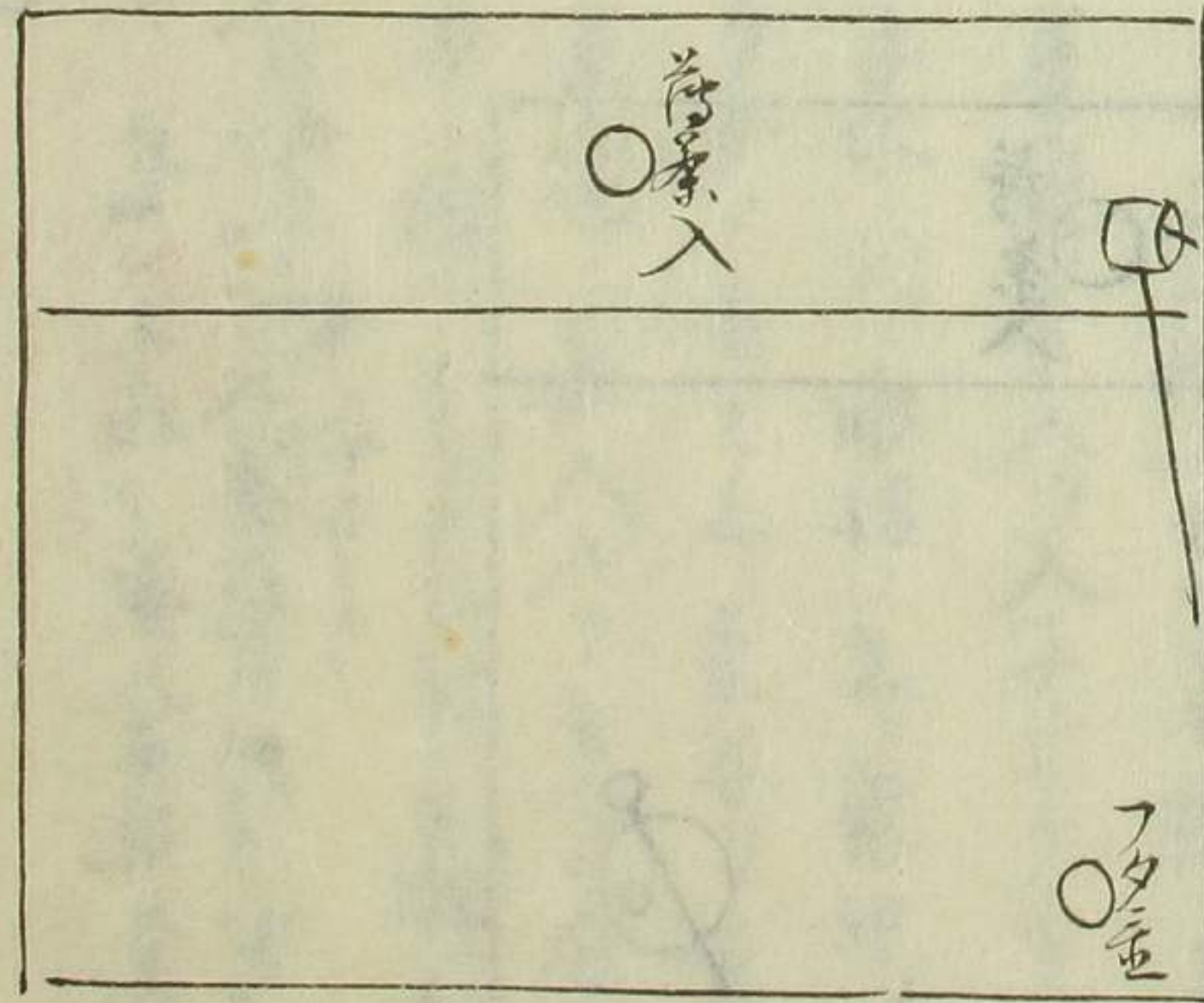
道庫初入ノ圖



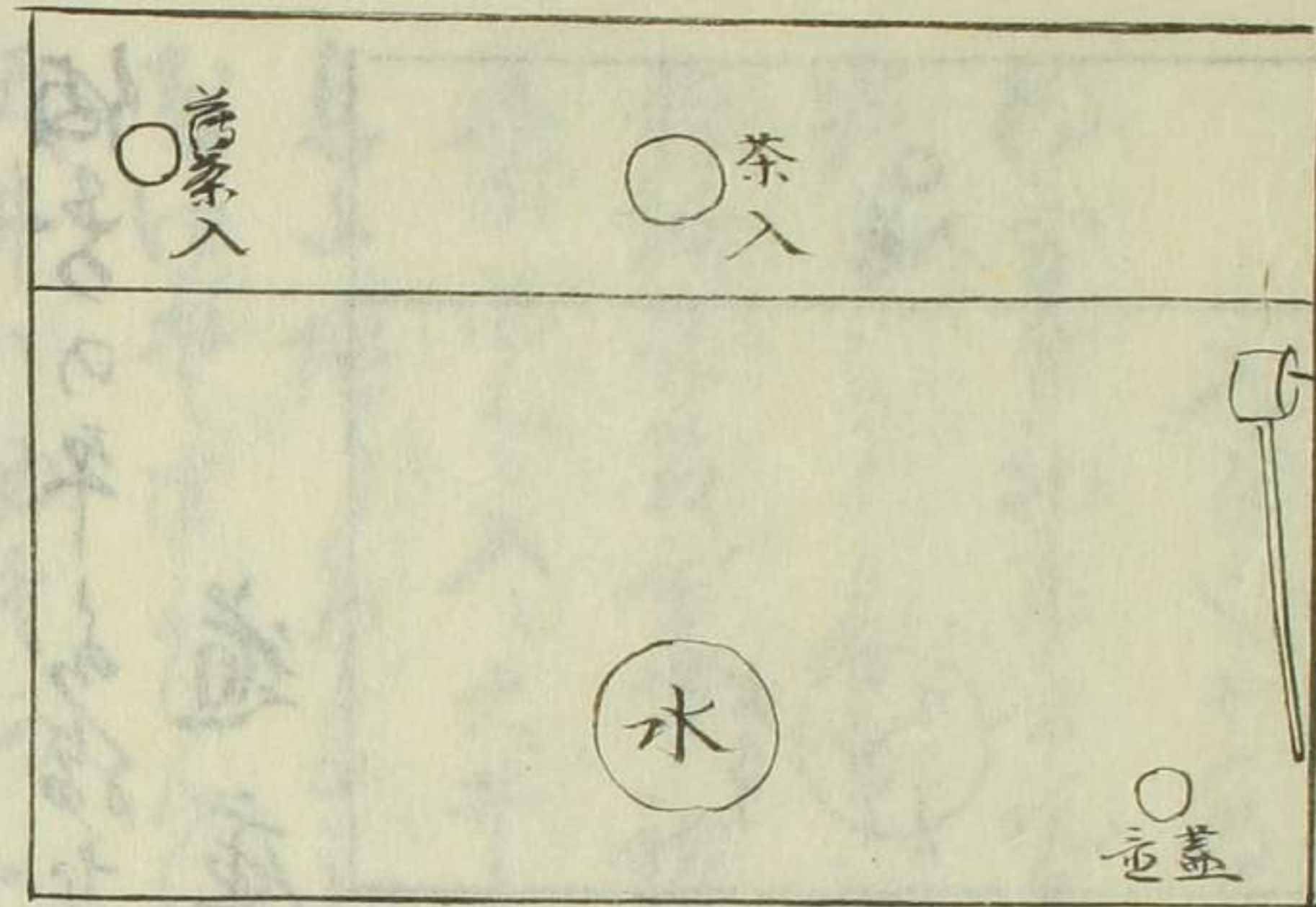
合蓋の鉢



是ハ小柄下茶入茶碗蓋合付付
 水持下茶入下蓋合付付茶碗
 是ハ内之^{小カ}柄カノ蓋合付

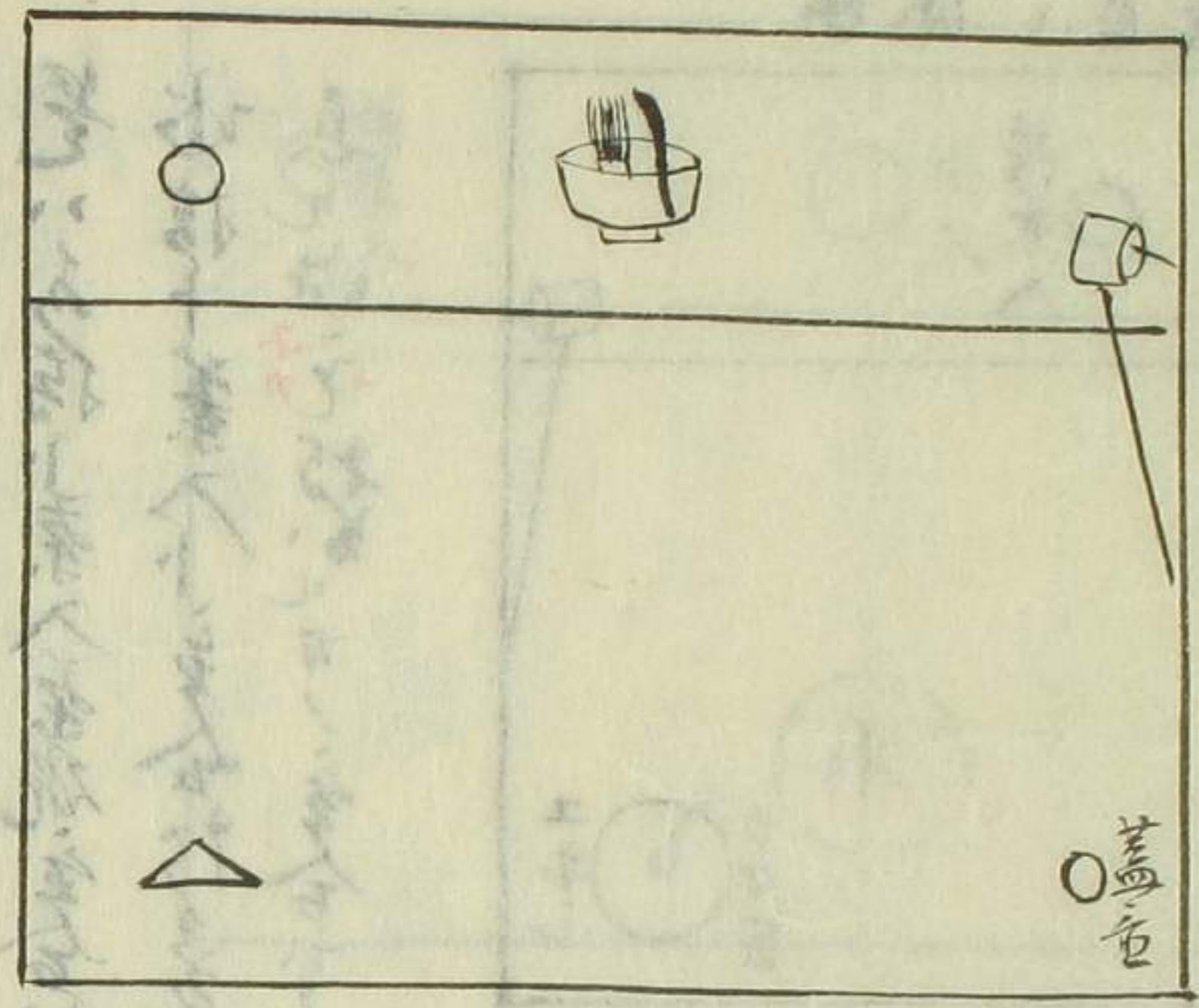


是ハ小柄下茶入茶碗
 蓋合付付
 蓋合付

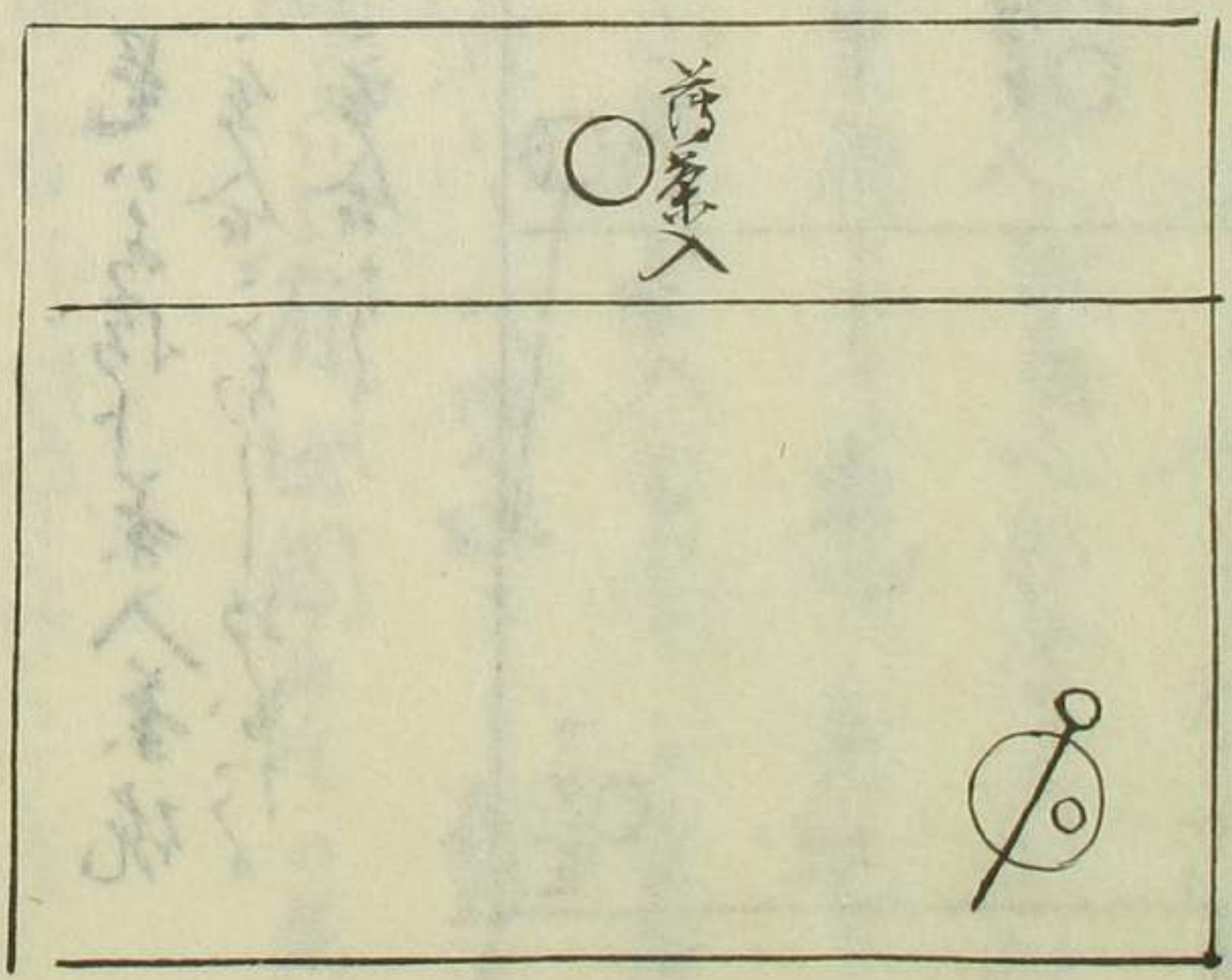


け蓋合ハ内之柄カノ蓋ハ神小
 茶入と是ハ小柄下茶入茶碗
 蓋の合付ハ内之柄カノ蓋
 水持下茶入下蓋合付付茶碗
 是ハ内之柄カノ蓋合付

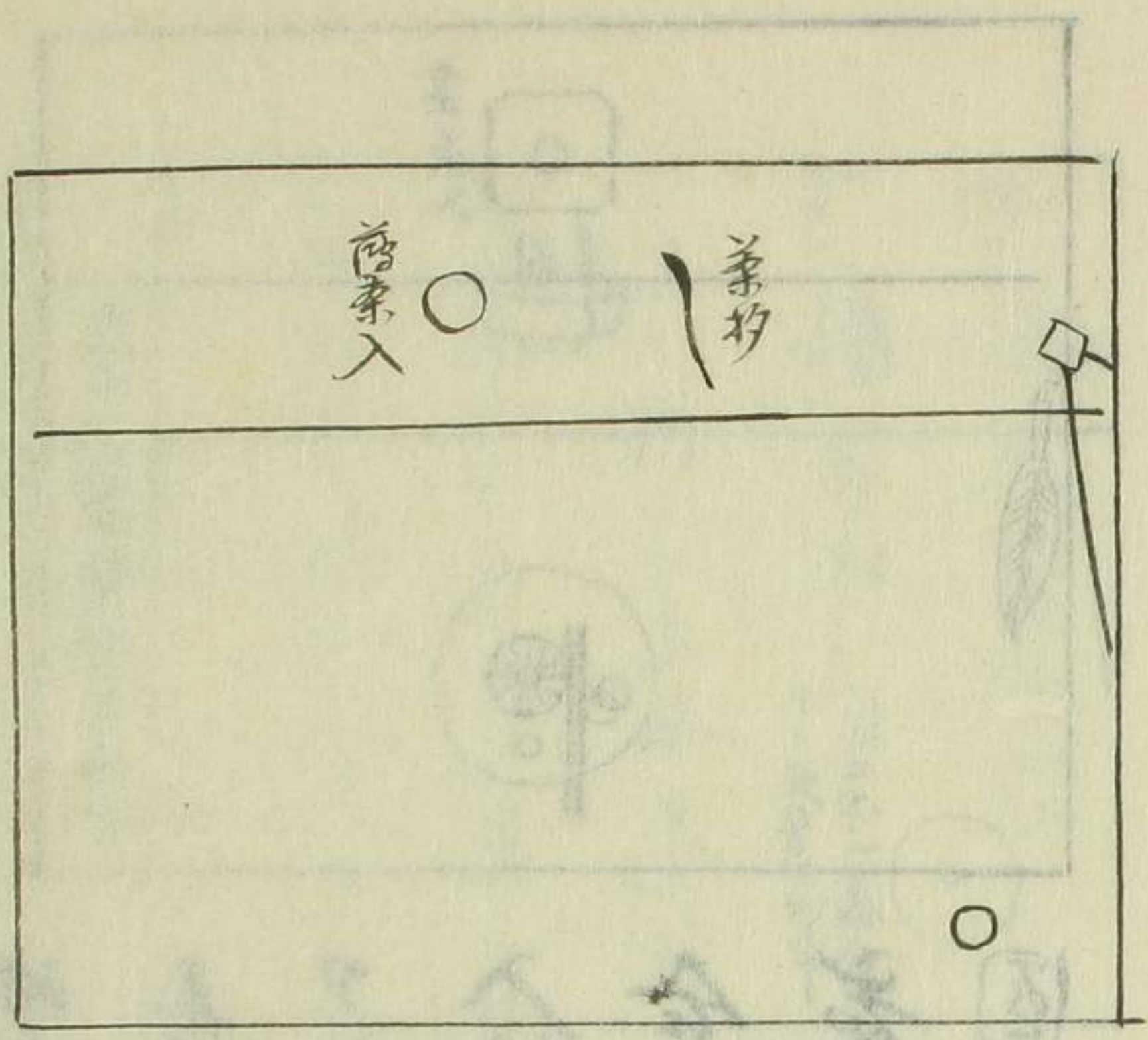
是ハ茶碗入茶合セ先付ノ茶合セ
 け付ルニテ一茶碗又ニテ一茶碗ノ内ニテ
 茶入柄杓と打^ウけたる^ウ茶合セ又
 三角ノ内ニテ置^ウかり



是ハ茶碗ト茶入茶碗ニテ合
 せたり又茶碗ハ柄杓出ル
 カノ内ニ合^ウかり



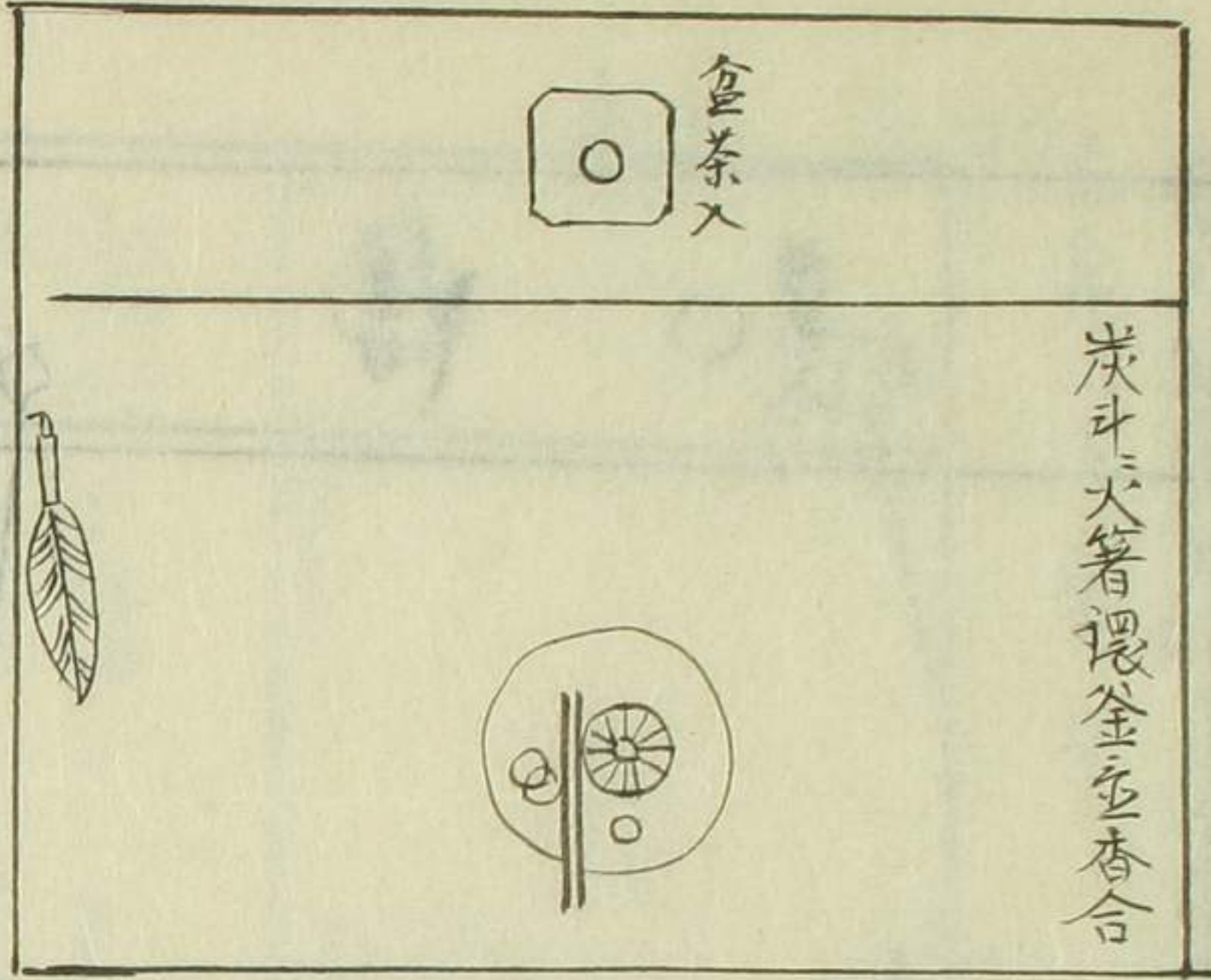
入子ノ時^ノ水^ノ間



入子ノ時初メ或ハ下^ノ茶中又戻
 係^レ係^レテ茶合^ニテ茶碗^ト茶中^ニ置
 テモ又ハ打^ウカケテ茶^ノ中^ニ
 茶碗^ニ茶入^ヲ入^レ子^ニテ茶^ノ合^ニ
 水^ノ間^ニ水^ノ柄杓^ノ上^ニ茶^ノ中^ヲテ
 クダメ^ニ置^キテ茶^ノ合^ヲ茶^ノ中^ニ
 茶碗^ニ茶入^ヲ入^レテ初^メノ茶^ノ中^ニ
 柄杓^ノ上^ニ置^キテ茶^ノ中^ニ置^キ
 具^ノ先^上ナリ

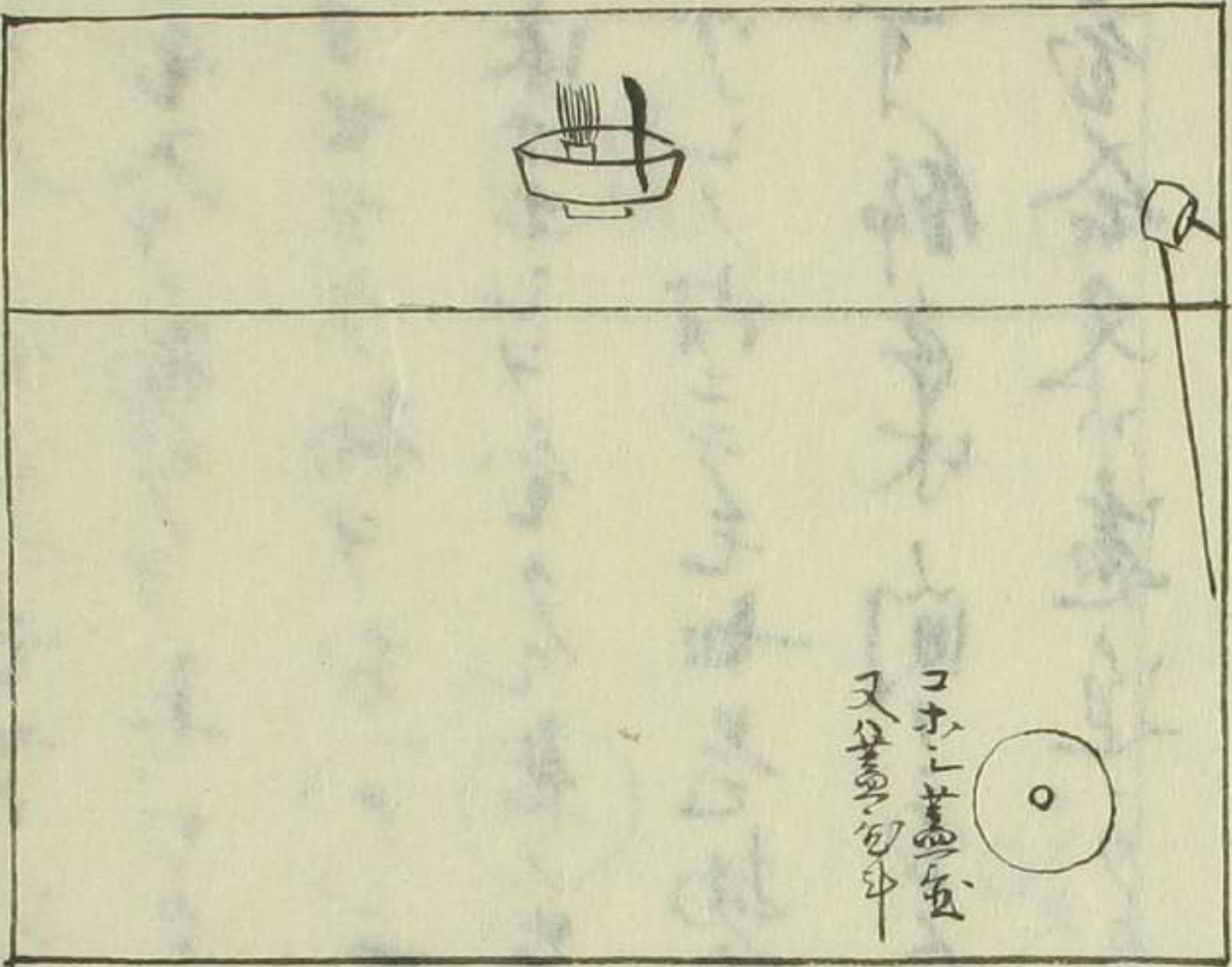
茶中ノ様^ツト云ハフクラカニスルヲ云常ノ
 草ノ茶中^ノ真^ハタ^ニ茶中^ノ右ノ
 二字山田宗偏ノ要録見世説有^ル字^ニ

盆点初度茶合



盆茶入七柄ノ茶中ニ置ナリ
 此時茶入ホテ茶中ニ置テ
 不直茶中ニ置テ茶合上ニ置
 アレハ之初ノ茶中ニ置テ
 入テ茶中ニ置テ茶中ニ置テ
 茶中ニ置テ茶中ニ置テ
 茶中ニ置テ茶中ニ置テ
 茶中ニ置テ茶中ニ置テ

盆点茶合

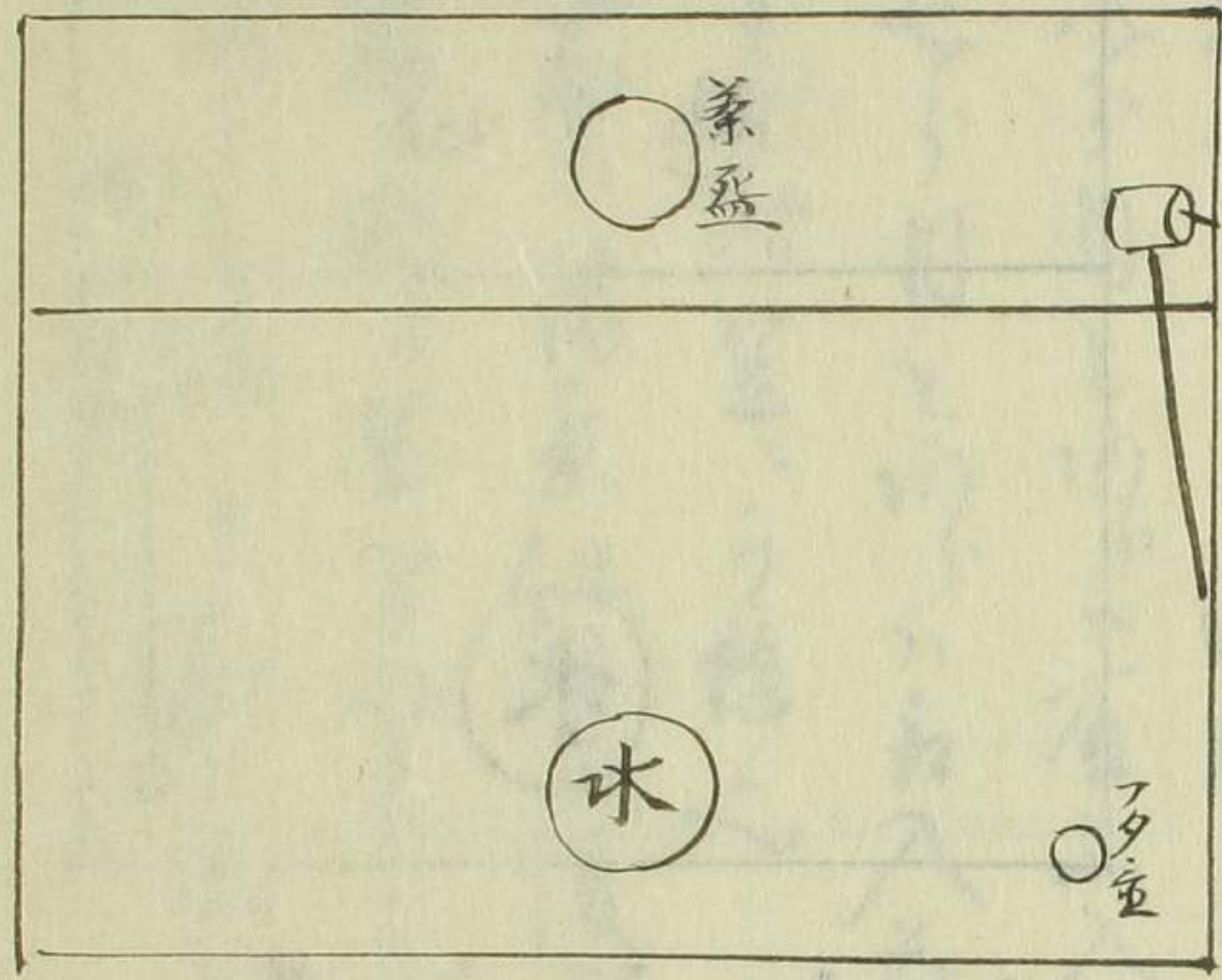


盆茶入ヲ七柄下ニ置
 此時茶中ニ置テ茶中ニ置
 茶中ニ置テ茶中ニ置テ
 茶中ニ置テ茶中ニ置テ
 茶中ニ置テ茶中ニ置テ

柄杓と打ふ搦と下ニ蓋を置キ合ふカ又出コホシニ蓋
 を入テ空合ニモヤリ下ニ置キ合フ又コホシノ中ニ蓋
 を入テ柄杓ヲ上ニワクテモ蓋又柄杓ノ合フカ向ノ板
 ヲセカケ柄杓ヲおハシテ蓋を置キ合フカ又出コホシニ
 水コホシテ蓋を先ノ板ニモクズベシ蓋長ニテ置キ
 ツレノ内ニテモ如是柄杓ノ右ニ書記ス空合見合
 可解ノ水ノ間ノ空合相記ス時或ハ内ニテ置キ
 空合又ハ遠近ノ内ニ置キ合フ

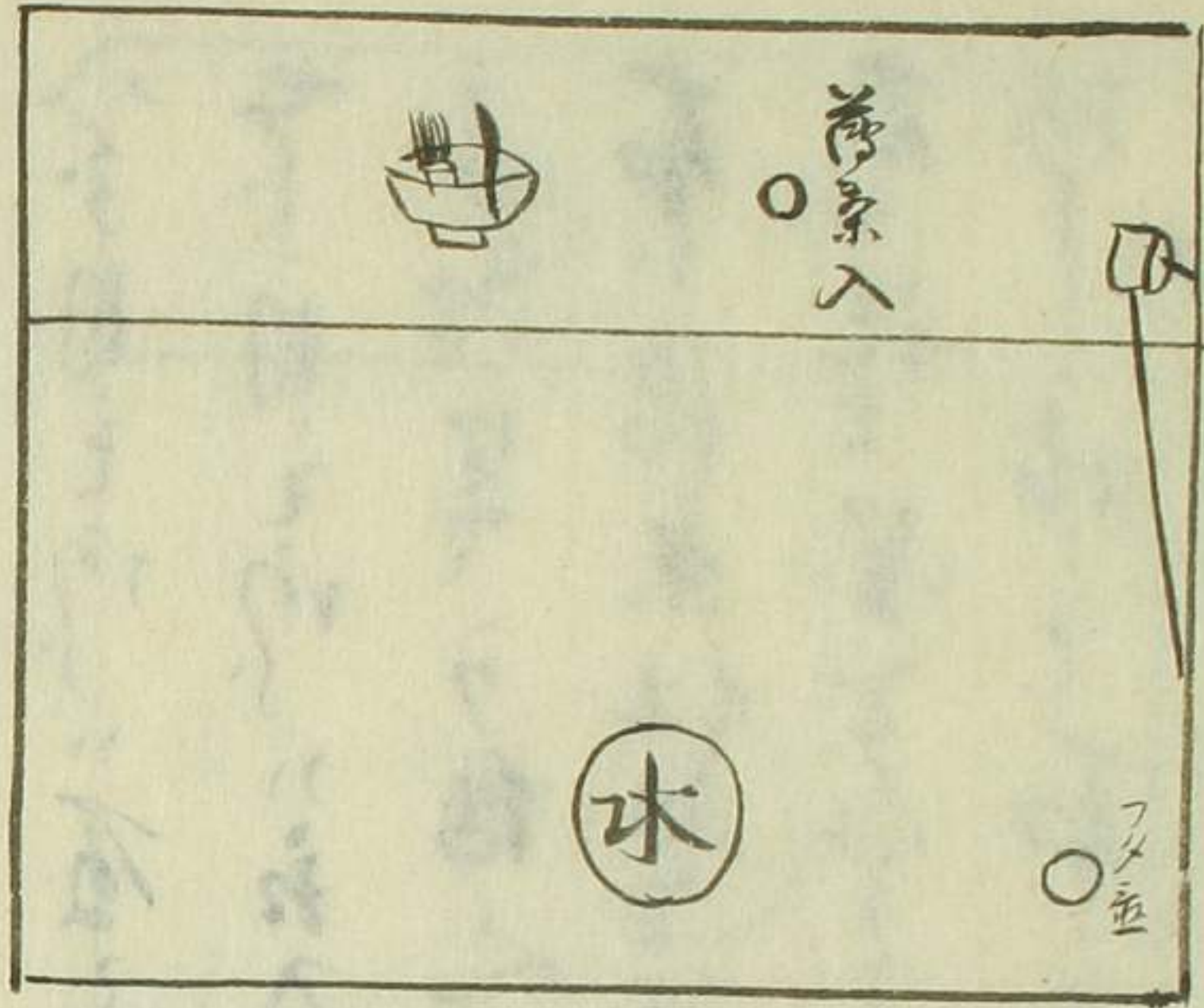
蓋又ノ水ノ間

濃茶仕廻残ス道具

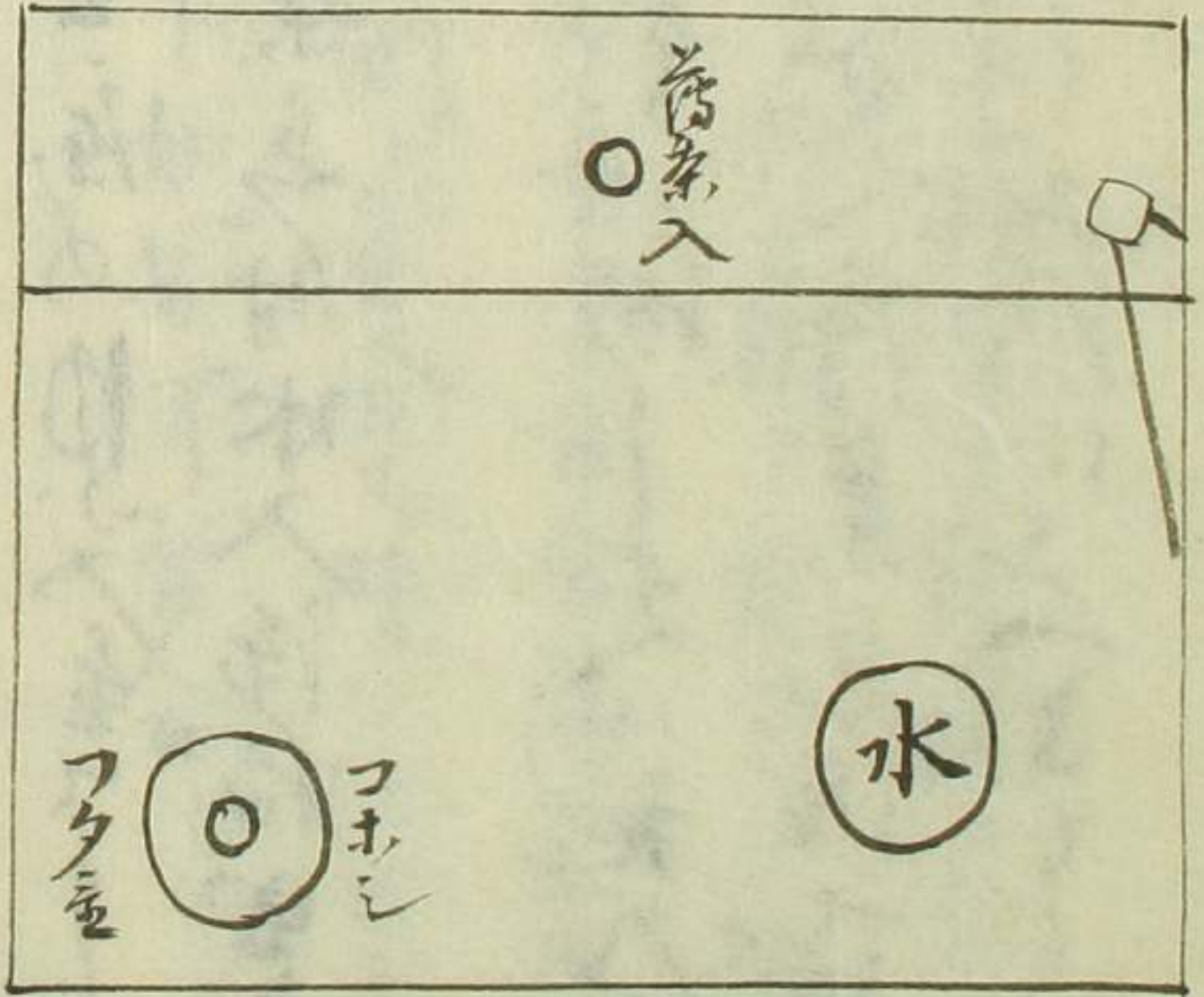


是ハ茶ヲ仕廻ス残ス道具也
 是ハ茶入ノ在リ時ノ仕廻
 茶入ノ在リ時ノ茶碗トナラ
 ベテ置キ合フ又茶碗ヲ不残
 シテ茶入ノ中ホドニ置キ
 ヲシ又茶入ノ上ニ時ノ茶碗
 ヲ不残サ右入テモヨシ

常住之重合

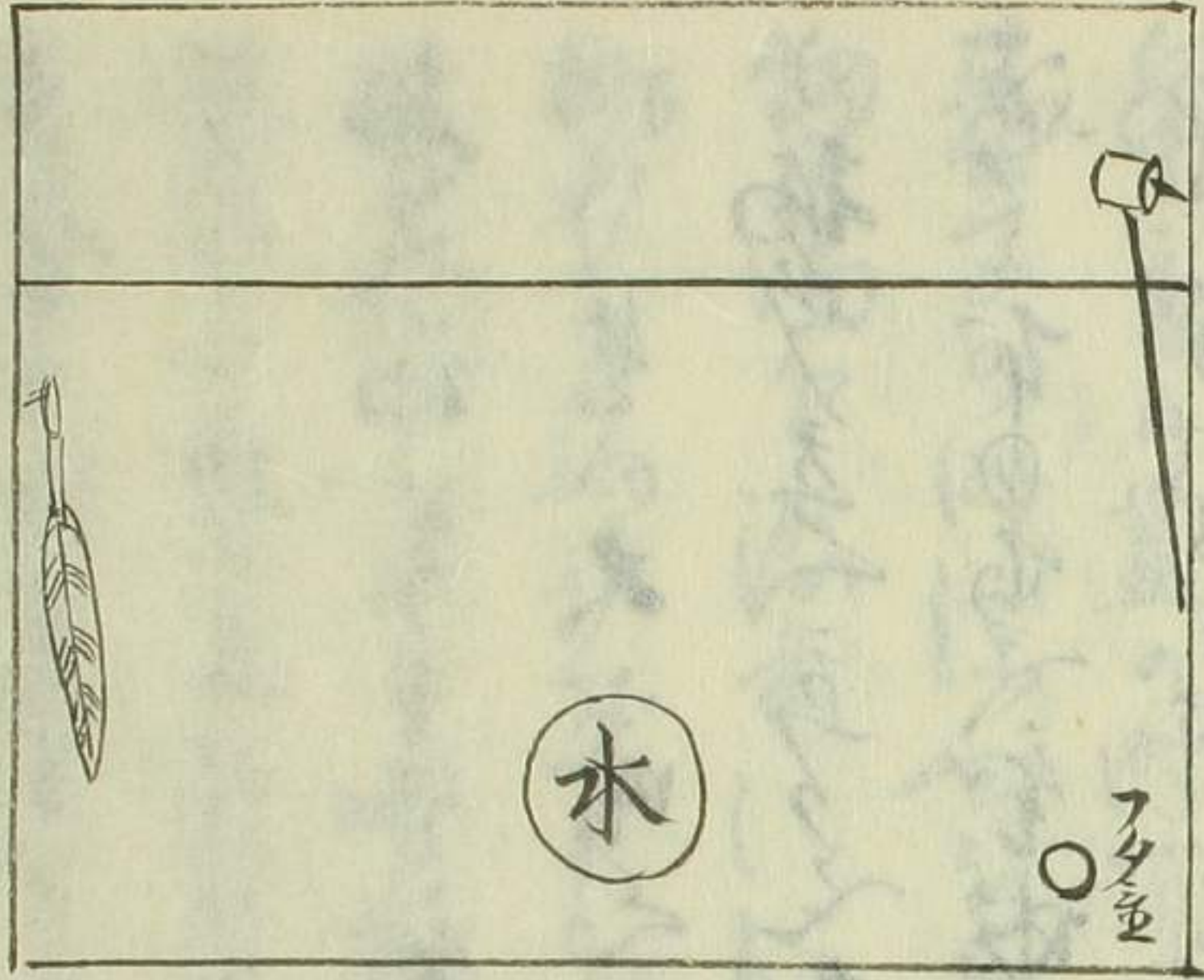


是ハコホシ持出止重合



是ハコホシ持出カケテ水は持出
コホシ葉入止重合也葉出カケ

前同

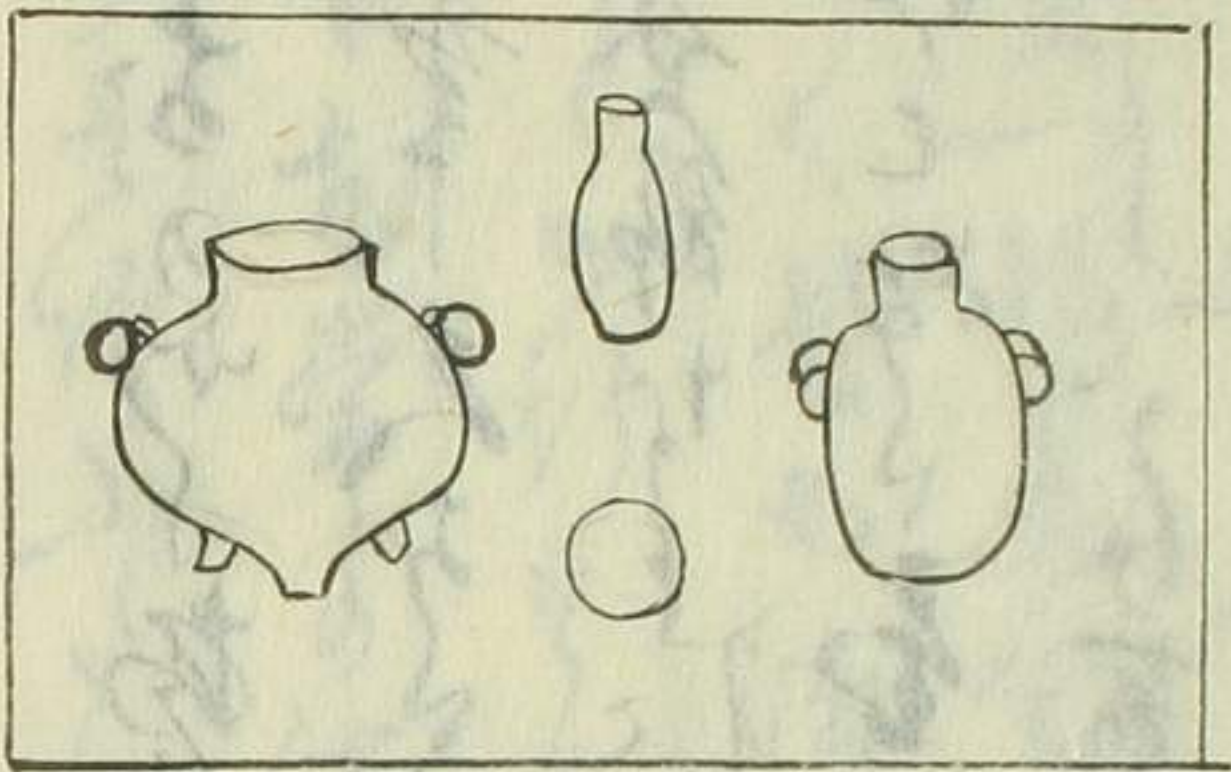


落葉入止中モ重合ハ相ラニシ
割下モノ方中モ落葉入重合
蓋重物少ク然流レ枯ル凡重合
フタ蓋葉魚重合カケテ凡重合
トモ太常ノ重合其付ノ重合可
能クテイ落葉入ヲ却リシテ
重合カケテ

ふり

備蓄子の事

一 風呂は垢を洗ひたり是の水垢の洗下して置かば風呂の
垢上して置かざりてある由一ツによぶべき月
風呂の方



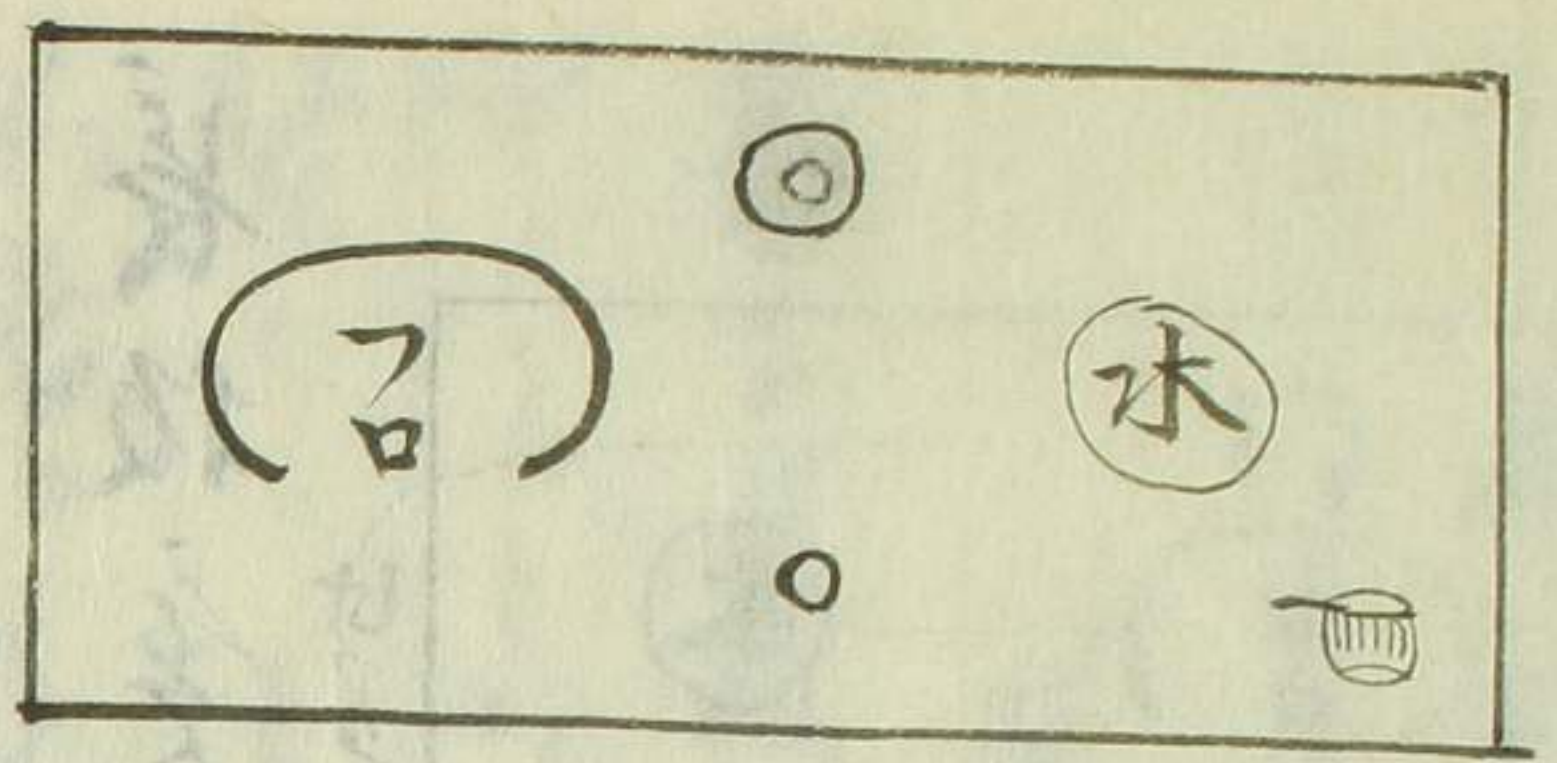
一 此風呂丸桶とておふ置りとも若くは月日
経たしと出る時垢の付たはあて備蓄子の
お是の事なり其者直ぐと家出らば此
風呂中の事や是又備蓄子の外に分
る子ありと事なり

梅敷はまの事

一 産子のちうさる月日とておふ置り
はまの事なり其者直ぐと家出らば
かゝる事なり其外の事なり

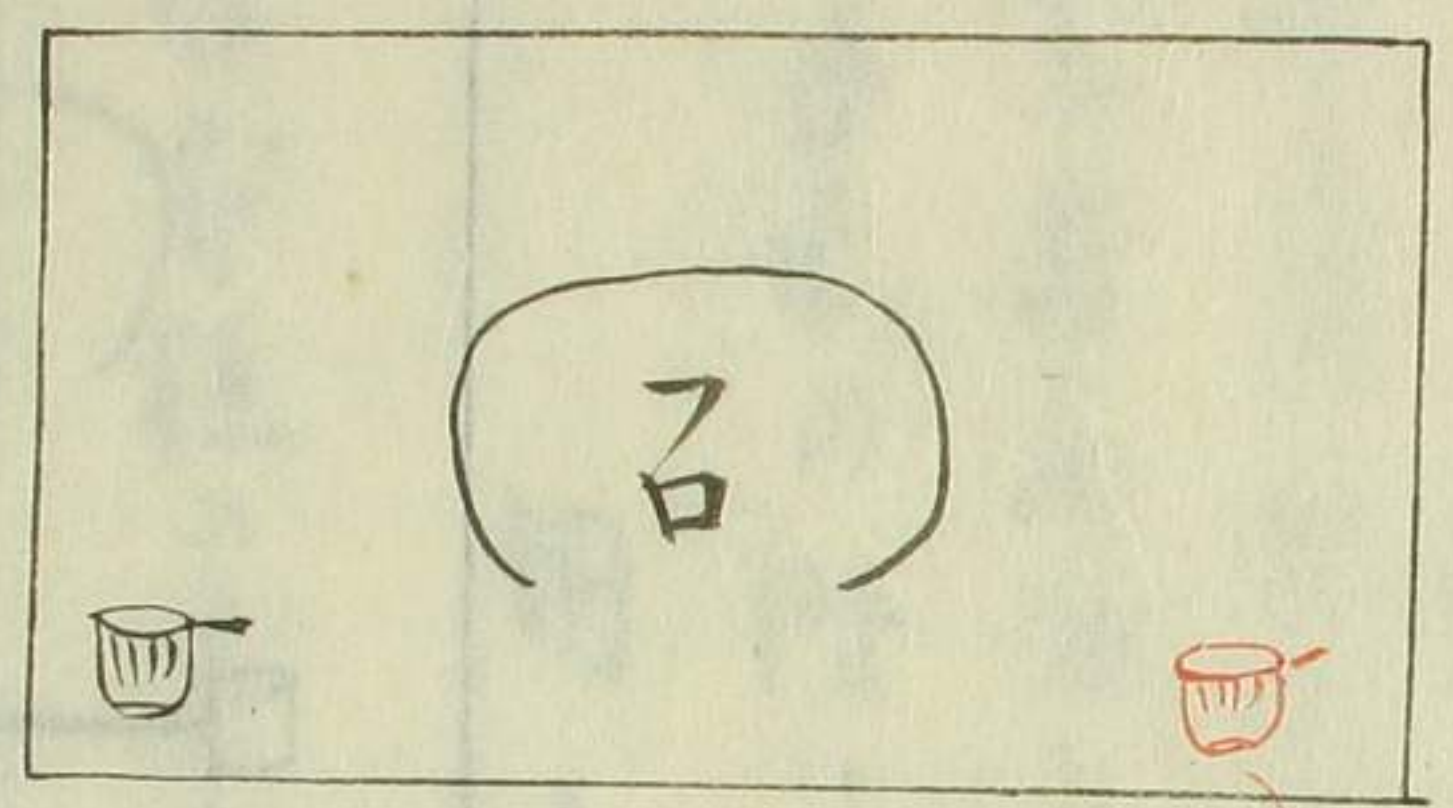
一 向板かきつゝと如是ニ重也

同 鋪 之 事



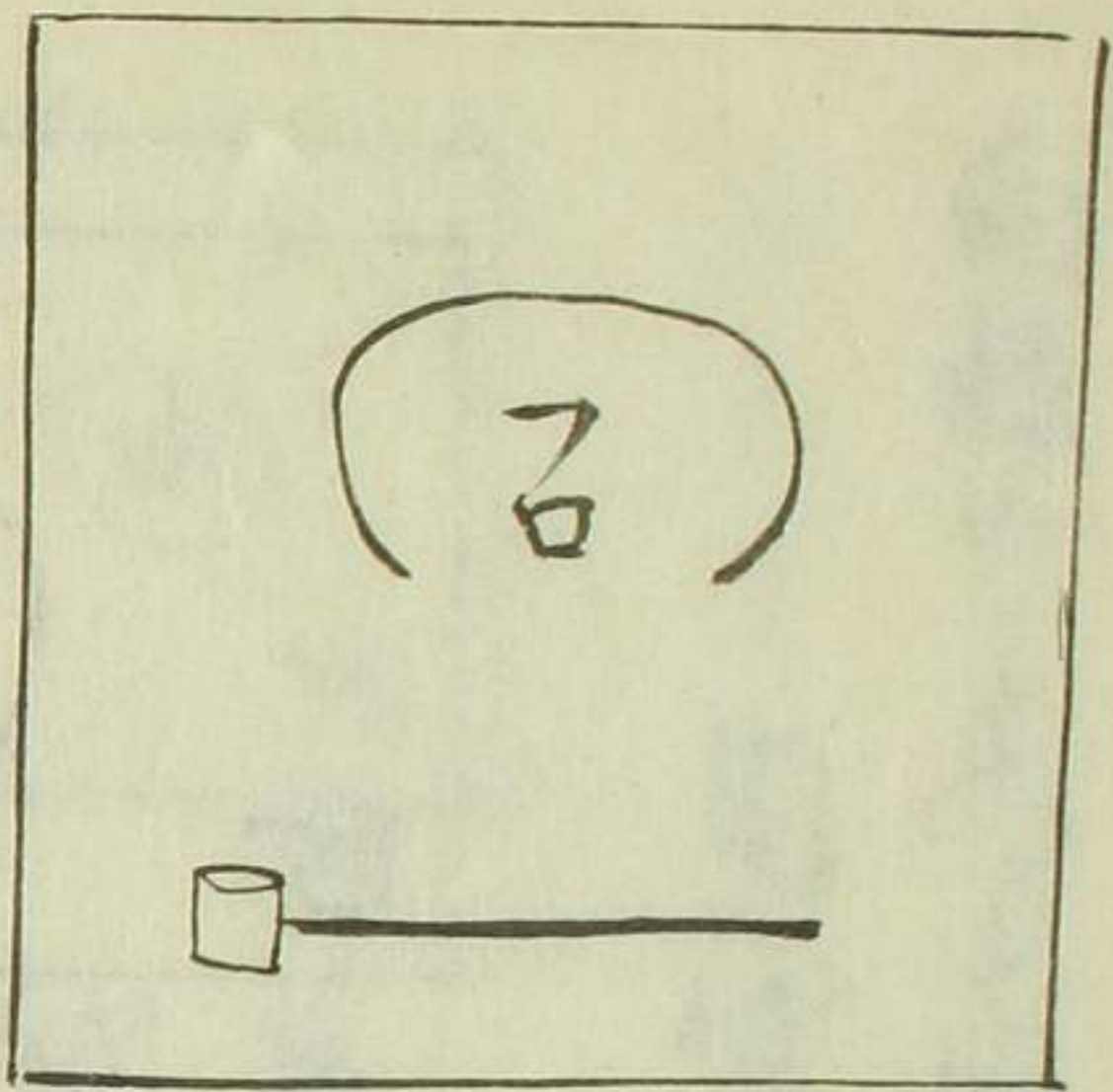
長板鋪小サキ付の如き一ナレ
 鋪ハ打とあり付の如き一重也
 又ハ白の如き一重也
 此ハ白の如き一重也
 此ハ白の如き一重也

今ハ袋ノ赤なる者ノ方ハスルト所存ナリ



今ハ如世モ重也

是ハ一ツ道ノ時鋪也
 ナリハ長板也



大板の柄杓は是也常新之骨
ありふし又中をあらふ也

大板一ツは信ふ柄杓

蓋をあらふ所也

とあり

同 中多し時柄杓

一 中多し時の勝者柄杓を水めて去りて又御定
を若居自さ有ふ付ハたよりけり又若居自
手兼の付ハ極めてぬらさ也

同 志免飾の事

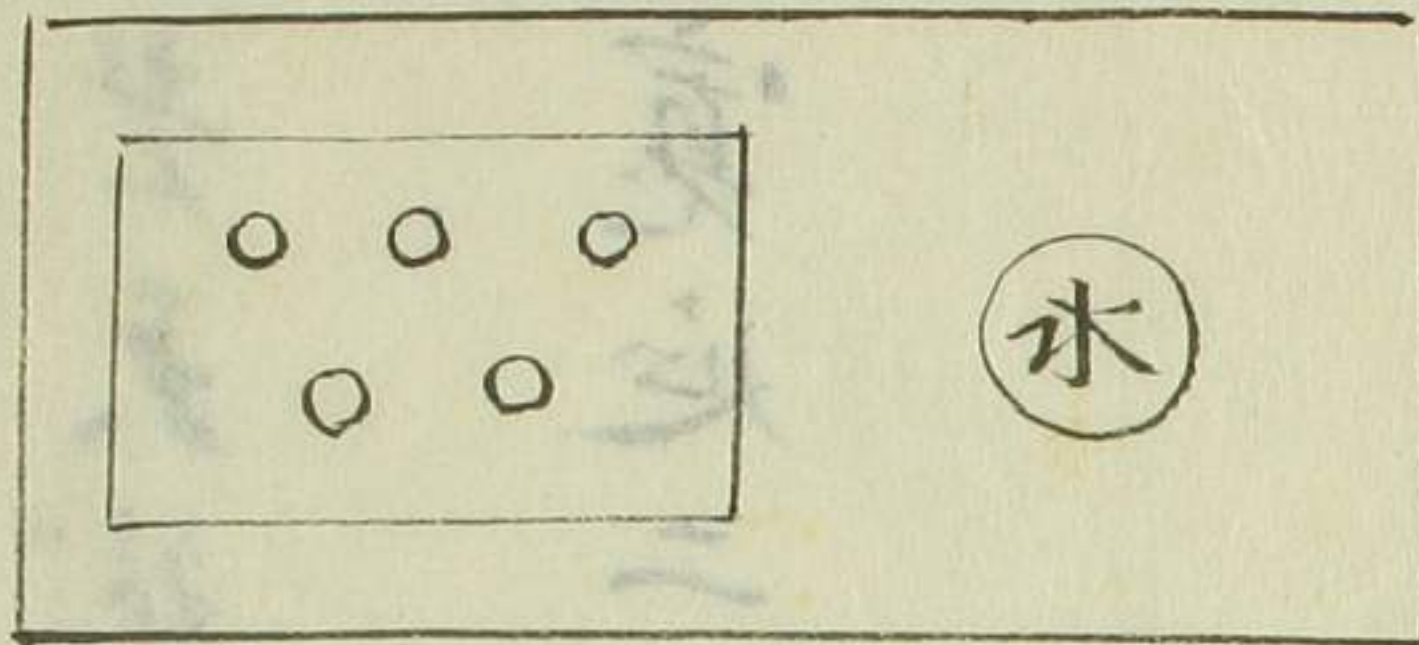
一 此柄の巻子に曰えり今日志の巻子にて
膳・事ハ此方とてしるる也 此柄の巻子の
常の如くしるる也 此巻子の巻子
注しとてありたり 此巻子の巻子

とつゝあがりむきあもくし

外のむきあ相並事

一 相並はむきまらう上のむきあや又三をめてこと
あま物櫛のむきあむきあむきあむきあむきあむきあ
むきあむきあむきあむきあむきあむきあむきあむきあ
むきあむきあ

一 相並はむきまらう上のむきあや又三をめてこと
あま物櫛のむきあむきあむきあむきあむきあむきあむきあむきあ
むきあむきあむきあむきあむきあむきあむきあむきあむきあ
むきあむきあ



長命盤

長命盤は素カフキと名白作意
少くも圓柄物むきあむきあ
むきあむきあむきあむきあむきあ
むきあむきあむきあむきあむきあ
むきあむきあむきあむきあむきあ

右者天然宗九以口授摸寫之耳

寬延二己巳年

不羨存



Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

